令 和 ６ 年 度

春日部市の教育

春 日 部 市 教 育 委 員 会

― 市章の由来 ―

意匠は、春日部市の「春」の文字をモチーフに、自然溢れる緑の新市と旧２市町を表した２本の緑のライン、未来を表す正円と飛翔する市民が描かれ、また、市民一人ひとりがお互いに協力して新市のまちづくりに励み、「市民主役・環境共生・自立都市」を目指して飛躍と発展を続けるまちづくりを推進する願いが込められています。

市の花・フジ

特別天然記念物の牛島のフジは全国的にも有名で、春日部市のシンボルとなっています。また、「春日部藤まつり」や「ふじ通り」などの名称も市民になじみが深く、親しみやすいことから「フジ」を市の花に決定しました。

市の木・キリ

キリは古くから春日部市の特産品である桐たんす、桐箱、押絵羽子板などの材料として用いられてきました。伝統のある桐産業を後世まで残し、キリをとおして全国に春日部市の歴史・文化を発信できるように、「キリ」を市の木に決定しました。

市の鳥・ユリカモメ

ユリカモメは伊勢物語の中で、在原業平が隅田川（現在の春日部八幡神社付近とも言う）にいる「都鳥」を詠んでおり、春日部市にとって大変ゆかりのある鳥です。冬になると市内の水辺に飛来し、市民にやすらぎを与える鳥として親しまれていることから、「ユリカモメ」を市の鳥に決定しました。

春日部市生涯学習都市宣言

２１世紀は、個人の価値観に合わせ心身ともに充実した生活を営む、質的な豊かさを実現する時代です。
市民一人ひとりがうるおいのある生活を送るためには、生涯にわたり学びつづけることが重要です。
また、多彩な歴史・文化にかこまれ、心豊かで活力ある市民が暮らすことができるまち「春日部」の実現は、わたしたちみんなの願いです。
わたしたちは、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、自己を高めるとともに、人と人との絆を深めるまちを目指すため、ここに「生涯学習都市」を宣言します。

一　わたしたちは、スポーツ、文化・芸術に親しみ、健やかで活力に満ちた生活を送ります。
一　わたしたちは、郷土の歴史・文化を愛し、教養を高め、心豊かな暮らしに生かします。
一　わたしたちは、学んだことを地域で生かし、すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくります。

平成２１年４月１日

春日部市

目　　次

Ⅰ　春日部市の概要

春日部市の現在 …… 1
世帯数・人口の推移 …… 1
春日部市の沿革 …… 2
歴代委員 …… 2
歴代教育長 …… 2

Ⅱ　教育行財政

春日部市教育行政の基本方針と重点施策 …… 3
教育長及び委員 …… 6
教育委員会組織機構及び事務分掌 …… 7
令和６年度一般会計当初予算歳出及び教育費の内訳 …… 8

Ⅲ　学校教育

教育総務課 …… 9
市民文化会館 …… 10
教育施設課 …… 11
学務課 …… 12
指導課 …… 14
教育相談センター …… 17
学校給食課 …… 19

Ⅳ　学校紹介

児童・生徒数、学級数及び教職員数 …… 22
学校施設の現況 …… 23
小学校（22 校） …… 24
中学校（11 校） …… 46
義務教育学校（1 校） …… 57

Ⅴ　社会教育

社会教育課 …… 58
文化財課 …… 67
郷土資料館 …… 70
スポーツ推進課 …… 72
中央公民館 …… 78
公民館紹介（16 館） …… 82

Ⅵ　特別職名簿

特別職名簿 …… 93

Ⅰ　春日部市の概要

1　春日部市の現在

春日部市は、平成 17 年 10 月 1 日に旧春日部市と旧庄和町の 1 市 1 町が合併し、誕生しました。令和 6 年 1 月 1 日時点の人口は 23 万 687 人（11 万 1,753 世帯)。関東平野のほぼ中央、埼玉県の東部に位置し、都心から 35km 圏にあります。南北約 12km、東西約 11km の市域を有し、江戸時代には日光街道第四の宿として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げてきました。

現在も、南北方向には東武伊勢崎線（スカイツリーライン）（東京メトロ日比谷線・半蔵門線、東急田園都市線乗り入れ）と国道 4 号・4 号バイパスが縦断し、東西方向には東武野田線（アーバンパークライン）と国道 16 号が横断し、首都圏における交通の要衝となっています。また、都心への通勤圏であるにもかかわらず、水田や屋敷林が広がる水と緑豊かな恵まれた環境を有しています。

そして、本市の特別住民で「子育て応援キャラクター」、「まちの案内人」でもある、アニメ「クレヨンしんちゃん」のまちとしても知られています。

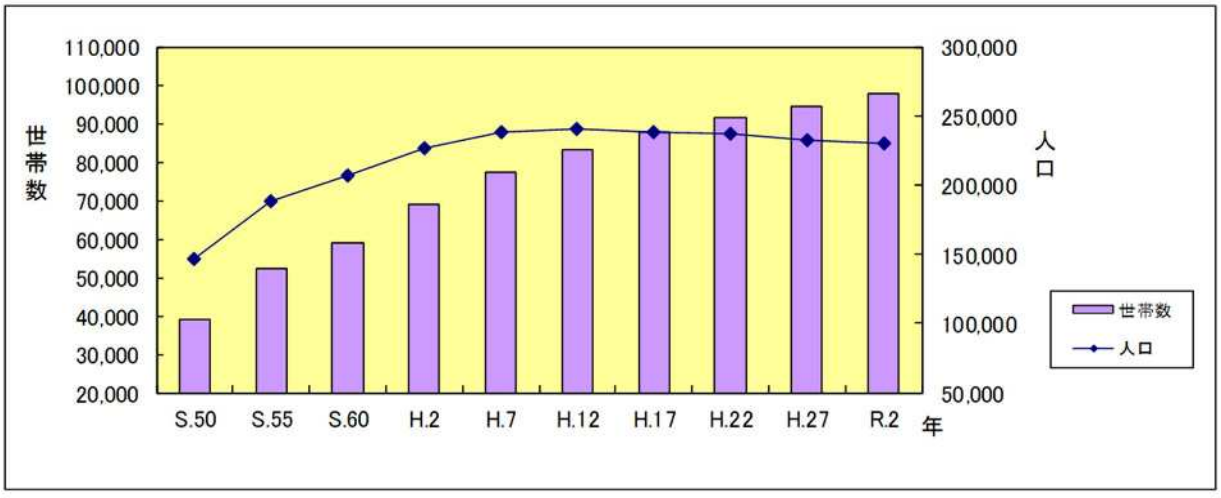
これらの個性や特性を十分に生かし、「市民が主役」「まちの魅力を創る」「共に未来へチャレンジする」をまちづくりの理念とした「つながる　にぎわう　すまいるシティ　春日部」を目指しています。

令和 5 年度には、市役所新庁舎が完成し、教育委員会事務局の事務室も移転しました。

≪　春日部市の位置と地勢　≫

2　世帯数・人口の推移

年	S.50	S.55	S.60	H.2	H.7	H.12	H.17	H.22	H.27	R.2
世帯数	39,031	52,328	58,997	69,137	77,416	83,196	87,589	91,531	94,399	97,638
人口	146,856	187,913	207,021	226,449	238,598	240,924	238,506	237,171	232,372	229,792



※資料:国勢調査、各年10月1日現在

３　春日部市の沿革

春日部市は、江戸時代には日光街道第四の宿場として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げてきました。また、かつては利根川の本流であった大落古利根川や江戸時代に開削された江戸川などは、河川交通の要衝でもあり、特に江戸川の河岸であった西宝珠花は、水上交通の要として発展するなど水陸両面における交通の拠点を有する地域でありました。

明治に入ると廃藩置県により、春日部地域は、埼玉県の管轄となりました。一方、庄和地域は、千葉県の管轄となりましたが、明治８年に江戸川以西の庄内領が埼玉県に移管されました。明治 22 年には、市制町村制の施行により粕壁町と 10 か村となり、その後、昭和 19 年に粕壁町と内牧村が合併して春日部町と９か村となりました。

昭和 29 年には、昭和の大合併により春日部市と庄和村が誕生しました。昭和 35 年に杉戸町の一部が庄和村に編入され、現在の市域の基礎が形成されました。その後、昭和 39 年には、庄和村が町制を施行しました。

旧春日部市と旧庄和町は、東京の近郊都市として昭和 40 年代初期から人口が急増する中で、それぞれの個性や特性を生かしながらまちづくりを発展させてきました。

また、交通体系の発達した今日では、通勤・通学や買い物など市民の日常的な生活圏は、互いの行政区域を越えて形成されてきています。

このような地域的なつながりを踏まえ、平成 17 年 10 月には、旧春日部市、旧庄和町が合併し、新たな春日部市として誕生しました。今後、県東部の中心都市として一層の発展が期待されています。

４　歴代委員

氏　名	在任期間	年　数	委 員 長	教 育 長
岩　井　　清	H17.10. 1～H18.12.22	１年２月		H17.10. 1～H18.12.22
安　東　敏　子	H17.10. 1～H19.12.22	２年２月	H17.10. 1～H19.12.22	
五百木　　勉	H17.10. 1～H30.12.22	13年2月	H19.12.23～H27. 3.31	
金　森　良　泰	H17.10. 1～現　　在	18年9月		
水　野　　洋	H17.10. 1～H21.12.22	４年２月		
植　竹　英　生	H18.12.23～H27. 3.31	８年３月		H18.12.23～H27. 3.31
池　田　良　鶴	H19.12.23～H23.12.22	４年０月		
水　沼　章　文	H21.12.23～現　　在	14年6月		
伊　藤　夕　子	H23.12.23～H27.12.22	４年０月		
川　端　知　里	H27.12.23～R 1.12.22	４年０月		
岡　田　新　司	H30.12.23～現　　在	５年６月		
秋　山　早　苗	R 1.12.23～R 5.12.22	４年０月		
山　口　早　苗	R 5.12.23～現　　在	０年６月		

５　歴代教育長（地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う新教育委員会制度へ移行後）

氏　名	在任期間	年　数
植　竹　英　生	H27. 4. 1～H31. 3.31	４年０月
鎌　田　　亨	H31. 4. 1～現　　在	５年３月

Ⅱ　教 育 行 財 政

1　春日部市教育行政の基本方針と重点施策

(1) 基　本　方　針

本市は、令和４年度に策定した「第２次春日部市総合振興計画後期基本計画」に基づき、市の将来像である「つながる　にぎわう　すまいるシティ　春日部」を実現するための事業を推進しているところである。

教育委員会においては、第２次春日部市総合振興計画後期基本計画における２つの基本目標「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」及び、「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」を実現するため、必要な施策を総合的かつ横断的に推進するものである。

ところで、国際社会に目を向けると、平成 27 年９月に国連サミットにおいて「持続可能な開発目標」、いわゆる SDGs が全会一致で採択されている。持続可能な開発目標（以下 SDGs）には、令和 12 年を期限とする包括的な 17 のゴールと細分化した 169 のターゲットが設定されており、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むこととしている。これを受け、本市においても令和元年９月に「春日部市 SDGs 推進方針」を策定し、SDGs は本市の将来像である第２次春日部市総合振興計画による取組と方向や立場を同じくするものであることを確認している。教育委員会においても同様に、SDGs の視点を含めながら、必要な施策を推進していくものである。

また、令和５年５月８日に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが第５類に移行した。教育委員会においては、引き続き感染状況や、国・県等の動向を注視しながら、コロナ禍前の良き教育活動を発展的に取り戻していく必要がある。

学校教育では、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するために、児童生徒一人ひとりの個性を生かす教育を推進する。そのために、基礎学力の定着及び向上や豊かな心の育成、心身の健康づくりの推進に向け、教職員の資質向上や教育環境の充実を図る。

社会教育では、地域社会の発展を目指し、社会状況の変化に対応した学習機会の提供、学習活動の支援と学習環境の充実に努める。また、青少年体験活動を推進するとともに、家庭、地域の連帯感の醸成に取り組み、家庭と地域の教育力の向上を図る。

さらに、文化・芸術活動の振興を図るとともに、史跡神明貝塚を含めた市内の多様な文化遺産の保存と活用、市史の編さんを進めるほか、地域の伝統文化の育成や継承、情報発信に努める。

生涯学習では、市民の活動が広範多岐に及ぶことから、教育領域のみならず、全庁的に取り組むとともに、民間の活動等との連携を図るなど、第２次春日部市生涯学習推進計画に基づく多様な振興施策を推進する。

スポーツ・レクリエーションでは、だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに参加できる機会の提供、活動を支援する体制づくりを推進する。

≪　SDGs が掲げる 17 のゴール　≫

※学校教育部及び社会教育部各課のページにおいて、関連する目標を示しています。

⑵ 重 点 施 策

① 学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」など、未来を切り拓くことのできる「生きる力」を一層確実に育成することをねらいとした学校教育を充実させる。そのために、教職員の資質向上等による教育内容の充実や安心・安全な教育環境づくり、地域と連携した特色ある教育活動の推進を通して、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進する。さらに、本市独自の学校教育プランである「かすかべっ子　はぐくみプラン」の取組を一層推進し、児童生徒一人ひとりのよさを伸ばす指導を行う。

また、春日部市いじめ防止条例及び春日部市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止や早期発見、いじめへの対処を組織的・計画的かつ迅速に行う。

② 学校施設の整備・充実

学校施設は、昭和 40 年代から 50 年代にかけて建設されたものが多く、トイレについては、建設当時に主流であった和式便器が中心となっているのが現状である。

現在の家庭での設備環境及び社会的な生活様式を考慮し、児童生徒の学校環境の改善を図るため、トイレ改修事業を継続する。

また、多くの学校施設は、経年による老朽化や機能低下が進んでいることから学校施設の長寿命化改修工事等を推進する。

避難所ともなる小・中・義務教育学校の体育館の環境改善を図るため、空調設備及びスロープなどの設置を行う。

さらに、老朽化する学校プールへの対応として、短期的には民間事業者への水泳授業委託、中長期的には、学校の水泳授業のほか、市民も利用できる温水プール（学校教育優先）の整備を目指す。

③ 社会教育の充実

市民一人ひとりが学んだ力を地域の中で生かせる生涯学習社会の構築を進めるため、学習課題に対応した多様な学習機会の提供、学校教育等との連携拡充、市民との協働の推進、社会教育関係団体の支援、社会教育関連施設の整備充実を図るなど、社会教育の充実に努める。

④ 文化・芸術の振興

文化・芸術に触れる機会の充実を図るとともに、文化・芸術団体の育成及び活動支援や情報提供の充実に努める。

また、「春日部市文化財保存活用地域計画」に基づき、地域の伝統文化の継承を促進するとともに、文化遺産の調査や市史による郷土の歴史の紹介、郷土資料館の展示など、史跡神明貝塚を含めた多様な文化遺産の保存と活用を促進する。

さらに、文化・芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館については、利用者への助言や広報の支援などの利用者サービスの充実を図るとともに会館施設設備等の維持補修を行う。

⑤ 青少年教育の充実

青少年活動の充実を促進するとともに、関係機関・団体との連携の強化や、青少年団体の活動の支援、思いやりと創造性豊かな青少年を育む地域社会づくりを推進する。

また、地域の方々の協力を得て、さまざまな体験活動や交流活動を行い、こども達の心豊かな育みにつながる学習機会や情報を提供し、家庭教育の支援体制を充実させ、家庭と地域の教育力の向上に努める。

⑥ スポーツ・レクリエーションの推進

スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくるために、多様なレベルで楽しむことができるスポーツ・レクリエーションを普及するとともに、さまざまなスポーツイベントを開催することにより、市民の交流機会の拡大を推進する。

また、春日部市体育施設整備基本計画に基づき体育施設の維持管理及び総合体育施設の段階的整備の推進に努める。

⑦ 人権教育・啓発の推進

すべての人の人権が尊重され、人々が平和で豊かな生活を営む社会を実現するため、同和問題をはじめ女性、こども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）等の感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、LGBT 等の性的少数者、ホームレスなど、さまざまな人権問題があることを踏まえて、人権問題の解消に向けた教育・啓発活動を行い、人権尊重意識の高揚を図る。

２　教育長及び委員

教育長　鎌田　亨

教育長職務代理者　水沼　章文

委員　金森　良泰

委員　岡田　新司

委員　山口　早苗

◎市長・副市長

市　　長	岩谷　一弘	副 市 長	白子　高史

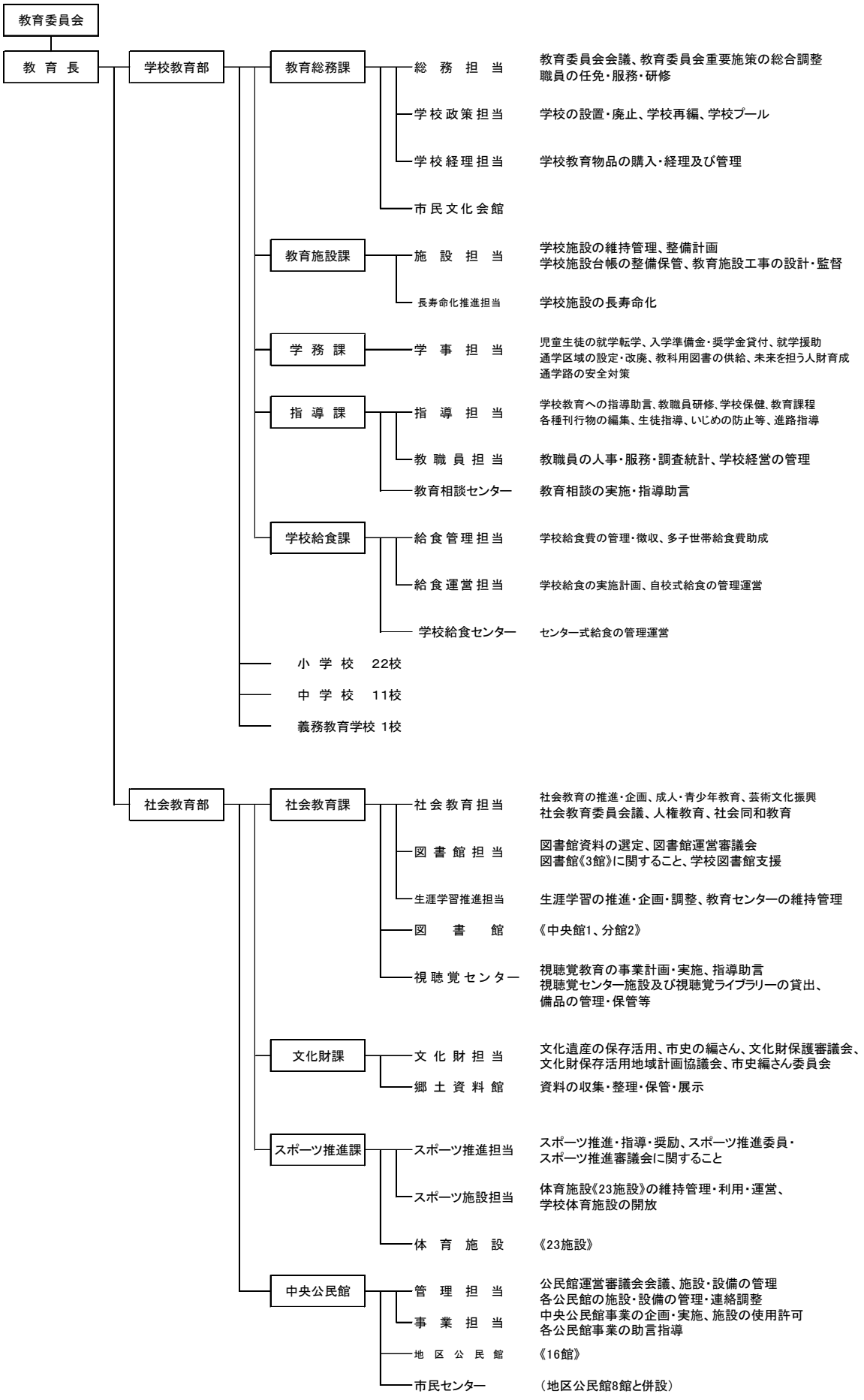
◎市議会正副議長

議　　長	小久保　博史	副 議 長	栗原　信司

◎教育環境委員

委 員 長	永田　飛鳳	副委員長	伊藤　一洋
委　　員	木下　三枝子	委　　員	石川　友和
委　　員	平沢　一博	委　　員	中村　貴彰
委　　員	栗原　信司		

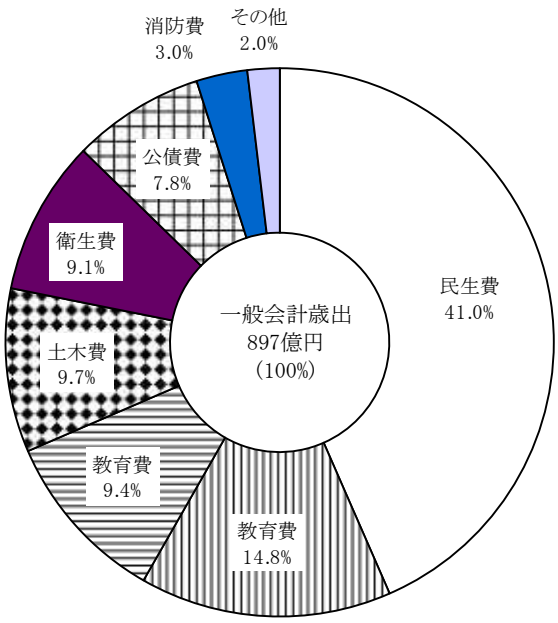
3　教育委員会組織機構及び事務分掌



４　令和６年度一般会計当初予算歳出及び教育費の内訳

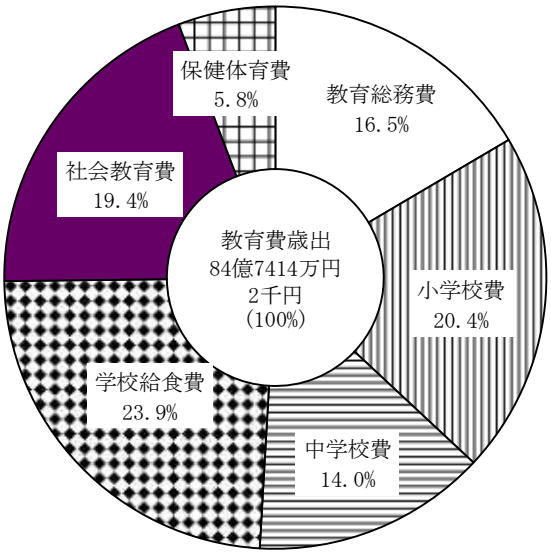
（1）一般会計当初予算歳出

款	金額（千円）	構成比（%）
民　生　費	39,046,977	43.4%
教　育　費	13,341,877	14.8%
総　務　費	9,198,387	10.2%
土　木　費	8,688,414	9.7%
衛　生　費	8,209,163	9.1%
公　債　費	7,012,546	7.8%
消　防　費	2,700,654	3.0%
そ　の　他	1,701,982	1.9%
歳 出 合 計	89,900,000	100.0%



（2）教育費の内訳

項	金額（千円）	構成比（%）
教 育 総 務 費	1,400,045	16.5%
小 学 校 費	1,731,178	20.4%
中 学 校 費	1,184,021	14.0%
学 校 給 食 費	2,023,080	23.9%
社 会 教 育 費	1,643,940	19.4%
保 健 体 育 費	491,878	5.8%
歳 出 合 計	8,474,142	100.0%



Ⅲ　学　校　教　育

教育総務課

１　課の目標

教育委員会事務局主管課として他部局との連携、施策の調和を図り、教育行政推進のための総合調整を進める。また、学校の安心安全を推進するための効果的な予算執行に努める。

２　主な施策

（１）教育委員会事務局の組織運営と総合調整

①本市の教育行政の目的達成に向け、主体的にその役割を発揮する。そのために教育行政の現状と課題を的確に把握し、解決に向けて各組織間との有効かつ効率的な総合調整に努める。

②組織間での情報と認識の共有を図り、新しい教育課題に対応するため、積極的に国や県等の教育施策の動向等を把握し、情報提供を行う。

（２）学校教育設備の整備と充実

学習指導要領の改訂など、学校教育のおかれている時代の要請・変化に的確に対応するため、教育設備の整備充実に努め、教育環境の向上を図る。

①学校政策企画事務・・・・・・・・	学校規模適正化に関する調査及び企画検討、学校プールのあり方に関する企画検討
②小・中学校運営事業　・・・・・・	庁用備品、教材備品の整備など学校物品の管理
③小・中学校図書館整備事業　・・・	学校図書館における図書の整備・充実及び学校図書館支援員の配置
④小・中学校情報教育推進事業　・・	学習用情報機器及び校務用情報機器の更新・保守管理（GIGA スクール構想により整備した児童生徒１人１台端末を含む） 校内ネットワーク環境の運用保守 学習支援ソフトの整備（ICT サポートを含む）

（３）教育予算執行の効率化

多様化・複合化する学校教育の課題の解決や教育環境の変化に対応した円滑な学校運営を行うため、学校配当予算の効率的かつ効果的な執行に努める。

（４）学校規模適正化の推進

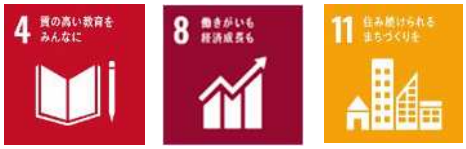
児童生徒の最良の教育環境を整えるため、学校関係者や保護者、地元自治会関係者などに対し、本市の現状や、学校規模適正化の必要性について説明するとともに、情報共有や意見交換を行い、学校規模適正化に対する理解促進に努める。

市民文化会館

1　市民文化会館の目標

文化・芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館を、安全かつ快適に使用できるよう管理運営に努める。また、市の文化・芸術にどのような形で関わるのかを研究し、よりよい市民文化会館の運営をめざす。

2　主な施策



（1）市民文化会館施設設備等の維持補修

市民や各種団体等の利用者が、安全かつ快適に施設を利用できるように市民文化会館の施設設備等の維持補修や各種点検を行う。

また、施設・設備の機能を維持・向上させるため、公共施設マネジメント基本計画に基づき大規模改修（吊天井への対応）を進める。

なお、令和６年度の施設に関わる主な事業は、次のとおり。

・非構造部材（特定天井）等耐震対策工事（2か年のうち２年目）
・小ホール系統エアハンドリングユニット更新修繕

（2）市民文化会館利用者サービスの充実

①市民文化会館利用者の利用上や舞台演出上の相談に対しての助言を充実し、利用者の満足度を高める。
②大ホール、小ホール、展示室の催し物の情報を市ホームページ等で広く市民に提供し、催し物の目的が達成できるよう支援する。
③市民文化会館利用案内の資料を充実し、利用者の利便性を向上させる。

（3）市民文化会館利用者の安心安全の確保

危機対応マニュアルにより、自然災害発生時や火災等の緊急時に利用者の安心安全を確保する。

3　施設の概要

部屋の名称	定員（人）	面積（㎡）	階数	部屋の名称	定員（人）	面積（㎡）
大　ホール	1,500	－	地下1階	展示室	－	276
楽屋（1）	－	40	2階	練習室（1）	75	96
楽屋（2）	－	40		練習室（2）	12	44
楽屋（3）	－	30		練習室（3）	12	44
楽屋（4）和室	－	14	3階	大会議室	153	216
楽屋（5）和室	－	14		中会議室（1）	108	144
リハーサル室（1）	－	184		中会議室（2）	34	96
小　ホール	401	－		小会議室（1）	30	72
楽屋（6）和室	－	14		小会議室（2）	51	72
楽屋（7）	－	37		特別会議室	8	28
楽屋（8）	－	24		和室（1）	－	18畳
リハーサル室（2）	－	92		和室（2）	－	24畳
駐車場（有料）	175台					

教　育　施　設　課

1　課の目標

こども達が健やかな成長と自己実現を目指して学習活動ができるよう、小学校、中学校及び義務教育学校の諸施設の環境整備・充実に努める。

2　主な施策

（1）施設の安全確保と学校施設の整備充実

こども達の学習の場であり、生活の場でもある学校施設が安全・円滑に利用できるよう、施設・設備の維持・稼働に必要な補修・改修等を実施する。

また、設備等については常に安全及び機能が確保できるよう点検整備等を行い、保守管理に努める。

① 小学校施設維持・管理事業・・・学校施設修繕・設備保守管理（22 校）

② 中学校施設維持・管理事業・・・学校施設修繕・設備保守管理（12 校）※義務教育学校（1 校）含む

③ 学校施設の計画的な修繕の実施・・・修繕依頼メールによる修繕管理（34 校）

（2）学習環境の改善

普通教室等エアコン

平成 28 年 7 月 1 日に全校一斉稼働した普通教室等のエアコンについて、PFI 事業により設備の管理を行い学習環境の維持に努める。

小・中学校普通教室エアコン整備事業・・・普通教室等のエアコンの維持管理

（3）学校環境の改善

① 校舎トイレ

こども達の学校環境の改善を図るため、小学校校舎のトイレ改修を進める。

小学校校舎トイレ改修事業・・・リニューアル工事

② 施設長寿命化

経年による老朽化や機能低下が進んでいる学校施設の長寿命化改修を進める。

中学校等施設長寿命化推進事業・・・葛飾中学校リノベーション工事

（4）学校応援団への支援

地域とともに歩む学校を推進するため、学校応援団の施設修繕活動に対して、修繕に必要な材料の支給を行うとともに、必要に応じて教育施設課職員による支援を行う。

学　務　課

１　課の目標

児童生徒が、健やかな成長と自己実現を目指して充実した学習活動をすることができる学校環境の充実を図るとともに就学支援の促進に努める。

２　主な施策

（１）魅力ある教育環境の充実

①教科書以外の準教科書、標準テスト、教師用教科書などの補助教材を整備し、学習指導要領に対応した教育内容の充実を図る。

②入学手続きのほか、転校に伴う就学相談など個に応じた教育環境の充実を図る。

（２）就学支援等の促進

①教育の機会均等及び義務教育の円滑な実施を図るため就学支援の促進に努める。入学にかかる費用負担の軽減を図るため、引き続き新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施する。また、特別支援学級等に就学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。

②高等学校、専修学校及び大学などに進学の意欲がありながら、経済的な理由によって修学が困難な方に奨学金や入学準備金の貸付けを行い、有用な人材の育成を図る。

（３）通学路の安全確保

①児童生徒が安全に通学できるよう、環境の変化に対応した通学区域の見直しや登下校時における安心安全な環境づくりに努める。

３　主要事業

事　業　名	事業の内容または事業対象
就　学　援　助　事　業	義務教育の円滑な実施を図るため学校教育法第 19 条に基づき、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象として、保護者負担となる経費を支給する。 対象者は、「要保護者（生活保護者）」及び、「準要保護者（要保護に準ずる者）」とし、教育委員会が審査のうえ認定する。 支給が受けられる項目は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費等、修学旅行費、学校給食費、医療費とする。 入学にかかる費用負担の軽減を図るため、新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施。
特別支援教育就学奨励事業	「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、障がいのある児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、経費の一部を補助する。 補助を受けられる項目は、学用品・通学用品購入費、校外活動等参加費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、修学旅行費、学校給食費、交流学習交通費、職場実習交通費、通学費とする。
入学準備金・奨学金貸付事業	高等学校、高等専門学校、専修学校、大学（大学院は除く。）に進学の意欲を有し、経済的な理由により修学が困難な者のために、入学準備金、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等に寄与するとともに有用な人材を育成する。 ○入学準備金の貸付額（無利子） 高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程）30 万円以内 短大、大学、専修学校（専門課程）50 万円以内 ○奨学金の貸付額（無利子） 高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程）月額 1 万円 短大、大学、専修学校（専門課程）月額 2 万円

指　導　課

１　課の目標

学習指導要領、第２次春日部市総合振興計画の「子育て・教育」を受け、児童生徒に未来を切り拓くことのできる「生きる力」の育成を目指した春日部市ならではの教育を推進する。本市独自の学校教育プラン「かすかべっ子　はぐくみプラン」を共有するとともに、「伝えあい　学びあい　育ちあい　思いあいがうれしい教室　うれしい学校」を合い言葉に「春日部メソッド」を推進し、地域と連携した魅力ある学校づくり、児童生徒一人ひとりを確実に伸ばす教育活動の充実を図る。

２　主な施策

（１）特色ある学校づくりの推進

①個性を伸ばし生きる力の育成を図る教育を推進し、児童生徒が生き生きとした学校生活を送ることができるよう魅力と活力に満ちた信頼される教育、春日部市ならではの特色ある学校づくりを推進する。

②学習指導要領の趣旨を踏まえ、「心の教育」の充実と「確かな学力」「健やかな体」の育成を図る教育を積極的に展開し、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成を目指す教育を推進する。

③児童生徒や学校、地域の課題を明確にした教育目標や重点目標を踏まえるとともに、安心安全の視点に立った各学校の主体的な学校づくりを支援し、学校教育の質的充実を図る。

④コミュニティ・スクールの全校実施による地域や保護者の声を生かした学校の特色づくりを支援する。

⑤学校・家庭・地域と一体となって、確かな学力や豊かな心の育成を図る。

⑥国や県の研究委託事業や研究の委嘱校等、学校教育の充実に資する研究等を支援する。

（２）基礎学力の定着及び向上

①「全国学力・学習状況調査」「埼玉県学力・学習状況調査」等を活用し、児童生徒一人ひとりの基礎的・基本的な内容の定着状況を不断に検証し、その分析結果を指導方法の工夫・改善に生かす。

②一人ひとりのよさに着目し、それらを伸ばす指導を一層推進するとともに、評価方法の改善、習熟の程度に応じた少人数指導の工夫等、個に応じたきめ細かな指導や「わかる授業」を展開し、確かな学力の向上を図る。

③学習過程の中に児童生徒同士及び児童生徒と教師の交流・表現の場を設定し、豊かな人間関係を築き、思考力・判断力・表現力を育む授業を創造する。

④学習者用端末を活用し、知識・技能の定着を図るとともに思考力・判断力・表現力等を育成する。

（３）豊かな心の育成

①児童生徒の良さを把握し、豊かな心情と実践力の育成を目指した心の教育を充実させる。

②信頼関係を基盤に、児童生徒一人ひとりの特性を多面的に把握し、豊かな心と実践力の育成を目指す生徒指導を推進する。

③校内の指導体制を確立するとともに、関係諸機関との緊密な連携を図りながら、個々の児童生徒の実情に応じた指導を推進する。

④「いじめ・不登校」の未然防止・早期発見・早期解消を重点課題とし、こころのサポートチームによる学校訪問を行うなど、教育相談及び適応指導教室運営を充実させる。また、保・幼・小・中・義務教育学校及び地域社会との連携を図る。

⑤児童生徒の自主的、自発的な活動を推進するとともに、特に、自然体験や社会体験、福祉体験等の体験活動を充実させ、豊かな社会性を身に付けた児童生徒の育成を図る。また、一人ひとりの個性の伸長を目指した生き方指導としての進路指導・キャリア教育の充実を図る。

（４）心身の健康づくりと体力向上

①児童生徒が、自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を営めるよう、基礎体力の向上、食育・保健・安全教育等の

指導の工夫と充実を図る。

②健康で安全な生活を営めるよう、アレルギー対応を含めた食に関する指導、感染症予防を含めた保健指導、交通事故防止を含めた安全指導等の充実を図る。

③生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るために基礎的な体力の向上を図り、児童生徒が自ら進んで運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう指導の創意工夫に努める。

（５）社会の変化に対応した教育の推進

①学習者用端末や ICT 機器の効果的な活用により、情報を主体的に判断、活用する能力の育成と情報モラルの育成を図る。

②SDGs 未来都市の一員として、SDGs の視点をもち、積極的に行動できる心と態度の育成に資する教育を推進する。

③国際理解教育、情報教育等の社会の変化や要請を踏まえた教育を推進する。

④社会の変化や新しい教育課題に対応する教育の推進力となる人材を積極的に育成する。

⑤読書センター、学習センター、情報センターとしての学校図書館の役割を生かした学校図書館教育を推進するとともに読書活動の充実を図る。

⑥日本及び諸外国の文化や伝統等について深く理解し、国際社会において信頼され、世界の平和と発展に貢献する日本人の育成等、国際化に対応した豊かな人間性の育成を図る。

⑦体験的な活動を通して、他人を思いやる心や感謝の心、勤労の尊さや社会に奉仕する精神を育成するとともに、共に豊かに生きていこうとする福祉の心と実践力を身に付ける。

（６）教職員の資質の向上

①新たな教育課題に対応した各種研修会の実施や春日部市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問、初任・2 年次・3 年次教員及び臨時的任用教員を対象とした訪問指導等により、教職員としての指導力及び資質の向上を図る。特に、「いじめ・不登校」については児童生徒へ寄り添う姿勢が大切である。そのため、本質を理解し組織的対応の必要性を確認する校内研修や学級における実践的指導力の向上を図るための研修を行い、揺るぎない信頼を確立する。

②学校や児童生徒の実態を生かした教職員の主体的な教育活動を推進し、教育内容の充実に努めるとともに、学校としての説明責任を果たすことができるよう支援する。

③ICT 活用などによる事務の効率化や適切な勤務体制、人材の確保により、教職員が能力を発揮できる働きやすい環境を整備する。

（７）人権教育の推進

①人権の意義やその重要性についての正しい理解を深め、他者の痛みを共有できる豊かな人間性や社会性の醸成を図る。

②同和問題やさまざまな人権問題（女性、こども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）等の感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、LGBT 等の性的少数者、ホームレスなど）を解決しようとする児童生徒を育てる。

③人権尊重を基盤とした男女共同参画の視点に立った教育や、インターネットによる人権侵害などの新たな人権課題に対応した教育の充実を図る。

（８）特別支援教育の推進

①一人ひとりの障がいの状態、能力及び特性等の教育的ニーズに応じた教育を推進する。

②児童生徒や保護者の思いや願いを尊重する適正な就学相談の充実を図るとともに、教育、医療、関係機関等の連携に努める。

③特別支援教育コーディネーターの計画的な育成を通して、校内の支援体制の充実を図る。

３　主な事業の概要

（１）特色ある教育推進事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

「英語教育」「情報教育」「芸術文化活動」など、確かな学力を育み、地域から誇りに思える魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動に対して支援を行う。また、文部科学省・埼玉県教育委員会の研究委託事業や研究の委嘱校等、学校教育の充実に資する研究を行う学校や団体等を支援する。

（２）学校教育支援事業

学校教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、積極的に学校教育を支援する。児童生徒一人ひとりに応じた指導の充実や学校の多様なニーズに応じるため、相談員や普通学級支援助手等を配置するとともに、計画的な研修の実施や研究委嘱、適切な人事管理等を行い、魅力と信頼に満ちた特色ある学校づくりに資する。

（３）英語指導助手招致事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

児童生徒にネイティブの英語に触れる機会を設け、英語によるコミュニケーション能力の素地及び基礎を育成するために、英語指導助手（ALT）を、各小・中・義務教育学校に派遣し、英語教育及び国際理解教育の推進を図る。

（４）教育相談センター運営事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

家庭における養育や教育についての相談を通して、児童生徒の健全な育成と家庭の教育力の向上を図る。また、学校に行きたい意志がありながら登校できない児童生徒の社会的な自立に向け、適応指導教室「そよかぜ」及び「すくすく」、登校支援指導教室「ステップ教室」にて支援する。

（５）こころのサポート推進事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

いじめや不登校など学校生活の不安や悩みの解消に向け、臨床心理士や学校心理士などの専門家を含む「こころのサポートチーム」を組織し、学校訪問を実施するなど、相談体制の一層の拡充を図り、問題の未然防止や早期解消を図る。

（６）特別支援教育推進事業

発達障害のある児童生徒へのサポート体制、就学支援体制を構築し、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行う。

（７）市教育研究会補助事業

教職員の資質向上のために組織された春日部市教育研究会の活動を補助し、教育水準の維持・向上を図る。

（８）各種大会児童・生徒派遣補助事業

市内小・中・義務教育学校の児童生徒が関東大会以上の大会に参加する際の財政的な支援を行う。

（９）保健衛生事務事業

児童生徒及び教職員を対象とした健康衛生管理業務並びに保険給付事務を行い、学校教育の充実に資する。

（10）いじめ防止対策推進事業

いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。

（11）スクール・サポート・スタッフ配置事業

教員の負担軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、教員に代わって学習プリントの印刷、授業の準備の補助、採点業務の補助等を行う。

（12）部活動指導員配置事業

中・義務教育学校の生徒の部活動における指導体制の充実を図り、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図る。

教 育 相 談 セ ン タ ー

１　目 標

家庭における養育や学校教育の充実を図るための相談活動、児童生徒の心のケアや不登校の解決を図るための相談活動及び具体的な自立支援等を通して、子育ての支援やこどもたちの健全な成長と自立に資する。

２　主 な 施 策

（１）複雑化、多様化していく社会や家庭生活に起因するさまざまな悩みや課題に対して、「いつでも、だれでも、どんなことでも」気軽に相談できる教育相談センターの環境づくり

① 相談機会の充実を図るために、平日午後７時までの相談への対応、土曜日と日曜日の開所、フリーダイヤルでの電話相談、夜間閉所時の留守番電話対応、ファックスでの相談等に対応する。また、積極的に広報活動を行う。

② 経験豊かな相談員や臨床心理士、学校心理士、スクールソーシャルワーカーの配置により、さまざまな問題に対応できる相談体制の一層の充実を図る。

③ 教育相談業務の一環として、登校したくてもできない状態にある児童生徒支援としてのステップ教室（登校支援指導教室）の充実に努める。

④ 不登校の児童生徒を抱える保護者のために「ステップ子育てサロン」を開催し、情報交換等を行うとともに、地域や保護者のネットワークづくりを推進する。

（２）不登校児童生徒の学校生活や社会生活に適応できる力をはぐくむなど、自立支援を目的とする適応指導教室「そよかぜ」及び「すくすく」の組織的、計画的な指導の充実

① 心因性の不登校と思われる児童生徒や学校だけの関わりでは登校が困難と思われる児童生徒への体験的な活動を積極的に推進し、自主性、社会性の育成に努める。

② 一人ひとりの実態に応じて、カウンセリング、体験学習、作業的学習、グループカウンセリング等を行うとともに、専門的な知識を有する臨床心理士の配置により支援の充実を図る。

③ 月曜日から金曜日の午前９時から午後４時まで(庄和分館「すくすく」は、第２及び第４土曜日の午前９時30分から午前11時30分も)開所し、保護者の支援も積極的に行う。

④ 児童生徒の在籍校との連携を密にし、指導や支援の充実を図る。

（３）関係諸機関や専門家等との連携による相談活動及び登校支援等の指導の充実

① さわやか相談室、児童相談所、家庭児童相談室、市民相談、要保護児童対策地域協議会等との連携を図る。

② 「こころのサポートチーム」による学校訪問を実施し、児童生徒や保護者、担任への支援を行い、いじめ・不登校の早期発見・早期解消を図る。

③ 他市町教育相談センター・適応指導教室との連携によるシステムの整備を図る。

（４）教職員や相談員等の相談業務の資質向上に向けた研修会の実施

① 資質向上に向けた研修会を実施する。（生徒指導・教育相談中級研修会、相談員研修会の開催）

② 定期的な学校訪問により支援と連携の強化を図る。

③ 特別支援教育推進チーム（レインボーサポートチーム）による巡回相談を実施する。

（５）身近な相談センターとしての広報活動による相談センターの活動の充実

① 「教育相談だより」を市内小・中・義務教育学校の全保護者に配布し、啓発を図る。
② 「教育相談のあゆみ」を作成し、市内小・中・義務教育学校及び関係諸機関に配布する。
③ こども電話相談の案内を全児童生徒に配布し、積極的な利用を働きかける。
④ いじめや不登校、特別支援教育等について理解を広げることを目的に、市民等に向けての啓発活動を行う。

（６）特別支援学級における個に応じた指導の充実

① 特別支援学級の整備充実を図り、障がいの多様化や保護者の様々な願いに応じるよう努める。
② 児童生徒一人ひとりの特性や学習状況などを的確に把握し、適切な指導を行うための学習形態や支援体制の工夫・改善を行う。
③ 障がいのある児童生徒の社会参加と障がいに対する地域社会の理解促進に努める。

学　校　給　食　課

1　課の目標

児童生徒の豊かな心を育む学校給食の充実に努めるとともに、教職員の負担軽減及び安全で安定した学校給食を運営するため、学校給食費の公会計化による適切な管理を行う。

また、地元の食材を使用した栄養バランス豊かな学校給食による「食育」を推進する。

2　主な施策

（1）学校給食運営の充実

①米飯給食など食材の「地産地消」を推進するとともに、栄養バランスのとれた豊かな食事によって、望ましい食習慣の形成や人間関係を育むという「食育」の視点での学校給食の充実を図る。

②給食施設修繕及び給食調理機器等の整備を適切に行い、衛生管理を徹底して、安心安全な学校給食運営を図る。

（2）安定した学校給食運営

①学校給食費の公会計化により、教職員の負担軽減や保護者の利便性の向上を図るとともに、計画的な予算運用と適切な徴収管理を行うことで給食事業の安定的な運営に努める。

②子育て環境のさらなる充実と多子世帯に対する経済的な負担を軽減するため、児童生徒を3人以上養育する保護者に対し、第3子以降の学校給食費を全額助成する。

③食材料の価格が高騰する中、安定的に給食事業を運営するため、児童生徒の学校給食費について、1食30円支援する。

3　第2次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標

令和6年度は第2次春日部市総合振興計画後期基本計画の2年目となる。そのため、計画に掲げた施策の目標達成に向け、引き続き取り組んでいく。

なお、計画の目標及び経過は、次のとおりである。

施策の成果指標	令和4年度 実　績	令和5年度 実　績	令和6年度 見　込　み	後期基本計画 目　標　値
学校給食における地元産食材を使った食育（地元産食材の利用率）	30.0%	37.1%	32.0%	30.0%

３　主要事業

事　業　名	事業の内容または事業対象
学校給食費の管理	児童生徒及び教職員の負担する学校給食費の収納管理のため、納入額算定、収納消込、例月更正、還付、督促・催告、滞納管理等の事務を行う。また、学校給食費を通じた子育て家庭への支援をおこなう。 ①対象者 単独校調理場方式　児童:約 8,000 人　教職員:約 770 人 生徒:約 4,400 人　教職員:約 420 人 共同調理場方式　児童生徒:2,800 人　教職員:約 300 人 ②学校給食費 単独校調理場方式　小学校：月額 4,400 円　中学校：月額 5,100 円 共同調理場方式　小学校：月額 4,100 円　中学校：月額 4,800 円 ③学校給食費助成制度 市内に住所を有し、児童生徒を 3 人以上養育する保護者に対し、3 人目以降の児童生徒の学校給食費を全額助成する。 ④学校給食費支援 児童生徒の学校給食費における物価高騰分（1 食 30 円）を支援する。
学校給食運営の充実	心身の成長過程にある児童生徒の健全な発達に資するため、バランスのとれた栄養豊かな学校給食の提供に努める。安全で良質な食材を確保するとともに、調理作業においては衛生管理の徹底を図る。 ①給食実施状況　（完全給食） 単独校調理場方式　小学校：18 校（調理業務委託） 中学校：　9 校（調理業務委託） 共同調理場方式　小学校：　4 校（調理業務委託） 中学校：　2 校（調理業務委託） 義務教育学校：1 校（調理業務委託） ②給食年間予定回数 小学校　186 回　　中学校　185 回 ※ 回数については、変更となる場合があります。

学校給食の衛生管理の徹底	栄養士・調理員の腸内細菌検査(腸管出血性大腸菌 O-157 検査含む) 給食食材定期点検

Ⅳ　学　校　紹　介

春日部市立

小 学 校	22 校
中 学 校	11 校
義務教育学校	1 校

児童・生徒数、学級数及び教職員数

（令和6年5月1日現在）

	学校名	校長氏名	教頭氏名	児童・生徒数	学級数	学級種別		教職員数
						通常学級	特別支援学級	
1	粕壁小	舘野俊之	秋山法之	667	24	21	知的１・自閉情緒２	35.0
2	内牧小	岩見奈津枝	柳橋正人	482	18	16	知的１・自閉情緒１	28.0
3	豊春小	今木敏浩	池田有理子	524	23	18	知的２・自閉情緒３	35.0
4	武里小	加納敏幸	小髙正治	503	20	16	知的２・自閉情緒２	30.6
5	幸松小	瀬髙武夫	尾嶋直江	441	18	14	知的２・自閉情緒２	28.0
6	豊野小	飯塚耕治	中井裕子	305	14	12	知的１・自閉情緒１	22.0
7	備後小	正籬洋子	中村浩二	224	9	7	知的１・自閉情緒１	17.0
8	八木崎小	江村恵里子	井生大輔	662	24	20	知的２・自閉情緒２	35.0
9	牛島小	加賀谷徳之	吉田元	428	18	14	知的２・自閉情緒２	31.8
10	緑小	矢野渡	斎藤和子	383	17	13	知的２・自閉情緒２	26.0
11	上沖小	鈴木美江	蓮見慎哉	771	28	24	知的２・自閉情緒２	41.0
12	正善小	柿澤英和	早乙女泰正	373	14	12	知的１・自閉情緒１	23.0
13	立野小	木田真貴子	小松武史	478	20	16	知的２・自閉情緒２	30.0
14	宮川小	中川貴子	水口学	155	8	6	知的１・自閉情緒１	14.0
15	藤塚小	和田浩	高橋武志	312	15	12	知的１・自閉情緒２	23.6
16	小渕小	中野貴子	金澤康弘	297	14	12	知的１・自閉情緒１	22.0
17	武里南小	阿久津進	中曽根瑞恵	340	14	12	知的１・自閉情緒１	24.0
18	武里西小	加藤大二	長野典子	472	20	15	知的２・自閉情緒３	33.0
19	南桜井小	髙野正晴	平野和教	316	15	12	知的２・自閉情緒１	24.0
20	川辺小	梶村麗子	下山勉	372	15	12	知的１・自閉情緒２	23.0
21	桜川小	小野誠	関根敦史	579	23	18	知的３・自閉情緒２	36.0
22	中野小	安東由美子	廣田太一	327	16	12	知的２・自閉情緒２	24.0
小計				9,411	387	314	73	606.0
1	春日部中	柳田敏夫	櫻井稔 石橋俊之	811	25	22	知的１・自閉情緒２	50.8
2	東中	三浦力	大杉忠之	596	19	16	知的２・自閉情緒１	37.0
3	豊春中	永野修	平澤俊一	375	13	9	知的１・自閉情緒３	28.0
4	武里中	三浦裕	清水美宏	472	15	13	知的１・自閉情緒１	34.0
5	大沼中	金丸敦	田儀隆明	609	19	16	知的１・自閉情緒２	35.0
6	豊野中	平原隆範	遠藤武志	440	15	13	知的１・自閉情緒１	30.0
7	緑中	石川和明	武井理	239	9	7	知的１・自閉情緒１	21.0
8	大増中	大井晋	松本真一郎	292	12	9	知的１・自閉情緒２	25.8
9	春日部南中	鶴見和弘	山下洋一	446	14	12	知的１・自閉情緒１	29.0
10	葛飾中	松原睦	浅川直孝	529	18	14	知的２・自閉情緒２	36.0
11	飯沼中	中島毅	渡邉良文	365	14	11	知的２・自閉情緒１	27.4
小計				5,174	173	142	31	354.0
1	江戸川小中	菊野大	佃真人 野口由起子	（前）136 （後）64	（前）7 （後）4	（前）6 （後）3	知的１・自閉情緒１	（前）13 （後）14
小計				200	11	9	2	27.0
合計				14,785	571	465	106	987

学校施設の現況

（令和6年5月1日現在）

	学校名	保有校地面積㎡	保有運動場面積㎡	保有校舎面積㎡	保有体育館面積㎡	保有給食室面積㎡	普通教室保有数	特別教室保有数	特別教室内訳													
									理科	生活	音楽	図工	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	CP	図書	特活	教相	進路
1	粕壁小	21,834	9,182	6,333	936	378	24	11	1		1	1			1	1		1	1	4		
2	内牧小	20,087	9,222	5,888	996	267	18	9	1	1	1	1			1			1	1	2		
3	豊春小	19,899	9,200	6,099	958	402	23	15	1		1	1			1	1		1	2	7		
4	武里小	11,343 (3,710)	5,379	4,869	824	187	20	8	1		1	1			1	1		1	1	1		
5	幸松小	22,125	8,845	5,463	701	229	18	10	1	1	1	1			1	1		1	1	2		
6	豊野小	22,779	9,361	6,388	706	187	14	14	1	1	2	1			1	1	1	1	1	4		
7	備後小	19,389	7,208	5,329	938	284	9	11	1		1	1			1			1	1	5		
8	八木崎小	26,362	12,124	6,595	929	226	24	16	1	1	1	1			1	2		1	2	6		
9	牛島小	33,739 (4,063)	19,520	7,104	929	215	18	20	1	1	1	1			2		1	1	2	9	1	
10	緑小	30,509	15,488	5,908	936	226	17	12	1	2	1	1			1	1		1	1	2	1	
11	上沖小	25,072	10,128	6,778	936	268	28	9	1	1	1	1			1	1		1	1	1		
12	正善小	23,365	9,391	6,489	936	216	14	17	1		1	1			1	1		1	1	9	1	
13	立野小	25,016	10,891	6,816	936	274	21	19	1	1	2	1			1	1		1	1	10		
14	宮川小	28,756 (522)	13,812	5,019	936	245	8	15	1		1	1			2	1			1	8		
15	藤塚小	28,088	13,117	5,179	936	240	15	17	1		1	1			1	1	1	1	1	9		
16	小渕小	25,901	12,200	5,096	936	256	14	14	1		1	1			1		1	1	1	7		
17	武里南小	20,043	7,321	7,278	1,314	450	14	11	1		2	1			1			1	1	4		
18	武里西小	20,811	7,547	7,021	910	464	20	10	1		2	1			1			1	1	3		
19	南桜井小	13,927	6,795	4,697	760		15	15	1	1	2	1			1			1	2	5	1	
20	川辺小	20,182	5,782	4,649	810		15	10	1	1	1	1			1	1		1	1	2		
21	桜川小	33,034	10,015	5,626	1,474		23	11	2		1	1			1	1		1	1	3		
22	中野小	21,789	12,120	3,566	829		18	5	1		1	1			1				1			
	小計	514,050	224,648	128,190	20,566	5,014	390	279	23	11	27	22	0	0	24	15	4	20	26	103	4	0
1	春日部中	25,114	12,402	7,272	1,906	302	25	16	2		3		2	2	2			1	1	2	1	
2	東中	29,144	17,097	7,670	2,135	453	19	23	2		2		2	1	2			1	1	10	2	
3	豊春中	25,380	14,760	5,587	1,056	302	13	13	2		2		1	2	2			1	1	1	1	
4	武里中	37,457	15,263	5,886	2,814	317	15	18	2		2		2	2	2			1	1	4	1	1
5	大沼中	31,704	14,548	7,337	1,087	308	19	15	2		2		2	2	2			1	1	1	1	1
6	豊野中	30,527	13,993	6,957	1,087	306	15	19	2		2		2	2	2			1	1	5	1	1
7	緑中	26,240 (596)	11,209	5,741	1,097	300	9	17	2		2		2	2	2	1			1	3	1	1
8	大増中	32,752	15,812	5,836	1,112	305	12	16	2		2		2	2	2			1	1	2	1	1
9	春日部南中	27,093	11,337	6,523	1,087	307	14	18	2		2		1	2	2			1	1	6	1	
10	葛飾中	32,464	19,667	6,403	1,312		18	17	2		2		1	2	2		1	1	2	2	1	1
11	飯沼中	31,845	14,262	4,764	1,001		14	14	2		2		1	2	2				2	2	1	
	小計	329,720	160,350	69,976	15,694	2,900	173	186	22	0	23	0	18	21	22	1	1	9	13	38	12	6
1	江戸川小中	24,288	16,553	4,246	690		11	11	1		1		1	1	2				2	2	1	
	小計	24,288	16,553	4,246	690		11	11	1		1		1	1	2				2	2	1	
	合計	868,058	401,551	202,412	36,950	7,914	574	476	46	11	51	22	19	22	48	16	5	29	41	143	17	6

出典：施設台帳

（ ）内数値は借地・借用外数

学校名　**春日部市立粕壁小学校**

校長名　**舘 野　俊 之**

所　在　地　春日部市粕壁東三丁目２番19号
連　絡　先　048-754-6321　FAX 048-763-9674
創　　立　明治５年10月１日
開校記念日　11月15日
児　童　数　667名（令和６年５月１日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「自ら考え、思いを伝えあう児童の育成」

１　沿革

本校は、明治５年、日光街道粕壁宿最勝院に小学校を創設したことにさかのぼる。以来、震災による２度の校舎倒壊などを経て、昭和13年に現在の地へ移転した。翌14年11月15日に木造校舎落成式典を行い、この日を開校記念日とした。児童数増加に伴い、昭和47年には八木崎小学校が、昭和51年には緑小学校・上沖小学校がそれぞれ本校より分離し新設された。今年度、開校153年目の歴史と伝統のある学校である。

昭和33年の国語教育文部省実験学校の研究委嘱以来、本校は研究推進校としての役割を担っている。平成９年度から、文部省研究開発学校として英語教育の研究に取り組んでおり、毎年、県内外から数多くの参会者を招いて研究発表会を実施してきた。平成22年度からは、文部科学省教育課程特例校としての指定を受け、さらに特色ある教育課程の研究を推進しているところである。「言語活動を通して資質・能力を育成する指導の工夫」と「目標と指導と評価の一体化を図る工夫」に重点を置き、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を目指している。

２　学校教育目標

「心身ともに健康で豊かな心情にみちた実践力のある人間の育成」

社会の変化が激しく、考え方や生き方が多様化している中で、主体的・創造的に力強く生き抜いていくためには、学習指導要領の根幹と言える「生きる力」を着実に身につけさせることが肝要である。これは、春日部市教育行政の重点施策に掲げられている「かすかべっ子はぐくみプラン」と同義のものである。児童が生涯にわたり、自ら考え判断し行動できる基盤を培い、「知・徳・体」の調和のとれた「実践力」のある人間を育成することを期し、上記の学校教育目標としている。

３　本年度の取組

本年度は、「伝統と創造」を大切にし、一人一人に「夢と誇り」を育む教育活動を推進する。そのために目指す学校像を「豊かな学びでよさを磨く学校」とし、職員が一丸となって教育活動に取り組む。

①豊かな学びを進める学校

・各教科の授業で「粕小ALプラス」を実践し、学ぶことの楽しさや喜びを体得できる指導方法の工夫・改善に努め、学力向上を図る。
・道徳授業の充実、学年交流・異学年交流、集会活動等をとおし、人としての生き方を追究し、人間関係を深め、豊かな体験により道徳的な実践力のある児童を育成する。
・安心、安全に学べる体育環境の整備・充実、課題の解決に向けて主体的に運動する体育授業の実践、運動好きで自らの健康と体力の向上をしようとする児童を育成する。
・小学校英語活動の研究を継続的・組織的・計画的に推進し、資質や指導力の向上を図る。

②よさを磨く学校（よさとはひとりひとりの宝物）

・「すべてに全力投球」を合言葉に、児童とともに全力で授業を実践する。
・児童のよさを発見し、認め、励まし、さらに伸ばす教育を推進する。
・相手を理解し、思いやりのある行動を積極的に進める。
・学年や発達段階に応じた、教科等で身に付けるべき学力を明確にし、児童一人一人が成就感と達成感を味わう授業をめざす。
・児童の活動やがんばる姿から、「粕小の自慢、粕小の誇り」を具体化させていく。

学校名　**春日部市立内牧小学校**

校長名　**岩 見　奈 津 枝**

所　在　地　春日部市内牧 2415 番地 2
連　絡　先　048-752-3256　FAX 048-763-9675
創　　立　明治 6 年 7 月 18 日
開校記念日　7 月 18 日
児　童　数　482 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

主体的に考え、学び合う児童の育成（算数科 2 年次）
～みんながわかる楽しさ、できるよろこびを実感できる授業づくりを通して～

1　沿革

本校は、明治 6 年、内牧村矢島芦丸氏宅（初代校長）に、内牧第 114 番地小学校として開校したところから始まる。明治 12 年に香林寺に移転し、明治 20 年に内牧尋常小学校と改称、明治 35 年に現在地に校舎を新築する。昭和 29 年には春日部市立内牧小学校となり、昨年度、開校 150 年の歴史を迎えた。

内牧地区は、緑豊かな台地に位置し、果樹や花卉栽培の盛んな地域であり、自然環境に恵まれている。

2　学校教育目標

「かしこく　　なかよく　　たくましく」

3　目指す学校像

学校教育目標を達成するため、「みんな（地域、家庭、教職員）で力を合わせ、元気なこどもを育てる学校～「うちまき with you」で豊かな学び、健やかな体と心を創る教育～」を目指す学校像とし、「うちまき　with you」をスローガンに掲げ、全職員の創意と英知を結集し、日々の教育活動に取り組んでいる。

うちまき　with you プロジェクト

プロジェクト１：健やかな体づくりで元気なこどもを育てる

○心身を鍛え、粘り強く取り組む力をつける。
○系統性を重視した体育の授業実践で、運動好きなこどもを育てる。
○運動を習慣化し、丈夫な体づくりに主体的に取り組む力をつける。

プロジェクト２：学びを夢につなぎ元気なこどもを育てる

○主体的に考える力を育てる。
○自分の考えを豊かに表現する力を育てる。
○こどものコミュニケーション力を育てる。

プロジェクト３：心の通い合いで元気なこどもを育てる

○あいさつができるこどもを育てる。
○体験活動を重視し、豊かな心を育てる。
○よさを認め合う風土を育てる。

プロジェクト４：地域とつながり、元気なこどもを育てる

○産直の里「内牧」のよさを多様な体験活動から学ぶ。
【とうもろこし・グリンピースやそら豆の皮むき　ごまの苗植え・収穫　梨農家・トマト農家との連携など】
○学校応援団活動の充実で元気なこどもを育てる。
○地域の活動へ、こどもたちの積極的な参加でつながりを深める。

学校名　**春日部市立豊春小学校**

校長名　**今　木　　敏　浩**

所　在　地　春日部市道順川戸 37 番地 1
連　絡　先　048-754-0726　FAX 048-763-9676
創　　立　明治 6 年 4 月 6 日
開校記念日　10 月 15 日
児　童　数　524 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「粘り強さと探究心をもち、進んで学び伝え合う児童の育成」（国語科・3 年次）
～豊かな表現力の獲得を目指した指導方法の工夫～

1　沿　革

本校は、明治 6 年、花積の東西寺に花積学校が、上谷原に谷原学校が創設されたことから始まる。明治 19 年には、この二校を統合して増富学校ができ、その増富学校を明治 23 年 10 月 15 日に豊春小学校と改称、この日を開校記念日とし、今年度開校 151 周年を迎えた。昭和 52 年に立野小学校、昭和 53 年に宮川小学校が新設され、それに伴って、東武アーバンパークラインと国道 16 号にはさまれた地域が本校の学区となる。

本校の校章に示された 2 つの稲穂は、豊かな自然の恩恵と人の和に支えられた郷土の学校を表すとともに、学校・家庭・地域の絆や連帯感を象徴している。

2　学校教育目標　**みんな友だち　豊かな心　あふれる意欲**

〇学び合い・伝え合い（知）…　よく学び　力をつける子
〇支え合い・思い合い（徳）…　友だちと　なかよくできる子
〇高め合い・育ち合い（体）…　はつらつと　体をきたえる子

生きる力を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、地域や社会のために貢献できる人間を育てる。

3　目指す児童像

【知】◇学ぶことに「興味」「関心」「意欲」を持ち、進んで学習する子
◇自ら考え、解決の方法を見つけだす子　◇自分の考えをまとめ、表現することができる子
【徳】◇人の心の痛みを感じることができる子　◇明るいあいさつや返事ができる子
◇規律や秩序、礼儀を理解し、生活に生かせる子
【体】◇運動を好み、進んで体をきたえる子　◇ねばり強くものごとに取り組める子
◇健康な生活習慣を身につける子

4　本年度の取り組み　「一人一人が主役　みんなで創る　われらの学校」

（1）学び合い・伝え合う児童の育成
・ペア、グループ学習、話合い活動を重視し、豊かな表現力の育成を図る。
・学習時における姿勢や返事の仕方、話の聴き方や発表の仕方等、学習規律を身につけさせる。
・四則計算、漢字、読解、表現の指導に重点をおき、基礎学力の定着を保証する。

（2）支え合い・思い合う児童の育成
・「つながり広がるあいさつ、春日部ナンバーワン、豊春オンリーワン」の合言葉のもと、人や地域とのつながりを大切にしたあいさつを推進する。
・道徳の授業公開や授業研究を通して授業力の向上を図り、実践的な道徳力を育成する。
・教育相談機能（豊春中・関係諸機関）の充実を図り、良好な人間関係と信頼し合える関係を醸成する。
・豊かな体験活動（学校ファーム、バケツ稲、一人一鉢）を通して、心の育成を図る。

（3）高め合い・育ち合う児童の育成
・こどもの外遊びの機会確保と体育的活動の工夫と共に、運動量を確保した日々の授業づくりを推進し、運動の日常化、運動習慣の定着を図る。
・むし歯治癒率の向上、給食指導の充実を図ることで、保健・安全教育、食育を推進する。
・異年齢による交流活動を通して、高め合い、育ち合う個と集団の育成を推進する。

学校名　**春日部市立武里小学校**

校長名　**加 納　敏 幸**

所　在　地　春日部市備後西五丁目５番２号
連　絡　先　048-735-3026　FAX 048-734-9402
創　　立　明治６年５月
開校記念日　６月５日
児　童　数　503 名（令和６年５月１日現在）

開校 151 年を迎える歴史と伝統のある学校です。本校児童は、地域の学校に寄せる深い愛情と期待に支えられ、伸び伸びと学校生活を送っています。本校に関わる者すべてにとってこども達が明るい希望であること、また、まっすぐに伸びていくことを願って、本校児童は「わかたけっこ」という愛称で親しまれています。

１　学校教育目標　「　伸びよ　わかたけ　明るい　希望　」
かしこく　〈知〉【主体的に学ぶ力の育成・学力の向上】
なかよく　〈徳〉【思いやりの心・協力し合う態度の育成】
たくましく〈体〉【体力の向上・たくましい心の育成】

２　学校経営方針
地域立武里小学校　＝　児童・保護者・地域・教職員が誇りにする学校

（１）目指す児童像

「何事にも一生懸命取り組む心豊かな児童」
① 主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けている児童
② 思いやりの心をもち、仲間と協力して取り組む児童
③ 進んで運動に親しむ児童
④ 自己肯定感の高い児童
⑤ 最後まで粘り強くやり抜く児童

（２）目指す学校像
「一生懸命いっぱい，思いやりいっぱいの心豊かな児童を育てる学校」
① 児童主役の授業が展開され「わかった・できた」となる確かな学力を育む学校
② 互いに認め合い、信頼し合い、励まし合える学校
③ どの学年でも「あいさつ・返事・後始末・くつそろえ」があたりまえにできる学校
④ 保護者・家庭・地域との協働を積極的に進める学校
⑤ 「共通理解・共通行動・一致団結」する教職員の学校

（３）目指す教師像
「豊かな人間性と専門性をもち，児童・保護者・地域に信頼される教師」
① 児童一人一人を大切にする教師
② 確かな学力の定着につながる授業を実践する教師
③ 積極的な児童理解をとおし、常に児童に寄り添える教師
④ 広い視野をもち、自己研鑽に励む教師
⑤ 組織の一員として、チームワーク（目標を共有し、協働する）を大切にする教師
⑥ 創造力・想像力（相手の気持ちを察する・行動態度で示す）をもった教師
⑦ 児童・保護者の声には、まず傾聴し、迅速・誠実・丁寧な対応ができる教師

３　本年度の重点・努力点
（１）確かな学力の定着・向上　（２）心豊かな児童の育成　（３）体力の向上
（４）自立心をもつ児童の育成　（５）家庭・地域との協働　（６）安心・安全な学校づくりの推進
（７）学校経営への積極的参画、研究・研修の推進　（８）働き方改革の推進

４　本年度の学校課題研究
研究教科　「算数科」を中心として
研究主題　「数学的活動の充実を通して、未来を切り拓く力を追究する児童の育成」（市委嘱２年次）

学校名　**春日部市立幸松小学校**

校長名　**瀬 髙　武 夫**

所　在　地　春日部市八丁目 353 番地 1
連　絡　先　048-752-3215　FAX 048-763-9677
創　　立　明治 6 年 5 月 1 日
開校記念日　5 月 1 日
児　童　数　441 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞　「豊かな表現力の育成」（国語科を中心に）
～教育活動全体を見据えた適切な言語活動・評価を通して～

【学校の沿革と特色】

○明治6年に小渕学校・牛島学校・文友学校としてスタートし、明治25年に幸松尋常小学校となり創立151年を迎える歴史と伝統ある小学校である。

○春日部駅東口から北東へ約1.2㎞、古利根川を渡ったところに位置している。広大な学区には商業施設やマンション・豊かな田園が混在しており、国道4号と16号が交差する交通の要衝でもある。

【学校教育目標】

○かしこく（知）　○たくましく（体）　○あたたかく（徳）

目指す学校像　学校の教育力を高め、一人一人が自分色に輝く学校
～地域と共に歩む「チーム幸松小」～

目指す児童像　自らを磨き、自分色に輝くこども

目指す教師像　常に自らの資質・能力を磨き、
こども一人一人を認め、伸ばす教師

【本年度の重点・努力点】

（1）学校課題研修を核に据え、全教科等の授業を中心とした教育活動の充実により「3 つの資質・能力を育成していく。（基礎基本の定着、自ら学び自ら解決する力の育成）
（2）体力の向上を目指し、運動に親しみ健康に生活する力を育成する。
（3）心の教育の充実を目指し、思いやりや協調性の育成と、多様性への理解を図る。
（4）安全な学校づくりを目指し、安心して通える学校、事件・事故のない学校づくりに努める。
（5）保護者、地域、教職員がスクラムを組む学校「チーム幸松小」の充実
（6）インクルーシブ教育の充実や美しく潤いのある快適な教育環境づくりの推進
（7）こどもと向き合う時間を確保し、学校教育の質の維持向上を図る働き方改革の推進
（8）信頼される学校づくり（教職員不祥事根絶の徹底）

【特色ある教育活動】

（1）本校は、歴史と伝統を継承する「地域と共に歩む学校」であり、今年度、開校151年目を迎えた。保護者・地域の方々による学校応援団の諸活動が盛んであり、放課後子ども教室（幸松っ子くらぶ）も、地元の指導者の支援により、児童が楽しめる企画等が実施されている。また、学区内には、市立東中学校や県立春日部東高校、春日部特別支援学校があり、児童と生徒との交流、教職員同士の連携等を推進している。
　令和3年度からはコミュニティ・スクールとなり、学校運営協議会を通して登下校時の安全確保等の課題解決に取り組み、大きな成果を上げることができた。
（2）令和2年度より3年間、春日部市教育委員会の研究委嘱を受け、国語科を主たる研究教科とし、読解力・表現力の育成に取り組んできた。昨年度からはそれまでの研究を深化・発展させられるよう今までの取組を生かし、そこに教科横断的な視点での言語活動の充実を図ることで児童の表現力の向上を目指している。
（3）こどもたちが自分色に輝く姿は、日々学校ホームページのブログでも紹介している。特に、授業の様子や校地内の美しい自然環境を意図的に取り上げ、幸松小学校の魅力を発信し続けている。

学校名　**春日部市立豊野小学校**

校長名　**飯 塚　耕 治**

所　在　地　春日部市銚子口 1087 番地
連　絡　先　048-735-2112　FAX 048-734-9403
創　　立　明治 6 年 5 月 1 日
開校記念日　5 月 1 日
児　童　数　305 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「　主体的に学び、豊かに表現する児童の育成　(国語科)
～　できた！わかった！うれしい！を実感できる言語活動と授業づくりを通して　～　」

150 周年キャラクター　「元気ヤーマン」

1　沿革

本校は、明治 6 年、藤塚学校として開校し、農村地区の学校として長い歴史をもっている。昭和 45 年頃から都市化が始まり、新興住宅の建設に伴い児童数が急増したため、昭和 54 年には藤塚小と分離し、今年度開校 151 年を迎える。豊かな自然環境の中で、児童は優しく明るく伸び伸びと育っている。

2　学校教育目標

「豊かな心を持ち、自ら学ぶたくましい子」

知育・徳育・体育において一人一人を大切にしたきめ細かな指導を充実させて、「生きる力」を育むことを目指している。

目指す学校像　『子どもの「力」を育む　秩序と潤いと活力のある学校』

合言葉１　『笑顔で元気なあいさつ　日本一』

合言葉２　『読書　自主学習　外遊び』

㋐・・ともだちいっぱい　㋑・・よろこびいっぱい　㋒・・伸びよう豊野っ子

3　目指す児童像

「学びあう子」（意欲的に学習に取り組み、自分の思いや考えを深める児童の育成）

①学習規律の確立　②基礎基本の定着　③仲間と学び合い、自分の考えを伝える学習の工夫
④既習を生かし新たな課題解決に取り組む授業の工夫改善　⑤家庭学習の習慣化

「助けあう子」（思いやりの心を持ち、けじめある生活ができる児童の育成）

①笑顔で元気なあいさつと返事　②決まりを守った行動　③清掃活動に進んで取り組む
④自他を大切にし、友達と仲良くできる　⑤感謝や思いやりの気持ちを言葉や行動に表せる

「きたえあう子」（自ら進んで体をきたえる児童の育成）

①めあてを持って運動に取り組む　②外で元気に遊ぶ　③根気強く運動に取り組む
④早寝早起き朝ごはんの規則正しい生活習慣の確立　⑤食育の推進

4　本年度の取組

本校の特色の一つに、**『創意を生かし、魅力ある豊野小学校の創造』**～【豊野小・10 コスモス】の推進がある。①3 つの宝②3 つの誇り③3 つのあい④3 つの大切⑤3 つの学び⑥3 つの徳育⑦3 つの健康⑧3 つの環境⑨3 つの活動⑩3 つの連携等、10 の価値項目を**「豊野小・10 コスモス」**とし、創意を生かし、各項目の取組を充実させることにより、魅力ある豊野小学校の実現を教職員一丸となって推進している。

令和 4 年度からは、春日部市教育委員会の研究委嘱を受け、これまでに培ってきたユニバーサルデザインの視点を生かし、児童の主体的な学習活動ができるように授業改善、教員の授業力の向上を図っている。また学校運営協議会を中心に、家庭、地域と連携しながら、社会に開かれた教育課程の実現を目指している。「笑顔で元気なあいさつ　日本一」を合言葉に、秩序と潤いと活力ある学校づくりを推進している。

学校名　**春日部市立備後小学校**

校長名　**正 籏　洋 子**

所　在　地　春日部市備後西三丁目２番１号
連　絡　先　048-735-8479　FAX 048-734-9407
創　　立　昭和 47 年４月１日
開校記念日　６月 25 日
児　童　数　224 名（令和６年５月１日現在）

本年度の研究テーマ

「算数科の特性を踏まえた ICT の適切な活用」

令和５・６・７年度　春日部市教育委員会委嘱　情報教育研究

１　沿革

本校は、昭和 47 年に開校し、本年で 53 年目を迎える。校章のデザインになっている「やまぶきの花」は、昔、本校が所在する備後須賀地区にたくさん咲いており、地域の方々に「やまぶきの里」として親しまれたことに由来している。

２　学校教育目標

「進んで学ぶ子・思いやりのある子・健康な子」とし、めざす学校像「思い合いと笑顔あふれる備後小学校」、合い言葉「先にあいさつ　もくもく掃除　感じる心　備後小学校」のもと、全職員が一丸となり、日々の教育活動に取り組んでいる。

３　目指す教師像

〇誇りをもち、広く研修に努め、磨き合いながら向上する教師
〇児童の気持ちを大切にする教師
〇授業を大切にし、魅力的な授業づくりに努める教師
〇保護者や地域社会と連携・協働する教師

４　本年度の取組

（１）学年学級経営の充実

①ミッションを踏まえた学年・学級経営に努める。（目標の連鎖）
②児童理解に立った学年・学級経営に努める。

（２）生きる力を育む授業の創造

①基礎的・基本的な内容の習得と活用、主体的・対話的で深い学びによる確かな学力の定着を図る。
②市教委委嘱研究（情報教育）を推進する。
③学習指導要領にもとづいた教育課程の実施と学習指導要領の趣旨を生かした学習活動を展開する。

（３）生徒指導・教育相談の充実

①基本的な生活習慣の育成とともに規範意識を身に付けさせる。
②指導体制を整え、一致協力して積極的な生徒指導を推進する。

（４）未来を切り開く力を育てる指導の充実

①将来こどもたちが社会の一員としての責任を担い、社会的な自己実現を図ろうとする意欲や態度の育成に努める。

（５）心の教育の充実

（６）特別活動の充実

（７）健康教育の充実

（８）人権教育、特別支援教育、ボランティア・福祉教育の推進

（９）環境教育、情報教育、国際理解教育、外国語教育、学校図書館教育の推進

①SDGs の視点から身近な環境問題に気づき、主体的に環境を守ろうとする実践力を育てる。
②情報リテラシーやモラルの向上を図り、情報を適切に活用する能力を育成する。
③学習指導要領の趣旨を生かし、プログラミングを意識した学習課題を設定する。

（10）教育環境の整備充実

（11）効果的に ICT を活用し、地域に開かれた学校づくりの推進

①授業参観、懇談会、学校行事の公開、ホームページ等を通して、積極的な情報の発信・収受に努め、地域に信頼され誇れる学校を目指す。

学校名　**春日部市立八木崎小学校**

校長名　**江 村　恵 里 子**

所　在　地　春日部市中央四丁目１番地
連　絡　先　048-754-4433　FAX 048-763-9669
創　　立　昭和 47 年４月１日
開校記念日　５月 10 日
児　童　数　662 名（令和６年５月１日現在）

１　概要

本校は昭和 47 年４月、粕壁小学校と豊春小学校の過密解消のために開校し、今年度で開校 53 年目を迎えます。

校区は、春日部市の中心に位置し、春日部駅西口繁華街、商店街、若干の田園地帯と八木崎駅周辺の住宅街を併せもっています。

２　教育計画

「『チーム八木崎小』として、志を一つにして『熱意・誠意・創意』をもって教育活動を推進する。（○「凡事徹底」を大切にし、「率先垂範」を示す。○多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、すべての子供の学力を高める。○児童を認め、伸ばし、称賛し、一人一人の自己肯定感を高揚させる。○人権や生命を守り、安全で安心して学べる教育環境づくりを推進する。○家庭・地域と連携を図り、協働で教育活動を推進する。）」という学校経営方針のもと、学校教育目標として「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」を掲げ、調和のとれた児童の人間形成に努めています。また、目指す学校像を「地域とともにはぐくむ 笑顔が輝く 活力ある学校」とし『気づき 考え 行動し ともに伸びゆく八木崎小』の実現に向けて、日々の教育活動を推進しています。

３　特色ある教育活動

①　思考力・判断力・表現力等の育成を目指した指導方法の工夫

令和５年度から令和７年度まで、春日部市教育委員会委嘱の「国語科」の研究に取り組んでいます。変化の激しい時代を生きていくこどもたちにとって「自分の思いを豊かに表現できる力」は必要不可欠です。令和６年度は特に「豊かな語彙力」「言葉へ関心」を高めることを中心とし、国語科の研究を通し、こどもたちの思考力・判断力・表現力等の育成をはかります。

②　春日部夢の森公園での活動

市内の「春日部夢の森公園」での植樹に開園当時から取り組んでいます。昨年度は２年生が体験をし、今年度も２年生が体験を行う予定です。ドングリなどの木の植樹以外にも、自然観察を行ったり、校内で集めたドングリなどを使いながら、ドングリごま作りを行ったりする活動もしました。

③　羽根つき

毎年、異学年での「なかよし遊び」という活動に取り組んでいますが、１月は本校の伝統である羽根つきを行っています。高学年と低学年がペアとなり、高学年の児童が低学年の児童が打ち返しやすいように羽根をつく姿が見られます。令和４年度には開校 50 周年事業の一環で、一人一枚の無地の羽子板を配り、自分で絵付けをした羽子板で羽根つきを行いました。昨年度は、卒業生が羽子板の絵付けをして学校に贈ってくれました。

④　街角子どもギャラリー

毎年 12 月に、児童の絵画作品を地域の店舗や公共施設に飾っていただく取組を行っています。この取組はすっかり地域に根付いており、八木崎っ子の絵画はどこでも大人気です。自分の作品が地域に受け入れられることは、こどもたちにとってこの上ない大きな励みとなっています。

学校名　**春日部市立牛島小学校**

校長名　**加賀谷　徳之**

所　在　地　春日部市牛島 1080 番地
連　絡　先　048-761-1689　FAX 048-763-9670
創　　立　昭和 50 年 4 月 1 日
開校記念日　11 月 15 日
児　童　数　428 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞
主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成　～一人一人の確かな学力の定着を目指す授業づくり～

◎本校の特色

藤の牛島駅より徒歩で 10 分。西に古利根川、東に倉松川が流れる田園地帯に昭和 50 年に開校し、今年度創立 50 年目を迎える。広い敷地と緑豊かな環境の中で、10 年後のこどもの姿を見据え、「生きる力」を一人一人の児童に身につけさせるため、学校教育目標である知・徳・体のバランスのとれた児童の育成をめざしている。

学校教育目標
○思いやりのある子　○進んで学ぶ子　○たくましい子

目指す学校像
教育力を結集し、子供を「本気」にさせる学校
～自分や自分たちが楽しく、一人やみんなが嬉しい学校「チーム牛島小」～

◎春日部メソッド「伝え合い　学び合い　育ち合い　思い合いがうれしい教室　うれしい学校」の具現化

令和 6 年度より 3 年間、春日部市教育委員会の委嘱を受け、「主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成」をテーマに研修に取り組んでいる。全校児童の学力の底上げを課題として、4 月に行われた全国学力学習状況調査の自校採点を皮切りに、本校の強みと課題を明らかにして、手立てを構築していく。また、年間を通して、各種学力調査の分析結果をエビデンスとして、授業を中心に指導改善を図るとともに、国語・算数の指導者を招聘しての講義・演習、研究先進校の視察、近隣の小・中学校との実践交流などで教員の資質・向上を図りつつ、授業研究会を行う。

◎地域と共に歩む学校づくり

目指す学校像『教育力を結集し、子供を「本気」にさせる学校 ～自分や自分たちが楽しく、一人やみんなが嬉しい学校「チーム牛島小」～』の具現化に向け、学校、家庭、地域の教育力を結集して、『自らを「磨く」児童』の育成を目指している。そのための方策として、学校運営に関して意見をいただく場としての学校運営協議会を年 5 回計画している。各分掌主任からの資料提示をして学校の現状を伝えての協議や、リーダー教員である各学年主任と運営協議会委員との懇談を行う。多くの職員が運営協議会委員と繋がる場を設け、安心安全な学校のために熟議を行い、行事への協力等運営に関わる計画を立てている。また、「毎日が学校公開」を合言葉に、HP をほぼ毎日更新したり、各種たより等で児童一人一人の活躍を積極的に発信したりしていく。さらに、今年度迎える創立 50 周年の周年行事に向けて、家庭、地域と協働する学校「チーム牛島小」を目指していく。

◎五つの心の重点化

牛島小学校「五つの心（感謝する心）（感動する心）（やり抜く心）（思いやる心）（奉仕する心）」を、長年続く伝統として受け継いでいる。折に触れ五つの心を具現化している具体的な場面や言動を取り上げ、全校児童に意識付けを図っている。

◎食育の推進

本校では食育の充実に力を入れている。グリンピースの皮むきなど体験を通して食材に関心をもったり、学活等の授業で食の大切さを学んだりしている。食育担当者が中心となり、児童作の食育標語による日めくりカレンダーを作成し、各教室に配付している。令和 5 年度には、農林水産省第 8 回食育活動表彰「消費・安全局長賞」を受賞した。

学校名　**春日部市立緑小学校**

校長名　**矢 野　渡**

所　在　地　春日部市緑町五丁目４番１号
連　絡　先　048-736-3745　FAX 048-734-9425
創　　立　昭和 51 年４月１日
開校記念日　11 月 15 日
児　童　数　383 名（令和６年５月１日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「健康な心と体の育成」

緑小マスコット
「ミラ・ドリ・リン」

伝え合う力を醸成する授業実践の様子

本校は、昭和 51 年４月１日に粕壁小学校より分離開校し、今年度 49 年目を迎える。教育環境に恵まれ、敷地の東側は、豊かに水をたたえた大落古利根川沿いの遊歩道に隣接しており、桜の季節の景観は見事である。

広い校庭も木々に囲まれ、児童は、思い切り運動や外遊びを楽しんでいる。本校の沿革を紐解くと、開校当初より安全教育、緑化教育、歯科、保健、学校給食、伝え合う力の育成など、継続的な実践により多くの成果を挙げてきている。

目指す学校像を「学びをつなぎ　未来へつむぐ　地域とともに　夢と自信を育む学校」とし、
①確かな学力の育成
②豊かな心の育成
③体力を高め、健やかな体の育成
④美しく安全・安心な学校づくり
⑤家庭・地域とともに歩む学校づくり
⑥学び合い、高め合う組織体制づくり
を基本理念に、児童の知育･徳育･体育の調和を図り、心身共に健全な児童の育成に取り組んでいる。

田植えの様子

コメ販売の様子

本校の特色の一つである、「豊かな心を育む教育活動」と「地域と連携した教育活動」のより一層の推進のため、教育課程上に多くの体験活動を位置付けている。５年生では地域の方や農業振興課と連携し、学区内の田を借りて田植えや稲刈り体験を行っている。

昨年度は収穫したコメを販売するために、オリジナルキャラクターや販促方法を考え、PTA 主催の「ふれあい祭」で販売した。単なる田植え体験の域を脱し、自分達の手で作物を地域に流通させるという「教育ファーム」の理念を基にした活動を行うことで地産地消の在り方についても学習することができた。

４年生では、障がい者福祉や高齢者福祉の推進など、心を育む体験活動を行っている。昨年度は、ブラインドサッカーやブラインドバスケットボール体験を行った。児童は現役で活躍している選手から競技についての指導をいただく中でパラスポーツの魅力に気づくことができた。また、選手のこれまでの人生のエピソードを聞くことで、より深く障がいをもつ方々への理解を深めることができた。

車いすバスケットボール体験の様子

今年度も社会福祉協議会や関係機関と連携を図りながらの体験を計画している。

昨年度より再開された放課後子ども教室（囲碁教室）では、囲碁に興味をもつ児童が集まり、学校応援団の講師の丁寧な指導のもと楽しんで囲碁を打っている。５月からは２期生を募集し、新しいメンバーを加えてより一層の活性化が見込まれている。

令和６年度から、春日部市教育委員会より２ヶ年の委嘱を受け、「健康な心と体の育成」のテーマで研究を始めている。この研究をとおして、児童が自ら健康づくりに取り組む態度を育成し、今後の健やかな成長に寄与できるようにしたい。そのためにも各教科を横断した健康教育の充実を図れるよう教職員一丸となって研究に取り組んでいる。

学校名　**春日部市立上沖小学校**

校長名　**鈴 木　美 江**

所　在　地　春日部市大沼五丁目 44 番地
連　絡　先　048-736-3710　FAX 048-734-9426
創　　立　昭和 51 年 4 月 1 日
開校記念日　11 月 15 日
児　童　数　771 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「確かな読みの力を育む指導法の研究」　～自信をもって自分の考えを表現できる児童の育成～

本校は昭和 51 年 4 月、粕壁小学校、武里小学校からの分離により小字「上沖」の地に開校し、本年度で開校 49 年目を迎える。敷地内にはたくさんの樹木が生い茂り、全校児童がマラソンを楽しめる「林間マラソンコース」や、たけのこ堀りが楽しめる「竹林」など魅力的な環境の中、こどもたちが伸び伸びと学校生活を送っている。また本校の教育環境整備のために、図書・花・交通安全・学習支援ボランティア、おやじの会など、多くのボランティアの方々からご支援をいただくなど、地域との絆が深い学校である。

本年度は、めざす学校像「『真剣・集中』の学びの姿と自信を育てる地域に根ざした学校 ～勢いのある学校～」を掲げ、「わかった」「できた」「褒められた」の体験をこどもたちが多く積んでいくことで自信につなげ、何事にも一生懸命に取り組むこどもを育成している。本校は、平成 24 年度に食育で文部科学大臣表彰、「全国健康づくり推進学校表彰」最優秀校、令和 4 年度に絵画で文部科学大臣表彰、令和 5 年度には埼玉県学校保健優良学校表彰等を受賞している学校である。現在は、国語科を中心に、正確に読む力や自分の考えを自信をもって伝える力を育てる研究に取り組んでいる。

1　学校教育目標　　「かしこく・やさしく・たくましく」

・知（進んで学び考える子）・徳（思いやりのあるやさしい子）・体（元気で粘り強い子）

2　本年度の重点・努力点

（1）「進んで学び考える子」をめざして
・「真剣・集中」の姿づくり・一人一人を確実に伸ばす教育の推進
（2）「思いやりのあるやさしい子」をめざして
・自己有用感を高める集団づくり　・「ありがとう」の言葉や行為を増やす道徳性の育成
・感謝の気持ちを育てる「総合的な学習の時間」SDGs・生活科の学習
（3）「元気で粘り強い子」をめざして
・明るいあいさつ・返事の励行　・一人一人を伸ばす体育授業の実施
・一人一人が何事にも「真剣・集中」で取り組む学年・学級づくり
（4）「地域に根ざした学校」をめざして
・保護者、地域に信頼される開かれた学校　・家庭・地域の力を生かした教育活動の充実
・幼保小中連携
（5）「あたたかな学校」をめざして
・花と緑の潤いの増進　・心地よい教育環境づくり　・互いに思いやりの心を持ち高め合う学校づくり
・一人一人が大切にされ安全で安心して通える学校づくり
（6）「元気のある学校」をめざして
・体育的活動の充実　・望ましい生活習慣の確立　・学校保健委員会の充実

3　特色ある教育活動

本校では、「かくれた学力の育成」を目指し、学校全体で取り組む健康教育を推進している。
（1）全学級で行う「腰骨タイム」
（2）近隣中学校の期末テスト前の諸活動停止期間を実施日とした「アウトメディアチャレンジ」
その際、読書週間としても取り組み、この期間にたくさん読書をすることを奨励している。
（3）ゲーム・スマホについて、上沖小学校全ての家庭で取り組む「かみおきっ子共同宣言」
（4）SDGs と関連させた総合的な学習の時間の教育課程の編成
（5）埼玉県立大学と連携して発達段階に応じた歯科保健指導
（6）児童が考える「三ツ星給食メニュー」

学校名　**春日部市立正善小学校**

校長名　**柿 澤　英 和**

所　在　地　春日部市備後東六丁目２番１号
連　絡　先　048-736-3741　FAX 048-734-9427
創　　立　昭和51年４月１日
開校記念日　11月15日
児　童　数　373名（令和６年５月１日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 ～自分の考えをもち、表現できる児童の育成～」

本校は、昭和51年4月、備後小学校からの分離により、小字「正善の地」に開校して、49年目になる。静かな住宅地にあり、校地内には千本以上の樹木が生い茂り、緑あふれる豊かな教育環境に恵まれた学校である。学校の教育目標には、「自ら考え 本気で学ぶ子」「明るく 思いやりのある子」「元気で やりぬく子」を掲げ、一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校づくりに取り組んでいる。そして、潤いのある学校生活の中で、本校の合言葉である「本気・全力」で何事にも取り組み、共によりよく生きようとする教育の充実を目指している。具体的には下記のとおりである。

【目指す学校像】

『子どもの可能性を信じて未来へ向けて力を伸ばす学校 ～一人一人を大切にする教育の推進～』

（１）安心・安全な学校を目指す

◇全ての教育活動の最優先に安心で安全な学校（自分の身を自分で守れる児童の育成）

◇各家庭との連携が密に図られている学校

（２）落ち着きと潤いのある学校を目指す

◇あいさつのある学校　◇きれいな学校　◇きまりを守る学校　◇花のある学校

◇歌声の響く学校　　◇家庭・地域と一体となって歩む学校

（３）子どもの可能性を信じる（個々の進歩・発達・成長を目標に）

◇進んで学ぶ学校　◇音楽活動に取り組む学校　◇体力向上に取り組む学校

◇一人一人が目標に向かって「本気・全力」で取り組む学校

（４）それぞれの力を伸ばす（磨き合い・高め合い・支え合い）

◇他者を理解し、自分の気持ちを伝える　◇主体的・対話的で深い学びを実現する

◇「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る　◇感謝と思いやりの心を育む

（５）一人一人を大切にする教育を推進する

◇教師がしっかり教え、児童はきちんと学び、確かな学力を定着させる。

◇基礎的な学力の定着を図ると共に、学び合いの中で学ぶ喜びを味わわせる。

◇道徳教育や体験活動を通して、豊かな心を育成する。

◇ていねいな指導、根気強い指導、達成感を味わわせる指導をおこなう。

本校の児童は、「正善小当たり前のこと17か条」の定着が進み、落ち着いて学校生活を過ごしている。学習活動においても、真面目に取り組むことができ学力が定着してきている。その一方で、表現力やコミュニケーション力が十分でなく、自分の考えを論理的に伝えることに課題が見られる。さらに、人前で発表することに消極的な児童も多く、内容を理解していても発表できない様子も見られる。

そこで、昨年度より「自分の考えをもち、表現できる児童の育成」を研究主題として進めてきた算数科に、国語科を加えた研修に取り組んでいる。算数科において、問題解決的な学習過程を定着させ、主体的に考える児童を育成してきた。そこに国語科において、「対話」により考えを深め、筋道を立てて「表現」する力を身に付けさせていくことで、「自分の考えをもち、表現できる児童」を育成していく。

学校名　**春日部市立立野小学校**

校長名　**木 田　真 貴 子**

所　在　地　春日部市南中曽根 1074 番地
連　絡　先　048-736-0001　FAX 048-734-9400
創　　立　昭和 52 年 4 月 1 日
開校記念日　9 月 16 日
児　童　数　478 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「自分の考えを広げ、表現する力を伸ばす指導法の研究」　～算数科を中心に～

開校 48 年目を迎える本校は、「心身ともに健康で生きる力のある児童の育成」を学校教育目標として掲げ、目指す児童像を「よく考える子」　「思いやりのある子」　「ねばり強い子」　「たくましい子」とし、目指す学校像を「安心・安全で、楽しい学校」　「確かな学力をつける学校」　「健康でたくましい体を育てる学校」「保護者、地域から信頼される学校」としている。本年度の重点目標を「教職員一人一人が主体性と活気に満ちて取り組み、切磋琢磨しながら教師力を高め合うと共に、組織を生かした効率的、効果的な教育活動を推進していく」とし、「鍛える・導く・整える・結ぶ」の方針のもと、次の具体策を通じて、計画的・継続的に教育実践し、評価・改善を図っていく。

Ⅰ　＜鍛える＞　「学力・体力・健康づくり」

（1）学習指導の充実
- ・基本的学習態度の徹底　「めあて」と「振り返り」の徹底　基礎学力の定着
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・自分の考えを広げ、表現する力を伸ばす指導法の研究　～算数科を中心に～

（2）体力向上と健康教育の充実
元気タイム・外遊びによる体力づくり　朝食欠食児童の改善・給食指導による食育の推進　むし歯治療率 100%

Ⅱ　＜導く＞　「心づくり」～思いやりと恩送り～

（1）魅力ある学年・学級経営を推進し、生き生きと明るく楽しい学校生活を目指す
特別活動における体験的活動を通して自主的・実践的な態度と自治的能力の育成　場に応じたあいさつ「恩送り」（ありがとうの連鎖）　学年・学級の支持的風土づくりに努め、いじめを防止する

（2）心の教育・人権教育・道徳教育
福祉体験を通した心のバリアフリー教育の推進　人権の正しい理解といじめや差別を許さない人権意識を高める教育の充実　　あいさつ運動　縦割り班活動（なかよしタイム）　命の授業

（3）生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実
組織的な生徒指導委員会 全職員の共通理解・共通行動の徹底　児童理解を深める教育相談（教育相談日）
インクルーシブ教育の理念に基づく指導（合理的配慮）　特別支援学校等との連携（支援籍学習）
就学支援（進級選択）に根差した生徒指導の推進

Ⅲ　＜整える＞　「環境・安全づくり」

（1）施設設備の整備・充実
清掃指導を通して人のために貢献できる実践力の育成（そうじ名人、清掃重点週間）　学校・教室の環境整備（きれいな学び舎　遊具・体育施設の安全管理　樹木の剪定）　安全管理の徹底（安全点検・補修・整備）

（2）安心・安全な生活環境
児童の安全を守る活動の推進（小中合同避難訓練 防犯教室 交通安全教室 通学路点検 不審者侵入時避難訓練 竜巻対応避難訓練）　SDGs に着目した取組推進　事故ゼロ安全指導の徹底　適切な怪我・事故対応

Ⅳ　＜結ぶ＞　「開かれた学校づくり」

（1）学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動
学校運営や教育活動改善・充実を図る学校評価の活用（PDCA）　「立野っ子ひろば」　学校応援団

（2）保護者・地域との連携・協力・協働　　PTA「立野っ子ふれあいまつり」 学校行事への協力　登校見守り

（3）情報の発信　　各たより（学校だより、保健だより、食育だより）の発行　ホームページブログ

学校名　**春日部市立宮川小学校**

校長名　**中 川　貴 子**

所　在　地　春日部市新方袋1090番地
連　絡　先　048-754-7600　FAX 048-763-9671
創　　立　昭和53年4月1日
開校記念日　2月10日
児　童　数　155名（令和6年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞
「運動好きな児童の育成」　～　運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育授業の実践　～

本校には2300本を超える樹木やとても広い学校ファーム、学校ビオトープがある。また、毎年たくさんの種類の果物が収穫できる果樹園やプチ軽井沢などがあり、緑豊かな環境である。恵まれた環境の下、保護者・地域との連携を図り、豊かな体験活動、体力づくり、規律ある生活態度の育成をとおして「生きる力」を育んでいる。

令和4年度より本校では、運動する楽しさや喜び、体力の伸びを味わうことのできる体育授業の実践を通して、運動好きな児童を育成する研究を進めている。

目指す児童像「本気・全力・笑顔で生き生きと学ぶ児童」の実現に向け、「朝も笑顔、帰りも笑顔、笑顔の輝く学校」を合言葉に、「全教職員が全児童担任」の意識をもち、学校が一丸となってこどもたちのよさを伸ばし、児童・保護者・地域に信頼される学校をめざしている。

＜本年度の学校経営方針＞
1　学校教育目標　「輝く笑顔　未来へ　はばたく」
2　めざす児童像　「本気で学ぶ・笑顔があふれる・全力を尽くす」
3　めざす学校像　「朝も笑顔、帰りも笑顔、笑顔の輝く学校」
4　学校経営理念　「学校、保護者、地域が共に育てる共育　　子供たち同士が共に育つ共育」
5　本年度の重点・努力点
≪確かな学力の育成≫
（1）　基礎学力の定着
　　学習ルールの徹底、めりはりの授業、算数少人数指導の充実化、計画・実施・改善のサイクルの実行
（2）　社会の変化に対応できる能力の育成
　　体験を取り入れる、ICTを活用した授業の推進、SDGsの視点をもつ
≪豊かな心の育成≫
（1）　教育環境の整備
　　言語環境の徹底
（2）　規範意識や人権意識の向上
　　児童が活躍する行事と活動を積極的に行い自発性と協働性を養う
　　タイムリーな道徳授業による日常への汎化を促す
　　いじめや差別を許さない学級経営を行う　　すばやく丁寧な初期対応と組織的な対応
（3）地域に開かれた特色のある教育活動の推進
　　コミュニティスクール3年目の充実、地域の人財や物的資源を生かした教育活動の推進
≪安心・安全の確保≫
（1）体力向上と健康増進
　　運動の楽しさや学習の成果を実感できる授業、運動の機会と時間の確保
（2）学校内外の安全・安心
　　日常的に安全に対する意識と実践力を高める
　　学校運営協議会や各種ボランティアとの連携体制の保持・強化
（3）命の大切さと心身の安全・安心
（4）教職員の資質向上
　　児童の義務教育終了後を見据えた指導・支援、教職員事故を絶対に起こさない
　　多様性を受け止め柔軟な対応、よりよい教育活動を児童に提供するための働き方改革の推進

学校名　**春日部市立藤塚小学校**

校長名　**和　田　　浩**

所　在　地　春日部市藤塚 82 番地 2
連　絡　先　048-737-5330　FAX 048-734-9401
創　　立　昭和 54 年 4 月 1 日
開校記念日　11 月 15 日
児　童　数　312 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞紹介
「主体的に思考・判断・表現し、ICT のよき使い手を目指す児童の育成」
進んで学ぶ、互いに学ぶ、確かに（正しく）学ぶ

本校は、昭和 54 年 4 月に豊野小学校から分離し藤塚、本田町を学区として現在の地に開校し、今年度で開校 46 年目を迎えた。学区は、県道春日部松伏線と古利根川に挟まれたところに位置する。南側には田園地帯、北側には住宅地が広がり、駅から徒歩圏内で路線バスも通り、商店も揃った暮らしやすい地域である。

地域の方々の地元への愛着と強いつながりがある環境の中で、コミュニティの一拠点となるよう、教職員一丸となって「一人一人が輝く、みんなで輝く、元気いっぱいの学校」を目指し、「知恵いっぱい、笑顔いっぱい、元気いっぱい」を合い言葉に、教育活動に取り組んでいる。

1　学校教育目標　「豊かな心をもち、進んで学び行動できる子」

知：進んで学ぶ子　　徳：心豊かな子　　体：明るくたくましい子

（1）目指す学校像　「一人一人が輝く、みんなで輝く、元気いっぱいの学校」

一人一人が輝く	みんなで輝く	元気いっぱい
自己肯定感をもち、一人一人が主役となって意欲的に学ぶ。	互いに尊重し高め合い、気持ちや考えを交えて学びを深める。	身体的にも精神的にも健やかに成長し、健康に生活する。

（2）目指す児童像　「知恵いっぱい　　笑顔いっぱい　　元気いっぱい」

知恵いっぱい	笑顔いっぱい	元気いっぱい
・基礎学力の定着 ・思考力の向上 ・社会変化に対応する能力の伸長 ICT 活用、外国語等	・規範意識や人権意識の向上 ・多様性への理解 ・あらゆる現象に対する感受性の向上 ・学校や地域への愛着	・体力と気力の向上 ・安全への意識の定着 ・自他の生命の尊重

2　本年度の取り組み

（1）ICT を活用した、思考・判断・表現力を伸ばす授業の実施

日々の授業を大切にし「学習がわかり、できた喜びを味わい、主体的に学ぶ児童」「自分の考えをしっかり持ち、表現・発信できる児童」「意見交流を通して、自分の考えをより深められる児童」の育成を目指している。ICT を十分に活用し、学年ごとに目標を明確にし、タブレット等の技能を習得する活動場面を各教科に設ける等、実践の積み重ねを通して学びの成立を深めるとともに、より良い使い手になるためのデジタルシチズンシップ教育の推進を図る。

（2）特色ある教育活動

学校の敷地には草花が多く計画的に緑化を進め、一人一鉢栽培も実践している。また、実のなる木が多く植樹されている。四季を肌で感じることができる自然豊かな環境であることから、開校以来、季節の変化を自分の言葉で表現する「俳句」の取組を継続している。学校の特色を「花と俳句と実りの学校」とし、豊かな感性を育む教育を行っている。また、地域の方々の協力により、野菜作りや稲作体験などの活動を展開している。児童が主体的に学ぶ教育活動の充実を図っていく。

学校名　**春日部市立小渕小学校**

校長名　**中 野　貴 子**

所　在　地　春日部市小渕905番地1
連　絡　先　048-761-7161　FAX 048-763-9673
創　　立　昭和55年4月1日
開校記念日　11月19日
児　童　数　297名（令和6年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

主体的に学び、生き生きと伝え合い考えを深める小渕っ子の育成
～主体的に取り組み、自分の考えを表現する指導法～

今年度45年目を迎える本校は、春日部市の北部に位置し、広々とした田畑に囲まれ、四季折々の美しい風景を見せる豊かな自然の中にある。一方、地域の南端に国道16号線と南北に国道4号線が交わる小渕交差点があり、また、県道である惣新田春日部線が走る交通の要所でもある。

学区内には、名刹「不二山浄春院」と「小渕山観音院」がある。特に「不二山浄春院」の林は、（古）利根川によって作られた砂丘の自然林であり、地質学的にも貴重な存在である。また、学区の境を流れる大落古利根川にも貴重な生態系が保全されている。

校内には、埼玉県の木であるケヤキを始め、春日部市の木である桐、春日部市の花である藤など、様々な木々が生い茂っている。また、柿や栗、サクランボやカリン、夏みかん、梅など、多くの木が果実を実らせ、色鮮やかに目を楽しませてくれる。

このような環境の中、学校教育目標「自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成」の達成のため、「知恵いっぱい・やさしさいっぱい・元気いっぱい」の『いっぱい運動』に取り組みながら、こどもたちが毎日、わくわくして登校する「瞳キラキラ、笑顔いっぱいの学校の創造」の実現を目指している。

開校2年目から取り組んでいる「はだしの教育」は、今年が44年目となり、我が校の大きな特色とともに伝統となっている。こどもたちは「はだし」で大地を踏みしめ、足の裏から土のぬくもりや柔らかさ、冷たさや硬さを感じながら、6年間という長い時間をかけて、これからの人生をたくましく生き抜いていくための力の礎を身につけていっている。また、開校20周年時には、「はだしの像」（前田忠一・作）が設置された。親子2代で「はだし」で学んだという家庭も増えつつあり、「はだしの教育」は保護者や地域の方々に支えられている教育活動である。

平成5年度には、おやじの会を中心として敷地内に雑木林「トトロの森」が整備された。31年目を迎え、植樹された木々は大きく成長した。夏には葉を茂らせて木陰をつくり、秋にはたくさんのどんぐりを落とし、こどもたちの学習に生かされている。また、平成15年度から、森の周りの堀を生かして、ホタルの飼育を始めた。地域の方の力を借りながら、5年生のこどもたちがホタルの幼虫を飼育・観察している。5月に堀へと放流した幼虫は、夏には成虫となって森を飛び交う。新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年は中止となっていたが、学校運営協議会が主体となって、6年生の家庭や近隣住民に案内をして、鑑賞の機会を設け始めたところである。

平成8年度から取り組んでいる俳句作りでは、四季の変化を敏感に感じ取る感性とともに、言葉の美しさや響きを感じる心を育んでいる。季節に合わせて俳句の募集をし、その中から優れた作品を「トトロ句集」として年4回発行している。昨年度末には第126号の句集が発行されるなど、こどもたちの生活の中に俳句作りが根付いている。また異学年による縦割り班で活動するなかよし集会、卒業生が在校生に最後の走りを披露し伝統を引き継ぐラスト・ラン（3月）等があり、特別活動に力を入れつつ、こども同士の交流を通して、思いやりの心や助け合う心を育んでいる。

「全てのベクトルはこどもたちの笑顔に向けて」を合い言葉に、「こどもが通いたい、保護者が通わせたい、職員が働きたい、地域が見守りたい学校」の実現に向けて、学校、家庭、地域がともに連携、協力し日々の教育活動に取り組んでいる。

学校名　**春日部市立武里南小学校**

校長名　**阿 久 津　進**

所　在　地　春日部市大枝 89 番 2 街区 1 棟
連　絡　先　048-733-6911　FAX 048-733-6913
創　　立　平成 15 年 4 月 1 日
開校記念日　6 月第 3 週の月曜日
児　童　数　340 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞
『体を動かす楽しさに触れ、進んで運動に取り組む児童の育成』～汗をかき、喜び実感、武里南小の体育授業～

1　沿革

本校は、「みんなで南風になろう！　明るく、元気で、あたたかく～自分もよくて、みんなもよい学校～」をスローガンに、児童と教職員が共に活動し、自他のよさを活かし高め合い、南風を吹かせる元気で明るい学校である。平成 15 年の学区再編で旧大畑小・旧谷中小・備後小の一部を学区として開校し、今年度は創立 22 年目となる。また、教職員、児童、保護者、地域が一体となった『特色ある学校づくり』に力を入れており、当たり前のことが当たり前にでき、主体的に学び合い、向上心をもって成長する児童の育成に努めている。

2　学校教育目標

力をあわせる子【自分を　お互いを　認め合う教育の推進】

自ら考える子【自己を高め　互いに学び合う　学力向上】

たくましい子【気力と体力の向上】

3　本年度の重点

TEAM 武里南小『学ぶ意欲と気力・活力を育む学校』

○体育の授業力を向上し、主体的に運動する児童の育成【武里南小授業スタイルの確立】
　(3 つの資質・能力をバランスよく育む学習過程の工夫)
　(ICT を効果的に活用した授業実践)
○国語・算数を要とした学力向上の継続・定着・発展
　(課題のある児童への基礎・基本の定着)
　(武里南小の財産(R4,5 年度に確立したもの)を継続・定着・発展
○「武里南小　Challenge 5」の継続と定着・発展
　(学習規律や挨拶、読書、家庭（自主）学習、体力を高める活動の実践)
○特別な配慮を必要とする児童への対応
　(不登校児童等へ個々の実態に応じた「繋がり」と「支援」の充実)
　(特別支援学級における個々の障がいの状態等に応じた支援・指導計画の作成)
○児童の心の成長を図る道徳教育の推進
　(「考え議論する道徳」互いに本音で意見を出し合う授業の実践（基盤は学級経営）)
○ICT を活用した授業実践
　(個別最適な学びや協働的な学びを実現)
　(教員への ICT 研修の充実＝「偏りのない ICT 活用」)
○3 校の連携による学校運営協議会を活用した学校力の向上
　(学校運営協議会からの意見を学校運営に積極的に反映する)
○業務改善の推進
　(「春日部市立学校における働き方改革基本方針」に沿った教育活動の改善・改革)
　(運営委員会や業務改善会議等での建設的意見を吸い上げ、業務改善の推進を図る)
※「前年度踏襲は後退、常に変化への対応」

学校名　**春日部市立武里西小学校**

校長名　**加 藤　大 二**

所　在　地　春日部市大場 822 番地 1
連　絡　先　048-733-7701　FAX 048-733-7703
創　　立　平成 15 年 4 月 1 日
開校記念日　6 月第 3 月曜日
児　童　数　472 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「自ら学び、自分の考えを表現できる児童の育成」ー確かな読みと豊かな表現力を育てる指導の工夫ー

（春日部市教育委員会委嘱 国語科 2 年次）

武里西小は、学校教育目標を「気づき行動する子　自ら考え学ぶ子　心と体を鍛える子」とし、「地域とともに育む 明るいあいさつと歌声が響く やさしさと笑顔あふれる学校」を学校経営ビジョンとし、「いつでも　どこでも　一生懸命」「素直がすてき!一生懸命がかっこいい!」を合言葉に保護者や地域と連携を図りながら日々の教育活動に取り組んでいる。本校は、武里団地を含む地域を学区とする 4 校を閉校して、平成 15 年度に新設された開校 22 年目の学校である。さまざまな地域から人が集まっているだけでなく、外国からきた児童・外国籍の児童も在籍しており、平成 27 年度から日本語教室を開設している。生まれた国も家庭環境も違うことから、文化や習慣が異なり、児童は多様な価値観をもっている。また、明るく素直であるが、自分の意見を主張することが苦手な傾向にある。

平成 28 年度からは異なる考えや価値観を受け入れ、お互いに尊重し支え合ってよりよく生きていこうとする態度をはぐくむことを目指し、3 か年にわたり特別活動（学級活動）を中心に研究を深めた。研究の中で、意見の異なる人と折り合いをつけること、他者と話し合い、集団としての意見をまとめることを学び、学級や学校生活の課題を見つけ、児童が主体的に話し合い、役割を分担して協働して実践したり、お互いのよさに気づいたりすることができるようになった。

令和 5 年度からは、春日部市教育委員会の委嘱を受け、国語科を中心に学校課題研究をすすめている。変化の激しい世の中をたくましく生き抜く児童を育成するには、言葉による見方・考え方を働かせていくことであると捉える。人は、言葉の力で強くもなれれば、深く傷ついたりもする。つまり、「国語力は人間力」なのである。言葉の力を培っていきたい。そして、児童自身が自らの学びについて考え、自己決定を積み重ねて、答えの出ないような問いや困難な状況に陥っても、果敢に乗り越えられるたくましい力を醸成していく。

＜学校教育目標＞

1　気づき行動する子

教育活動全般において「気働き」に力を入れている。気づいて行動することを大切にし、自己肯定感や自己有用感の向上に努めている。また、心温まる学級づくりに加えて、異学年縦割りグループで活動する「たけにしタイム」、本校の特長の一つである 160 名収容できるランチルームを活用した「はっぴーランチ（お誕生日給食）」等で異学年交流の場を設定し、教師と児童、児童相互の人間関係をさらに深められるようにしていく。

2　自ら考え学ぶ子

日々の授業の実践を通して、基礎的・基本的な力が着実に身につくように進めている。課題解決的な学習や考えを深めるためのグループでの話合いなど、授業時間内に意図的・計画的に設定し、自ら意欲的に学習に取り組めるように工夫している。さらに家庭生活においても「家庭生活 10 の約束」等を配付し、家庭生活及び家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着をねらい取り組んでいる。また、読書貯金通帳や武西読書の日（毎月第 3 木曜日）の取組を通して、本好きの児童を育成し、読解力の向上も目指している。

3　心と体を鍛える子

体育の授業を中核に据えて、楽しく自ら進んで運動に親しむ児童の育成を目指している。「すこやかタイム」（業前運動）では、持久走となわとびを用いて、基礎体力作りに取り組んでいる。また、オープンスペースを活用して学年ごとに合唱活動に取り組んでいる。心をつなぎ、朗らかな気持ちを育む良き伝統になっている。

学校名　**春日部市立南桜井小学校**

校長名　**髙 野　正 晴**

所　在　地　春日部市下柳３番地
連　絡　先　048-746-0026　FAX 048-746-0010
創　　立　明治６年４月 16 日
開校記念日　９月 24 日
児　童　数　316 名（令和６年５月１日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「できた」「わかった」を味わわせる指導法の工夫（1 年目）
～自分の考えを伝え、深めることができる児童の育成～

本校は、明治６年に下柳の明清寺に下柳学校として発足する。明治 19 年９月 24 日、現在の場所に移転し、下柳尋常小学校と改称する。明治 42 年に南桜井尋常高等小学校とさらに改称し、「南桜井」の名称が誕生する。春日部市の東部に位置し、国道４号線と 16 号線が交差する地点の北東部に所在する。

学区内には、旧庁舎があり、現在は総合支所、図書館、児童館となっている。その周囲には体育館、総合公園、正風館、また国の施設である龍Ｑ館など多くの公共施設があり、こどもたちの貴重な学習の場となっている。

１　学校教育目標

・自ら学ぶ子（かしこ玉）
・思いやりのある子（やさし玉）
・元気でたくましい子（げんき玉）

目指す学校像：地域とともに歩む「おらが学校」南桜井小

２　本校の特色ある教育活動

①学び合う学校：分かる授業の展開、音読・計算を活用した基礎基本の定着。言語能力を高める学習活動の実践。自分の思いを膨らませ、自分探しに役立つ読書活動の推進。

②思いやりあふれる学校：よさを認め、励まし、思いやりのあふれる教育活動の展開。青少年赤十字活動を通して気づき考え実行する力の育成。善い行いを認め称え広める「ひまわり賞」の推進。

③健康な体をつくる学校：全身を働かせる活動や遊びの推進と、運動の質と量を高める体育の授業実践。心と体の健康と、緑豊かな環境づくりの推進。

④地域・保護者と連携する学校：「学校・家庭・地域の連携計画」の推進。積極的な地域人材の活用。学校運営協議会での熟議と、地域連携推進のための具体的な取組。

その他の特色ある活動として、全校で取り組む『けん玉チャレンジ』、１・２年生の合同学習、２年生の野菜づくり体験、３年生の地域のフィールドワーク、４年生の環境学習、５年生の米作り体験、６年生の EM 菌体験、伝統芸能クラブの獅子舞など地域の方々との交流を通して、思いやりの心や豊かな人間性の育成に努めている。

３　本校の研究

令和３年度から、春日部市教育委員会から『全教科領域』を対象に「『SDGs を具現化する児童の主体性を重視した教育』～自ら気づき、考え、行動する児童の育成～」をテーマに研究を行ってきた。SDGs の理念や精神を教育活動にリンクさせることで、より深い動機付けや理解につながっていくと考え、各教科・領域において、SDGs の視点につながることを意識することで、問題・課題に気づく力を育成することができた。また、目標をもって粘り強く努力を続ける活動意欲あふれる児童、課題解決のために何をしたらよいか考え、些細な事でもよいのでそれを行動に起こしていきたいという意識に結び付けることができた。

一方では、埼玉県学力・学習状況調査において、本校の児童は基礎的・基本的な知識及び技能に課題があることが明らかになった。また、日頃の学習活動の中で、自分の意見に自信をもつことができず伝えることをためらったり、他人の意見に流され考えることをあきらめてしまったりする児童も、一定数いることがわかった。そこで、あらゆる教育活動の中で、「できた」「わかった」を積み重ね、学習に対する成就感をもたせることで学びの質を高めながら自己の考えを形成していきたいと考え、本研究テーマを設定することとした。

学校名　**春日部市立川辺小学校**

校長名　**梶 村　麗 子**

所　在　地　春日部市米島 756 番地
連　絡　先　048-746-0009　FAX 048-746-0057
創　　立　明治 7 年 12 月
開校記念日　9 月 9 日
児　童　数　372 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

〈本年度の研究テーマ〉

「確かな学力の育成を目指す指導法の研究（算数科）」～ICT 機器の効果的な活用を通して～

1　学校の概要　本校は、明治 7 年に永沼学校として開校し、今年度 150 年目を迎え、11 月 9 日（土）に「150 周年記念式典」を開催予定の「歴史と伝統に支えられた学校」です。また、学力の向上を推進するとともに、学校、家庭、地域が一体となって『特色ある学校づくり』に力を入れている学校です。令和 4 年度からは、算数科研究校として春日部市教育委員会の委嘱を受け、授業における ICT の効果的な活用を踏まえつつ確かな学力の育成を目指して指導法の研究に取り組み 11 月に研究発表会も開催する予定です。

2　学校教育目標　「たくましく　心豊かに生きる子」

3　目指す児童像

◇進んで学び考える子（知恵いっぱい）　◇思いやりのあるやさしい子（笑顔いっぱい）
◇元気でねばり強い子（元気いっぱい）

4　特色ある教育

本校は目指す学校像を**「知恵いっぱい　笑顔いっぱい　元気いっぱいの学校」**とし、よさを磨き知性と個性を伸ばす教育活動を展開しています。

①学び合う学校・・・学力と自信を育む学校

・分かる授業・分かるまで教える授業の展開
・スキルアップタイムを活用した基礎・基本の定着
・NIE（新聞活用）による言語能力を高める学習の実践
・知的探求心を向上させる読書活動の推進
・高学年における一部教科担任制の実施
・SDGsを意識し、ビオトープを活用した学習活動の実践

ＩＣＴを活用した授業

②健康な体をつくる学校・・・身体活動を豊富に展開する学校

・体力向上を目指した全身運動や運動の質と量を高める体育の授業実践
・業前運動、休み時間の外遊びの推進「体力づくり」「ロング昼休み」等
・安心安全で潤いのある美しい環境づくりによる心身の健康の保持増進
・体力テストや健康つみたてカードの活用による体づくりの実践
・避難訓練の充実による安全意識（自分の身は自分で守る）の向上
・歯科保健教育の充実

避　難　訓　練

③思いやりのあふれる学校・・・社会力を身に付ける学校

・よさを認め、励まし、思いやりのあふれる教育活動の展開
・「気づき・考え・実行する」力の育成
・発達段階に合わせた体験活動、交流活動、異年齢集団活動の推進
・あいさつ、返事、美しい言葉づかいによるコミュニケーション能力の育成
・道徳教育や人権教育の充実
・積極的な生徒指導、温かい教育相談の推進
・いじめ、不登校など、一人一人に寄り添った早期支援・校内体制の強化

学校運営協議会

④地域・保護者と連携する学校・・・地域・保護者と共にこどもを育てる学校

・学校運営協議会の充実による情報の共有化と自発的な活動
・積極的な地域人材活用の推進とPTA、民生委員・児童委員等関係機関との連携
・学校情報の積極的な発信（HP、ブログ、学校だより、メール等）
・学校評価の実施と公表（PDCAサイクル）
・中学校区での連携（授業公開・合同避難訓練・アウトメディア週間）
・幼保小の連携、特別支援学校との連携（接続期プログラム・連絡協議会・授業交流・支援籍交流等）

学校名　**春日部市立桜川小学校**

校長名　**小 野　誠**

所　在　地　春日部市大衾 496 番地 1
連　絡　先　048-746-6238　FAX 048-746-6223
創　　立　昭和 50 年 4 月 1 日
開校記念日　5 月 30 日
児　童　数　579 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞
「主体的・対話的に学び続ける児童を育む指導法の工夫」

本校は、春日部市の東部に位置し、広い敷地内にはたくさんの桜の木や雑木林を生かした自然の森、のびのびと遊べる芝生広場などがあり、こどもたちは恵まれた環境の中で健やかな学校生活を送っています。

本校では、「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」の育成を目指し、調和のとれた児童の人間形成に努めています。そのために、公立学校のよさを最大限生かし、目指す学校像でもある『「瞳輝く　桜っ子」を地域と共にはぐくむ　やさしさと笑顔あふれる学校』を合言葉に、地域の方々や保護者と連携・協力体制を築きながら、創意と温かみのある「手作りの学校」を目指しています。

【目指す学校像】　「瞳輝く　桜っ子」を地域と共にはぐくむ　やさしさと笑顔あふれる学校
～「学び合い、思い合い、鍛え合う桜っ子」が育つ「まなびや桜川」～

重点項目

①“気持ちの良い相手に伝わるあいさつ”及び “しっかり返事をさせること”の徹底
- 「気持ちの良い」「相手に伝わる」のイメージ化・共有
- 良いあいさつ・返事ができる児童が認められる雰囲気づくり
- 毎日の健康観察におけるあいさつ・返事・座り方（合言葉「ペッタン・ピン・グー」）の定着
- 真剣さを認め、褒め、新たな課題を提示（スモール・ステップ）

②“互いの良さを認め、一人一人に居場所がある” 学級づくり　学校づくり
- 相手の立場に立って考える児童の育成（全体指導と個別指導）
- 最後まで話を聞く姿勢の育成（受容的な態度）
- 友達の良さに目を向けさせ、表現させる工夫
- 学級活動（話合い）の充実（チームワーク賞の活用）
- 相手を大事に思い、尊重する意識・態度の育成

③“伝え合い、学び合う”授業づくり
- 意欲を高める授業の導入と伝え合い、学び合う場面の設定
  （見通しをもたせ、主体的に取り組ませる工夫）
- 計画的な 1 時間の授業構成と「振り返り」「まとめ」の重視
- 「タブレット」と「紙と鉛筆」のベストミックス（効果的な活用）
- 一人一人の学力の状況把握と保障

④“めあてをもち、進んで体を鍛える”児童の育成
- 規律ある態度の育成
- 目標に向かって、努力できる児童、挑戦する児童の育成
- 朝マラソンの奨励（目標設定、賞状・メダルの活用）

⑤“明るい歌声が響く”クラスづくり　学校づくり
- めあてを意識した歌声の重視
- 楽しく歌える雰囲気づくり
- 音楽の楽しさを味わわせる音楽集会の工夫

学校名　**春日部市立中野小学校**

校長名　**安 東　由 美 子**

所　在　地　春日部市東中野 654 番地
連　絡　先　048-746-8271 FAX 048-746-8595
創　　立　昭和 54 年 4 月 1 日
開校記念日　5 月 1 日
児　童　数　327 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

〈本年度の研究テーマ〉

「気力みなぎる児童の育成」

～児童が非認知能力を磨き、主体的に運動に取り組み、体力を向上させる体育授業のあり方～

本校は、昭和 54 年 4 月に大字中野、新宿新田、西金野井各区の一部を学区として開校した。春日部市東部、江戸川の畔に位置し、カッコウやウグイスなどの野鳥の声も聞こえる、四季折々の豊かな自然の中にある。校内の学校ファームや花いっぱいの花壇、様々な種類の樹木、江戸川土手などの自然を生かした特色ある教育活動を展開している。また本校は、運動に熱心に取り組み、全校遠足や集会活動などの異学年交流も盛んである。さらに保護者・地域の皆さんを招いての生け花教室や伝統文化の学習など、体験を通して、学校・家庭・地域が協働してこどもたちの育成に取り組んでいる。

1　目指す学校像（ミッション）

①こども一人一人のよさを認め、磨く学校　②「できた」「わかった」があふれる学校
③気持ちのよいあいさつ・返事・ありがとうが響き合う学校　④家庭・地域から信頼される学校

2　目指すこども像

①やさしく思いやりのある子　②自ら学び、仲間と学び合い、自分の考えを表現できる子
③目標に向かって、粘り強く最後までがんばる子

3　学校教育目標

(な)かよく　(か)しこく　(の)びのびと

4　指導の重点・努力点

（1）生きる力を育み、確かな学力を身につける学習指導の充実
①「読み・書き、計算」等の基礎的な学力の定着を図る ②基礎・基本を活用する力（思考力・判断力・表現力）を伸ばす ③自分の考えをもつ、他者の意見を聞く、話し合う、考えを深める場面の設定 ④家庭学習の啓発 ⑤少人数指導等多様な学習形態を設定し、分かる授業を行う ⑥学校課題研修及び各種研修の充実　⑦教育課程の着実な実施 ⑧特別支援教育の積極的な推進

（2）豊かな人間性を育む教育活動の実践
①気持ちのよいあいさつ・返事ができる子の育成 ②道徳的実践力を育む道徳授業の充実・改善 ③縦割り集団活動「フレンド活動」による異学年交流、思いやりのある子の育成 ④ノーマライゼーションの理念に基づいた教育の推進 ⑤自然体験活動の推進

（3）気力と体力を育てる健康教育の推進
①健康教育の充実と啓発活動の実施 ②目標をもった体力づくりの推進 ③学校事故ゼロの推進 ④食育の推進

（4）社会の変化に対応できる教育の推進
①進路・キャリア教育の推進 ②国際理解教育の推進　③情報教育の推進 ④環境教育の推進

（5）安心安全で美しい学校環境づくり
①美しい学校づくり　②安全点検の実施　③清掃や美化活動の充実　④学校緑化活動の充実

（6）学校・家庭・地域社会が協力し、期待と信頼に応える学校づくり
①学校運営協議会を活かした教育の推進・安全確保　②学校教育活動の積極的な公開、広報　③全保護者によるあいさつ運動と学区内パトロールの実施　④児童の地域行事への参加促進　⑤学校評価結果の活用 ⑥不祥事絶無＝教職員事故ゼロ

5　目指す教師像

こどもの気持ちを大切に活動し、こどもの力を伸ばし、自らを磨く教師
・こどもの気持ちを大切に共に活動･･･こどもの気持ちに寄り添いよさや個性を認め、磨く教師
・こどもを伸ばし･･･創意と活力ある教育活動を展開し、生きて働く力を身に付けさせる教師
・自らを磨く教師･･･自己研鑽に努力を惜しまない教師
自分の働き方を見つめ健康で明るい教師

学校名　**春日部市立春日部中学校**

校長名　**柳 田　敏 夫**

所　在　地　春日部市粕壁四丁目４番15号
連　絡　先　048-761-2253　FAX 048-763-9609
創　　立　昭和22年４月１日
開校記念日　５月１日
生　徒　数　811名（令和６年５月１日現在）

１ 学校教育目標

可能性に生きる
豊かな知性　あふれる情熱　熱い友情

合言葉
一生懸命がかっこいい

２ 学校の責務

〇生徒に力をつける教育（生徒のよさや可能性を伸ばし、生徒に力をつける教育を行う）…目指す責務
〇安全・安心な環境（安全を確保し、安心して生活できる環境を整える）……当然の責務

３ 目指す学校像

「信頼が育まれ活力がみなぎり、生徒がいきいきと活動する学校」

【信頼される学校】とは
- 生徒一人一人が生き生きと自己実現を図り、職員個々がその職責を自覚して厳しく磨き合う学校
- 施設設備が充実し、花と緑につつまれた心安らぐ学校
- 保護者や地域社会の声に耳を傾けて共に活動し、保護者や地域の人々が誇りに感じる学校

【活力ある学校】とは
- 社会の動きを受け止め、常に変化し進歩発展する学校
- 生徒がその可能性を見出して挑戦し、生き生きと活動する学校
- 職員が常に子どもとともにあり、職員の意欲、保護者の応援、地域の教育力あふれる学校

４ 目指す生徒像

「失敗を恐れず挑戦し、目標達成のために粘り強く努力できる生徒」

R5.11.1 「合唱祭」

５ 経営方針

（１）常態のレベルアップを図り、「継承」と「創造」、「発展」を推進する 。
（２）「自立」と「連携」で校力を高める 。
（３）「教師力」を高め、地域の負託に応える。

６ 本校の特色ある教育

（１）「ICTの効果的な活用」「主体的に学ぶ授業」を基にした生徒の学力向上推進
（２）わかる授業の実践(家庭学習ノートの実施)」と、知・徳・体のバランスを大切した学習指導の充実
（３）生徒一人一人の実態把握を大切にした、全職員によるきめ細かな生徒指導体制の確立
（４）「生徒指導委員会」「教育相談部会」「学年会」「学年主任会」等における、個に目を向けた指導の充実
（５）学級担任、学年職員等による教育相談機能の向上と、さわやか相談室と連携した不登校対策の充実
（６）「春中ソーラン節」「歌声の響く学校」「後輩に残す3箇条」等、伝統を引き継ぎ、誇りを育む教育活動
（７）全職員による教育環境の創出。教室掲示、校内掲示、ペンキ塗り、「意欲の湧く言葉」の掲示
（８）運動部・文化部共、活発な部活動の推進、「部活動育成会」による保護者との連携
（９）「気づき　考え　実行する」JRC活動等、豊かな心を育てるボランティア活動の推進
(10) 未来の国際人を育てる地域の教育力の連携・協働によるオーストラリア姉妹校との国際交流（KAFE）
(11) 「自主の扉をひらく」教育活動の推進、自主性を育むノーチャイムの実施
(12) 善行を褒め各種表彰を励行する。（「金山賞」、表彰内容の表示）
(13) 学校だよりや学年だより、ホームページ等による、教育活動の地域社会への情報発信
(14) 「PTA」による教育支援と「春日部中学校区青少年を育てる会」を軸とした青少年の健全育成
(15) 学校評価と学校運営協議会委員等による学校関係者評価を有効に活用した教育活動

＜本年度の研究課題＞　「　関連づけ、深い学びへ　～情報活用能力の育成～　」

学校名　**春日部市立東中学校**

校長名　**三 浦　力**

所 在 地　春日部市樋堀 181 番地 1
連 絡 先　048-752-2454　FAX 048-763-9663
創　　立　昭和 37 年 4 月 1 日
開校記念日　10 月 1 日
生 徒 数　596 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

【 本年度の研究テーマ 】

学びに向かう意欲あふれる生徒の育成　　～　ICTを効果的に活用した学校教育活動の工夫　～

【 学校教育目標 】

「夢と生きる力を育む」

○学び続け自分の言葉で発言する（話）
○心あたたかでわかり合う（和）
○社会の一員として貢献する（輪）

【経営方針】

合言葉は「 応援される人になろう 」
（地域の文化と歴史に育まれて63年）

○確かな学力の育成・正しい規範意識の育成・個性の伸長
○教職員と生徒の一層の信頼関係を築く（信頼こそ教育の原点）
○教職員相互、教職員と保護者、地域等との行動連携

【 目指す生徒像 】

1　夢をもつ生徒　　2　感謝できる生徒
3　意欲ある生徒　　4　協力し合う生徒
5　責任を果たす生徒

体育祭開会式

【 目指す学校像 】

「生徒一人一人を認め、生かし、伸ばす学校」

1　認め合い学び合いのある学校（知）
2　生徒が誇りに思える学校　　（徳）
3　健やかな身体を育む学校　　（体）

【 本年度の重点・努力点 】

1　学び合いがうれしくなる学習指導
・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
・問題解決的な学習の質的向上を目指した授業づくり　　等
2　望ましい人間関係を育成し共生する心の醸成
・思いやりの心や命を大切にする心の教育
・心の糧となる読書活動や文化芸術活動　　等
3　健康・安全教育の充実
・安全についての実践的な能力や態度の育成
・健康 3 原則(栄養、睡眠、運動)の推進、望ましい生活習慣の確立　等

【 学校の概要 】

本校は市の東部に位置し、学区内に古利根川、樹齢 1000 年と言われる国の天然記念物の牛島の藤、古い山門と円空仏で名高い小渕山観音院などがあり、自然や歴史・文化に恵まれている。

昭和 22 年に開校した幸松中の前史も引き継ぐ春日部の伝統校であり、幸松小･牛島小･小渕小の 3 小学校から新入生を迎えている。校区内の小学校・高校・特別支援学校や幸松地区少年を守る会との連携のもと、こども達の健全育成を目指した地域ぐるみの教育を進めており、地域の人々に学ぶ体験学習、職場体験学習、ふれ合い活動などがある。学校行事には、保護者のみならず、地域の方々にもたくさんの参加をいただいている。

また、生徒と教師が一体となって汗を流し、互いに人権を尊重し、明るいあいさつのできる学校づくりに努めるとともに、「夢・感謝・意欲･協力･責任」の目標にせまる計画・実践・評価を通して、知･徳･体のバランスのとれた生徒の育成に努めている。

新校舎と新校庭という整備された快適な環境の中で、生徒たちは、学習や部活動に意欲的に取り組んでいる。

学校名　**春日部市立豊春中学校**

校長名　**永　野　　修**

所　在　地　春日部市南中曽根 107 番地 2
連　絡　先　048-752-2717　　FAX 763-9664
創　立　日　昭和 22 年 4 月 1 日
開校記念日　5 月 1 日
生　徒　数　375 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

◇学校概要

【令和 5 年度　合唱祭】

本校は、昭和 22 年(1947)新学制により豊春村立豊春中学校として村立豊春小学校敷地内に開校しました。昭和 29 年(1954)7 月 1 日、町村合併に伴い春日部市立豊春中学校と改称されました。昭和 45 年(1970)に現在の場所に移転し、今年で 78 年目を迎える学校です。春日部市の西端に位置し、さいたま市岩槻区東側と接しています。東武アーバンパークライン豊春駅から徒歩 15 分ほどのところにあります。

今年度は、各学年 3 学級、特別支援学級 4 学級の計 13 学級、全校生徒は 375 名です。

◇学校教育目標

「かがやく未来を創る　～夢・感動・絆～」

◇経営方針

【目指す生徒像】

「夢を追いかけ、生命かがやく豊中生」

（1）活力のある学校　・授業や行事が活発で、笑顔がかがやく学校
（2）秩序のある学校　・明るい挨拶があり、動と静のメリハリがある学校
（3）潤いのある学校　・美しく清潔で、歌声や温かい言葉があふれる学校

◇経営理念と合言葉

【凡事徹底】

（1）時を守り・場を清め・礼を正す（あたり前のことがひかり輝く学校）
（2）共汗・感動・信頼（教師と生徒が共に汗を流し喜びを分ち合う学校）
（3）チーム豊春中（教職員が一丸となって共に学び高め合う学校）

◇本年度の研究テーマ

「生徒一人ひとりのよさを見つめ、主体的に学びに向かう生徒を育てる指導・支援の工夫」
～個別最適な学びの充実による、確かな学力の育成～

◇本校の特色（誇り・自慢）

本校は、「合唱の豊春」の伝統を継承し、歌声の響く学校として地域に根付き、地域に支えられている学校です。新入生歓迎会では 2、3 年生の合唱披露、例年文化会館で行っている合唱祭をはじめ、さまざまな場面で歌声を披露する場面を設けています。部活動では男子卓球部とハンドボール部、男子ソフトテニス部、部活動ではありませんが硬式テニスが県大会に出場しました。また、混声合唱団や吹奏楽部、箏曲部等の文化部も熱心に活動しており、箏曲部は TBS こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会に出場しました。

体験活動の充実の場として、1 年生で校外学習、2 年生で山村民間宿泊学習、3 年生で修学旅行を実施し、豊かな心と社会性を育むことを目的として取り組んでいます。また、学力向上に向けては、「豊春スタイル」を全教科で実施、ICT 機器を積極的に活用した授業をはじめ、家庭学習の充実に向けトライアルノートの活用を実践しています。道徳教育においては、豊春授業スタイルの確立と教師のローテーション授業、相互授業参観、学年フロアへの道徳コーナーの設置等、全校をあげて生徒の道徳性を育む教育に取り組んでいます。

学校名　**春日部市立武里中学校**

校長名　**三 浦　裕**

所　在　地　春日部市薄谷３番地
連　絡　先　048-735-3034　FAX 048-734-9418
創　　立　昭和 22 年４月１日
開校記念日　６月 14 日
生　徒　数　472 名（令和６年５月１日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「創造力を系統的に育む生徒の育成

～SDGs のテーマを関連させ、多様な考えを尊重できる生徒へ～」（1 年次）

◇学校の概要

本校は、昭和 22 年に創立され、学校周辺には緑地公園や田園風景が広がる、緑豊かな環境の中にあります。また、学校施設は、広い校庭や重層体育館などの充実した施設・設備が整えられています。

このような恵まれた環境のもとで、生徒は学習活動や学校行事、部活動に全力で取り組んでいます。

また、特別支援学級、通級指導教室がそれぞれ設置されており、特別支援教育を実践する環境も整い、個々の特性に応じた指導を行っています。

◇学校教育目標

「創意に満ち人間性豊かな生徒」

① 自ら考え実行する生徒
② 素直で思いやりのある生徒
③ 健康でたくましい生徒
④ 勤労を尊ぶ生徒

【令和５年度　体育祭・合唱祭】

◇学校経営方針

関係法令、県、市の各教育委員会の重点施策等に基づき、学校教育目標の具現化を図るために校長を中心とした全職員の協働体制の下、教育活動を推進することにより保護者や地域の信託に応え、活力と潤いに満ちた魅力ある地域学校づくりを目指す。

- 教育の主体を常に生徒におき、「生徒が主役」の教育活動を実践する。
- 「チーム武里中」の核として、全職員が強固にバインドし、一丸となって組織力を発揮する。
- 学校運営協議会を機動、充実し家庭・地域と連携・協力して信頼される地域学校づくりに取り組む。

◇育てたい生徒像

○ 自ら考え実行する生徒　→　・課題に向き合い、解決しようとする生徒
　・よりよく判断し、正しく行動する生徒

○ 素直で思いやりのある生徒　→　・自分とは異なる考えなどを受け入れられる生徒
　・自他を大切にし、助け合い、感謝し合える生徒

○ 健康でたくましい生徒　→　・感染予防を励行するなど、健康と生命を大切にする生徒
　・何事にもねばり強く、最後までやり抜く生徒

○ 勤労を尊ぶ生徒　→　・進んで力になろうとする生徒
　・家庭、学校、地域の一員であろうとする生徒

◇武里中の伝統と新たな伝統づくり

武里中の校旗は、昭和 28 年に制定された、伝統ある「三色旗」です。武里中の赤・白・青の「三色旗」は、赤（紅色）は「向学の真心」、白（純白）は「清き心」、青（縹色）は「青雲の志」を表したものであり、この三つを基本とする教育が本校の伝統です。また、「生活・学習記録ノート」の活用やタブレットの家庭への持ち帰りによって家庭学習の習慣化と充実を図り、学力向上を目指しています。

学校名　**春日部市立大沼中学校**

校長名　**金 丸　敦**

所　在　地　春日部市大沼六丁目 75 番地
連　絡　先　048-736-9986　FAX 048-734-9420
創　　立　昭和 52 年 4 月 1 日
開校記念日　9 月 16 日
生　徒　数　609 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

【本年度の研究テーマ】

「豊かな人間関係の中で主体的に学ぶ生徒の育成」
～ 言語を使った表現力を高める研究　～

【学校教育目標】

「心身ともに健康で社会に有為な人づくり」
○考える力　（知）…自ら学び、自ら考える生徒
○判断する力（徳）…相手の立場を尊重し、主体的に判断する生徒
○行動する力（体）…心身ともに健康で、ねばり強く行動する生徒

【 合 唱 祭 】

【目指す学校像】

『夢や希望を語れる大沼中』
○夢：中学校で得る外的刺激を糧として生徒が視野を広げ、世界に目を向けること。
○希望：他者との触れ合いを通して、自己のよさやとりえ(個性)に気づき、生かそうとすること。
○語れる大沼中：『個は夢や希望など、自己の考えを他に発することができる。』『集団は個々の違いを理解しながら、個の考えを自分のこととして受け止め、互いに高め合うことができる。』これらの視点を持ち、家庭・地域と共にこどもたちを育む学校を目指す。

【目指す学校像を具現化させるための 4 つの合言葉+1】

1　学力の高い学校
準備、本番、反省、改善のサイクルを本校では「黄金サイクル」と呼ぶ。本校の特色は黄金サイクルの実践にあり、全ての教育活動において取り組むことで、確かな定着を図る。「全ての営みとその結果は、準備が大方を占める」という考え方を生徒に身につけさせることで、一人一人の学力向上につなげ、生徒が将来にわたって主体的に豊かな人生を切り拓くことができるようにする。

2　美しい学校
「ひまわり賞」を実施する。よさ、とりえを伸ばし、温かい心を大切にする。「いじめを生まない土壌づくりのための基本的な方針」を毎年度当初に見直し、毎月定期に「心と体の安全点検日」を設ける。自分を取り巻く環境を大切にする心を育む清掃活動、他人を分かろうとする心と行動力を育むボランティア活動、読書に親しむ態度を育む読書活動に取り組む。

3　歌声響く学校
一人一人が心を込めて歌うことで、学級、学年、学校全体の感動が生まれる。感動の共有はこどもたちの豊かな心を育む。歌うことをとおして、互いに支え合うことの大切さを本校の伝統として継承する。

4　あいさつの飛び交う学校
心地よいあいさつは、一瞬で相手を気持ちよくする効果がある。自ら元気で明るいあいさつができる学校、生徒を育成する。

プラス１　　クツ箱にクツのかかとがキチンと揃って入っている学校

【目指す教師像】

1　信頼醸成
敬意の念で先人に学ぶ・安心安全な施設設備・信頼と連携による生徒指導・家庭に寄り添った進路指導

2　協働協調
困りごとを言える職場・若手育成・解決策を増強させる力のある組織・情報共有のスピードと正確性

3　学力重視
受容的な人間関係づくり・生徒の実態を客観的に把握、分析し指導に活かす体制づくり

4　連携協力
生徒の自尊感情、地域愛を育む地域連携の推進・よさを認め励ます情報発信・関係機関との連携

学校名　**春日部市立豊野中学校**

校長名　**平 原　隆 範**

所　在　地　春日部市銚子口 130 番地
連　絡　先　048-737-0440　FAX 048-734-9421
創　　立　昭和 52 年 4 月 1 日
開校記念日　9 月 16 日
生　徒　数　440 名(令和 6 年 5 月 1 日現在)

1 学 校 教 育 目 標

夢創造

夢　創　造
- (知) 主体的に学び合う生徒
- (徳) 温かいあいさつのできる思いやりにあふれた生徒
- (体) 豊かな活力をもって「一生懸命」を大切にしながら成長していく生徒

豊野中学校
【４つの合言葉】
温かい挨拶・真剣な授業
心ある歌声・美しい学校

2 学 校 経 営 方 針

「生徒も先生(職員)も、家庭も地域も生き生き充実ウェルビーイング！」
～夢創造する一生懸命がカッコイイ学校～

本市の総合振興基本計画基本目標の一つである「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」の理念に立ち、地域と連携した特色ある教育活動の推進を通して、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進する。さらに、本市独自の学校教育プランである「かすかべっ子 はぐくみプラン」 の取組を一層推進し、児童生徒一人ひとりのよさを伸ばす指導を行う。

また、春日部市教育委員会教育長の方針でもある「継承と創造」「攻めと連携」の考えのもと、47 年間かけて築かれた本校の歴史を敬い、この地域、この学校ならではの文化・伝統を継承し、さらに常態をレベルアップさせ、創造・発展させる。目指す学校像、生徒像においては、春日部メソッドの合言葉「伝えあい、学びあい、育ちあい、思いあいがうれしい学校　うれしい教室」の具現化をイメージし設定する。

3 目 指 す 学 校 像

「生徒も先生(職員)も、家庭も地域も生き生き充実ウェルビーイング！」
～夢創造する一生懸命がカッコイイ学校～
○生徒・教職員にとって「居がい」「やりがい」のある学校
○保護者・地域にとって「頼りがい」のある学校
○夢を大いに語り、生徒の「夢創造」を応援する学校
○一生懸命がカッコイイと思える学校
○ボランティア活動を積極的に推進する学校
○SDGsに興味を持ち、積極的に実践する学校

4 本 年 度 の 重 点

(1)学校評価から

◎「学校生活が楽しい」　R5 生　徒 → 1 年 92.6%　2 年 90.4%　3 年 93.4%
R5 保護者 → 1 年 90.8%　2 年 90.9%　3 年 80.8%
R5 教　師 → 96.3%

◎あいさつ　◎学校生活・ルール

⊙重点項目
「家庭学習とタブレットの有効活用」「生徒、教職員のコミュニケーションスキルの向上」

(2)地域との連携

○豊野中学校コミュニティースクール
スローガン「豊野のよさを継承し、夢と未来を創造する」
○郷育・響育・共育の目標
～地域を大切にし、豊かな人間関係を築き、夢と未来、世界に向かってたくましく生き抜く生徒の育成～
○少年育成会との連携　○豊野地区災害対策協議会

(3)特色ある学校づくり

○部活動　ガイドラインに寄り添った質の高い活動を通して、生徒の良さをさらにのばし、自信と主体性を磨く
○地域行事への積極的な参加

(4)積極的な情報発信

☆豊野中の宝を発信したい。自慢の生徒、先生、地域を広く知ってもらいたい
○ホームページ　○学校だより　○オンライン発信

(5)小・中の連携

○合同研修会　○出前授業　○ボランティア活動等

5 本 年 度 の 研 究 テ ー マ

思考力・判断力・表現力等を高め、主体的に学習する生徒の育成　～ICT の効果的な活用による授業実践をとおして～

学校名　**春日部市立緑中学校**

校長名　**石 川　和 明**

所　在　地　春日部市緑町五丁目９番38号
連　絡　先　048-737-8447　FAX 048-734-9422
創　　立　昭和58年４月１日
開校記念日　５月８日
生　徒　数　239名（令和６年５月１日現在）

令和６年度　　緑中学校の教育

１　学校教育目標　　○賢い生徒　○優しい生徒　○逞しい生徒

２　めざす学校像　　**みんなの笑顔が輝く学校**　○学び続ける学校　○心を育む学校　○活力のある学校

３　めざす生徒像　　○ 感じて　考え　行動できる生徒　　合言葉『 **続ける力** 』

４　めざす教師像　　○ 学び続ける教師　○ 生徒に寄り添う教師　○ 誠実かつ迅速に行動する教師

５　本年度の指導の重点

★小規模校としてのよさを活かした組織づくりへの転換
（１）学年の枠を越えた協力体制の強化
（２）生徒の多様性に配慮した、きめ細やかな指導方法等の構築
★猛暑や感染症にも対応した新たなスタイルの教育活動への転換
（１）生徒の心身の健康面への配慮
（２）教育効果の維持、向上を目指した学習指導、行事、部活動の実施
★生徒一人一人が自分と向き合う力を育てるキャリア教育の充実

なごみ像

（１）確かな学力の育成
① 新学習指導要領に沿った「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った教員一人一人の授業改善および教育課程の適切な実施と評価
② ICT機器を効果的に活用した授業改善と家庭学習の充実
③ GIGAスクール構想の推進、タブレット端末の効果的な活用
④ 校務分掌に「学習担当」を明確化　学習指導に関わる諸課題を全校で改善

（２）豊かな心の育成
①「特別の教科　道徳」を要とした全教育活動をとおした道徳教育の充実
② 生徒の自主性を育てる特別活動の充実
③ 特別支援教育の視点を大切にした学級経営の推進
「合理的配慮」によって、できることを伸ばす・ほめる指導の充実

（３）心身の健康づくりと体力向上
① 授業や部活動をとおした心身のたくましさの育成
② 猛暑や感染症にも配慮した教育活動の充実
③「自分の命は自分で守る」安全教育の充実

（４）地域とともに歩む学校
① 持続可能な小中連携（緑小・正善小）と地域、PTAとの連携
② コミュニティ・スクール設置による開かれた学校づくりの具体的取組
③ 関係諸機関との積極的な連携

６　本年度の研修主題

生徒一人一人が自分と向き合う力の育成　～一人一人の輝かしい未来の実現を目指して～

学校名　**春日部市立大増中学校**

校長名　**大 井　晋**

所　在　地　春日部市上大増新田 140 番地
連　絡　先　048-737-5100　FAX 048-734-9423
創　　立　昭和 59 年 4 月 1 日
開校記念日　11 月 28 日
生　徒　数　292 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「共感的な人間関係を育み、心豊かで主体的に学ぶ生徒の育成」
～学び合い、教え合い、認め合いがうれしい教室を目指して～

1　学校概要

春日部市の南西部に位置し、立野小学校、本校、春日部共栄中学高等学校、春日部高等技術専門校と 4 校が並ぶ学園ゾーンです。

また、校舎は円形を基本にしたモダンなつくりで、中庭にはオブジェもあり、多くの樹木に囲まれた自然豊かな学習空間が形成されています。

昨年度は創立 40 周年を迎え、生徒・教職員・PTA による記念式典の実施、40 周年記念誌の刊行を行いました。

2　学校教育目標「理性　情熱　友愛」

（1）理性：自ら考え、正しく判断し行動できる生徒
（2）情熱：意欲をもって、全力でやり抜く生徒
（3）友愛：自他を大切にし、思いやりの心で助け合う生徒

3　目指す学校像「生徒・教職員の笑顔と希望が溢れる学校」

（1）「共有・共感・協力」～すべては生徒のために～
（2）「凡事徹底」～何でもないような当たり前のことを徹底的に行う～

4　目指す生徒像

（1）理性
①人として正しく判断して、よりよく生きようとする。
②自ら進んで社会と関わり、社会に貢献していける。
③基本的生活習慣を身に付け、健康で安全に生活する。

（2）情熱
①自ら学ぶ意欲をもち、主体的に学習に取り組む。
②夢や希望、目標をもち、その達成に向けて努力する。
③新しいこと、困難なことにも立ち向かい、挑戦する。

（3）友愛
①人の心の痛みを理解し、よさを認め合い、思いやりをもって行動する。
②自校や地域を愛し、その中で生きる自分に誇りをもてる。
③感謝の心をもち、仲間や学校・地域のために尽くそうとする。

5　今年度の重点項目

（1）チームワーク、組織的な対応を大切する学校（「対話」と「協働」）
（2）指導力（授業力）の向上に努める学校（「不易」と「流行」）
（3）仕事と生活の調和の推進を図る学校

学校名　**春日部市立春日部南中学校**

校長名　**鶴 見　和 弘**

所　在　地　春日部市武里中野 746 番地
連　絡　先　048-737-2869　FAX 048-734-9417
創　　立　平成 31 年 4 月 1 日
開校記念日　11 月 15 日
生　徒　数　446 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

◇学校の概要

開校 6 年目にあたり、「共に夢を語り合える春日部南中」を合言葉に、確かな学力の育成と豊かな心の育成を目指して様々な教育活動を進めています。

◇学校経営方針

1　学校教育目標　**夢に向かって　未来を拓く　～自立・共生・貢献～**

スローガン　～共に　夢を語り合える　春日部南中～

2　目指す生徒像

- **◆ 自ら学び考える生徒**　・主体的に学びに向かい自ら判断し、解決することができる生徒
- **◆ 素直で心豊かな生徒**　・相手の立場を尊重し、認め合い高め合うことができる生徒
- **◆ 心身ともに逞しい生徒**　・心身を鍛え、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒

3　目指す学校像

- **◆ 活力のある学校**　・疑問符（？）と感嘆符（！）が溢れる学校
  ・「今」を頑張れる学校
- **◆ 秩序のある学校**　・挨拶が行き交う学校　・「心」が見える学校
- **◆ 潤いのある学校**　・美しく清潔な学校　・「笑顔」が溢れる学校

4　行動目標

- **◆ 凡事徹底**　・当たり前のことを徹底的に行うこと（時を守り　・場を清め　・礼を正す）
- **◆ 師弟同行**　・立場に関係なく共に学び合うこと（全ての人から学ぶ姿勢）
- **◆ 率先垂範**　・人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと（勇気と信念）

◇本年度の重点

キーワード　**「日本型学校教育」を発展させ「令和の日本型学校教育」へ**

1　夢を育む教育

- ・学力の向上、係・委員会、部活動の充実（夢を描く色や素材を獲得する）
- ・キャリア教育の充実（夢を描くための活力を補充する）
- ・読書の充実（夢を描く想像力を豊かにする）

2　地域に根ざした魅力ある教育

- ・学校運営協議会を根幹とした連携（小中の縦の連携、保護者・地域との横の連携）
- ・地域に開かれた学校から地域と共にある学校へ（ボランティア等）

3　個別最適な学び

- ・教える学びから学ばせる学びへ（教えすぎない教育の実践）
- ・指導の個別化（一人一人に応じた効果的な指導の実現）
- ・環境の個別化（学習活動や学習課題に取り組む機会を可能な限り提供）

4　協働的な学び

- ・他者を尊重し、自己表現する（見方考え方の深化）
- ・多様な他者との学び合い（互いを認め合うことのできる土壌づくり）
- ・集団で学ぶ力の醸成（ペアやグループ学習を通して学びの化学反応を促進）

学校名　**春日部市立葛飾中学校**

校長名　**松 原　　睦**

所　在　地　春日部市永沼 2250 番地 1
連　絡　先　048-746-0002　FAX 048-746-5260
創　　立　昭和 22 年 4 月 1 日
開校記念日　4 月 22 日
生　徒　数　529 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

目指す学校像

「笑顔と思いやりあふれる　夢　実現　葛飾中学校」

1　学校教育目標

『 自ら考え実行する生徒 』

・学力を高める
・心身を鍛える
・進んで働く
・物を大切にする

2　学 校 経 営 方 針

○ 学校教育の使命を自覚し、生徒、保護者や地域の願いに応え、地域に根ざした元気な学校づくりを進める。
○ こどもたちと向き合い、確かな学びと豊かな学びのある学校づくりを進める。
○ 心の教育の充実を全教育活動の基盤に据え、豊かな人間性と社会性の育成に全力を尽くす。

3　目指す学校

○ 学校は学び合うところ、うれしいところ、安全なところ、きれいなところ
○ 学校は生徒のよさを引き出し、確かな学力をつけるところ
○ 学校は生徒に豊かな心を育むところ
○ 学校は生徒の健やかな身体を育むところ
○ 学校は生徒・保護者・地域に愛され誇れるところ

4　育てたい生徒像

○ 真剣に学習に打ち込む生徒
○ あいさつがしっかりできる生徒
○ 時間を守る生徒
○ 互いに認め合い、思いやりのある生徒
○ 汗を流して働く生徒
○ 部活動や行事で心身を鍛える生徒
○ 健康・安全に気をつけ、交通ルールを守る生徒
○ 公共物を大切にし、人のために力を発揮する生徒

5　望まれる教師像

○ 生徒の気持ちを理解し、生徒のやる気を引き出す教師
○ 常に研究と修養に努め、自ら学び続けようとする教師
○ 組織の一員としての自覚を持ち、自ら厳しさのある教師
○ 理想を追い求め、率先垂範する教師
○ 教育公務員としての使命を自覚し、信頼される教師
○ 取捨選択したり優先順位をつけたりしながら効率よく働き、常に心身ともに健やかな状態で生徒に向き合える教師

6　学校経営の理念

生徒一人一人のよさを見つけ伸ばす教育の推進（長所伸長）

子供たちは、一人一人「よさ」や「可能性」を持っている。それに気付き、引き出し、伸ばすことが、私たちの使命である。（学校の主役は生徒）

そのためには、生徒と共に汗を流し（共汗）、喜びを分かち合い（共感）、共に学び続け（共学）、自身と家族が心身ともに健康である教員でなくてはならない。そして私たちの「よさ」を発揮し、一枚岩となり、互いに高め合い認め合う学校を目指す。

＜本年度の研修主題＞　令和 5・6 年度春日部市教育委員会研究委嘱

「一人ひとりの良さに気づき、認め合い、高め合う、心豊かな生徒の育成」
～主体的・対話的に学ぶことがうれしい教室づくり～

学校名　**春日部市立飯沼中学校**

校長名　**中 島　毅**

所　在　地　春日部市飯沼 180 番地
連　絡　先　048-746-7321　FAX 048-746-7322
創　　立　昭和 57 年 4 月 1 日
開校記念日　6 月 22 日
生　徒　数　365 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

＜学校教育目標＞　「自主実行」 ～自ら学び進んで実行～
◇自ら課題を持ち進んで学ぶ生徒
◇豊かな心を持ち責任を果たす生徒
◇心身ともに健康な生徒

[飯中マスコット　エガオーくん]

＜目指す学校像＞　生徒一人一人が自主的に気持ちを尽くして行動できる
凛と和の調和のとれた学校
合言葉　「ありがとうがいっぱいの学校」
◇凛とした学校
・集中するときは全力で集中する学校　・行事や部活動に熱い学校
◇和のある学校
・思いやりある行動ができる学校　・心を尽くすことができる学校
◇潤いある学校
・温かな言葉がけがある学校　・美しく清潔で花が咲き誇る学校

＜経営方針＞　◇確かな学力と豊かな心を育む教育課程　◇生徒が「居がい」を感じる教室づくり
◇心身ともに健康な生徒　◇安心安全な学校
◇保護者・地域との絆を深め、「地域の学校として信頼される学校」

＜本年度の重点＞　◇学力向上　◇豊かな心の育成　◇安心安全な学校　◇保護者・地域との連携
◇学校運営協議会を核とした中期的学校経営

＜本年度の研究テーマ＞
「 論理的な説明、多様な表現力の育成を目指した
教科横断的な学習の研究 」（春日部市教育委員会研究委嘱）

本校では、昨年度より各教科で身につけてきた力を活かし、それぞれの教科で育てた「論理的な力」を総合的に活かしていく「教科横断的な学習」の研究を進めてきた。今年度はさらに発展させ、本校の課題でもある表現力の育成に資する研究を進めていく。各教科・領域を関連付けることで、それぞれ単独で学習する以上に学びを深め、生きて働く力にすることができるよう研究を進める。そして「体験の飯沼」と合わせ、生活の底力をつけていく。

＜特色ある取組＞

「体験の飯沼」として、成功体験が味わえる豊かな体験的活動の充実を推進している。教科横断的な学習、SDGs、国際理解教育、地域連携共育を柱とし、全教育活動で体験的活動を取り入れている。

昨年度は、修学旅行、スキー教室、しらさぎ祭（合唱祭）に加え、ジャカルタ日本人学校との交流、首都圏外郭放水路見学、キャリアデザインプロジェクト、田植え体験、桜マルシェボランティア、田植え体験、シニア体験、着付け体験、着衣水泳などを行った。また開校以来の伝統として「無人購買」を生徒会が運営・管理している。その他にも大凧マラソン・ボランティアや地域の小学校との交流、エコキャップ活動、校内及び周辺地域のゴミ拾い等のボランティア活動に多くの生徒が参加しており、生徒一人一人に自主実行の精神が息づいている。

学校名　**春日部市立江戸川小中学校**

校長名　**菊 野　大**

所　在　地　春日部市上吉妻１番地
連　絡　先　電話 048-748-1020
FAX　048-748-1282
創立記念日　平成 31 年 4 月 1 日
開校記念日　9 月 29 日
児童生徒数　200 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）

〈本年度の研究テーマ〉

仲間とよさを発揮し合い、自ら課題解決を目指す児童生徒の育成
～学習ツール〔ICT 機器等〕と学習形態〔協働的（協調的）な学習等〕の効果的な活用～

本校は宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校の 3 校を統合してできた、県下初の義務教育学校です。

1　義務教育学校運営の基本方針

・義務教育 9 年間を見通した系統的で継続的な学習活動による学力・体力の向上
・異学年の交流活動や体験的な学習活動による豊かな人間性・社会性の育成
・個々のこどもの実態を踏まえた共通認識に基づく方針による指導・支援の推進
・地域の特性を生かし地域との協働による特色ある教育活動の展開
・個々の教職員の魅力を活かした指導体制の充実

2　学校教育目標

自ら学び、考える子　（確かな学力）
心豊かで、思いやりのある子　（豊かな人間性）
たくましく生きる元気な子　（健やかな体）

3　目指す子供像

え　笑顔であいさつする子　（基本的生活習慣）
ど　堂々と考えを伝えられる子　（思考力・表現力）
が　頑張りぬく子　（確かな学力・体力）
わ　わかりあう子　（思いやりの心）

4　本校の特色ある教育活動

（1）一人一人の児童生徒が多様な体験を積み、夢を見つけ育む教育

・豊かな体験を通した地域の人・文化・歴史とのふれあい活動
・学校運営協議会を核とした地域と協働する教育活動
・個性を磨き、夢を育むキャリア学習
・1～9 年生が協働しながら交流する諸活動

（2）児童生徒理解を基盤とした、一人一人の児童生徒に向き合い、寄り添う支援

・全職員で進める児童生徒理解と組織的体制による支援
・教育相談の定期、不定期の実施
・道徳教育の推進（後期課程は複数体制による指導）
・全校的な体力向上を目指す活動（なわとび、持久走等）

（3）わかるまで、できるまで取り組む継続した指導と支援

・少人数や個別の指導（支援）の実施
・わかる授業の工夫と Chromebook 等の様々な教具の活用
・家庭学習の習慣化を目指した自主学習の取組

Ⅴ　社　会　教　育

社会教育課

1　課の目標

「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」の実現に向けて、市民一人ひとりが自らの意思で学習し、学んだ力をボランティア活動や地域の発展等に生かせる生涯学習社会を築くために、中核となる社会教育行政の充実を図る。関係機関・団体との連携の基に、地域に密着した学習情報や学習機会を開発・提供し、市民の自主的な学習活動を奨励するとともに、活動を支える基盤を整備する。あわせて、「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」の実現に向けて、家庭・地域・学校と協力して青少年教育の充実を図る。

2　主な施策

（1）社会教育の充実

生涯学習社会構築の中核的な役割を担う社会教育行政の充実を図り、心豊かで生きがいのある生活の創造と連帯意識にみちた活力ある地域づくりを目指すため、社会教育推進体制の充実、指導者の育成、学校教育並びに関係機関・団体等との連携拡充及び市民との協働の推進に努める。

（2）社会教育関係団体の活性化

社会教育活動活性化のために、必要に応じ、市民の自主的な事業の後援、指導者・ボランティアの紹介、助言等の支援を通して、社会教育関係団体の活性化を図り、市民参画による社会教育活動を推進する。

（3）人権教育の普及・啓発

部落差別、女性、こども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）などの感染者、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、LGBT 等の性的少数者、ホームレスなど、さまざまな人権問題があることを踏まえて、人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、関係機関・団体、市人権教育推進協議会、民間企業等との連携を図り、さまざまな人権を尊重する人権教育の普及・啓発を推進する。

（4）芸術文化活動の奨励、促進

市民に優れた芸術文化活動に接する機会を提供するとともに、地域において活動する個人、団体等と連携し、その活動を支援し、発表の場をつくるなど、市民の自主的な芸術文化活動を奨励、促進する。

（5）青少年教育の充実

青少年教育の充実を図るため、関係団体と連携して、青少年を対象とした事業や、家庭教育の支援のための事業を実施するとともに、青少年の地域活動・ボランティア活動の推進を図る事業を実施する。あわせて、「かすかべ郷土かるた」を活用した郷土学習の充実を図る。

（6）適正な図書館運営と学校図書館への支援

図書館の読書活動及び学習・情報拠点機能の更なる充実を図るため、電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用を促進し、図書、記録その他必要な資料を収集するとともに、図書館が指定管理者によって適正に運営されているか継続監視し、必要に応じて協議及び指導を行う。

また、小学校、中学校及び義務教育学校図書館の支援を拡充するため、中学校及び義務教育学校(後期課程)の学校図書館への訪問支援、小学校及び義務教育学校(前期課程)の学校図書館支援員へのサポート等を実施する。あわせて、「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」に基づき、「図書館リストランテ」の実施など、こどもの読書活動をより一層推進することを目指し、関連する施策に総合的、計画的に取り組む。

（7）生涯学習推進体制の充実

令和元年度からスタートの「第2次春日部市生涯学習推進計画」に基づき、より多くの市民が生涯学習に関心を持てるよう、生涯学習の楽しさや魅力を積極的にPRし、相談・支援体制を充実させる。

また、一人ひとりのライフスタイルに合った多様な学習機会を提供するとともに、学習成果を地域で生かす機会を充実させ、地域の活性化を促進する。

あわせて、生涯学習推進本部、生涯学習市民推進員、関係機関等との連携を図り、生涯学習事業を効果的に実施する。

（8）生涯学習情報・安心して学ぶことができる学習機会の提供

市民の自主的な学習活動を奨励・支援するため、市民講師による「生涯学習市民塾」、「遊学1日体験教室」、「かすかべし出前講座」等を開催し、安心して学ぶことができる多様な学習機会を提供する。

10～12月に市内で開催される生涯学習のイベントを「かすかべ遊学フェスティバル」参加事業としてPRし、広く市民に生涯学習情報を提供する。

また、市民の学習目標や学習成果等が記録できる生涯学習パスポート「はるがく帳」を配布し、生涯学習の推進を図る。

（9）視聴覚センターの充実

視聴覚教育を通して、市民の生活文化と知識教養を向上させ、学校教育と社会教育の振興を図る。そのために、施設の専門設備を活用した講座を開催するとともに、情報提供、教材の開発、教材・機器の貸出しを行う。

３　主な事業の概要

（１）社会教育担当

区分	事業名	事業内容	備考
社会教育総務事務	社会教育委員会議	社会教育に関し教育委員会に助言するため、必要な研究調査等を行う	
	市民アカデミー	人権作文・ポスターの発表を行うとともに、社会教育の推進と充実を図るため、市民・学校・社会教育活動を行っている団体を対象とした講演会を行う	市人権教育推進協議会と共催 遊学フェスティバル参加事業
	二十歳を祝う会	二十歳を迎えた若者の人生の節目を祝福するとともに、将来の幸福を祈念し、社会人として市民としての自覚を促すために祝賀式典を行う	二十歳を祝う会実行委員会を設置
	学社連携事業	市内の高等学校、大学等と連携し、公開講座等を開催する また、公民館等が小学校、中学校及び義務教育学校との連携により実施する学校開放講座の支援を行う	
	社会教育関係団体事業費補助金	社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体が行う事業に対し、補助金を交付する	
	人権教育の普及・啓発事業	人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、近隣市町や人権教育推進協議会との連携を図り、人権教育研修への協力支援や普及・啓発事業を行う	
	人権教育推進協議会事業費補助金	人権教育の積極的な振興を図ることによって平等で明るい社会づくりに寄与するため、春日部市人権教育推進協議会が行う事業に対し、補助金を交付する	
	青少年地域活動・ボランティア活動推進事業	青少年の地域活動・ボランティア活動体験の機会の創出のため、中学生を中心にボランティア手帳の配布を行う また、地域活動・ボランティア活動等、人に喜ばれる活動を行った者に対する表彰支援として小学校、中学校及び義務教育学校への表彰状の配布を行う	
	かすかべ郷土かるたを活用した郷土学習	郷土愛の高まりを目的として、小学校及び義務教育学校の３年生を対象に、社会科または総合的な学習の時間を活用した郷土学習を実施する	
	子ども大学かすかべ	こどもの学ぶ力や生きる力を育むため、共栄大学・公益社団法人春日部青年会議所と連携し、小学校及び義務教育学校の4～6年生を対象に、こどもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を実施する	子ども大学かすかべ実行委員会を組織

芸術文化振興事業	芸術文化情報の収集及び提供事業	市民の芸術文化活動を支援するため、市内の芸術文化活動や芸術文化関係施設等の情報を収集し、市公式ホームページやかすかべの芸術文化ポータルサイト等において情報提供を行う	芸術文化に係るイベント・人材・団体情報等
	市美術展覧会（市展）	市民の美術への理解と創造力の啓発を図るとともに、豊かな人間性を養い、本市における芸術文化の発展に寄与するため、市展を開催する	市展実行委員会を設置 遊学フェスティバル参加事業
	彫刻の維持管理及び周知	「彫刻のある街づくり」によって市内に設置した 22 体の彫刻の維持管理を行うとともに、パンフレットを配布するなど、彫刻の普及、活用を図る	
	共催・後援事業	市民の芸術文化活動等に係る教育委員会共催・後援事務を行う	
	芸術文化振興事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動を奨励するとともに、市民が優れた芸術文化事業に触れる機会を支援することを目的として、芸術文化団体が行う地域において優れた創作、創造等の芸術文化活動に対し、補助金を交付する	

（2）図書館担当

区分	事業名	事業内容	備考
図書館運営事業	春日部市立図書館運営審議会	図書館の運営に関する事項について調査審議を行い、教育委員会に意見を述べる	
	市立図書館の蔵書構築	中央・武里・庄和図書館資料の購入、収集及び保存に係る選定を組織的系統的に行い、市民や地域状況の求める資料を提供する	
	指定管理者の継続監視	指定管理者による図書館運営が適切になされるよう継続監視を実施し、図書館機能の維持発展を図る	
	中学校及び義務教育学校(後期課程)図書館支援	中学校及び義務教育学校(後期課程)の学校図書館に訪問支援を実施し、生徒の読書意欲の向上、学校図書館の利用向上等の効果を図る	
	小学校及び義務教育学校(前期課程)図書館支援	小学校及び義務教育学校(前期課程)に配置されている学校図書館支援員を対象に全体研修を実施するとともに個別相談に対応する	
	学校連携事業	小学校、中学校及び義務教育学校を対象に「ブックトーク」及び「団体貸出」の実施並びに「学校おはなし会」の調整を行う	
	第2次春日部市子ども読書活動推進計画	「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」に基づいた「図書館リストランテ」などの取組を実施する	

（3）生涯学習推進担当

区分	事業名	事業内容	備考
生涯学習推進事業	生涯学習推進体制の充実	生涯学習推進本部の活動充実 （本部会、幹事会、スタッフ会議）	
		生涯学習市民推進員の活動充実	スキルアップ講座等
		全国生涯学習市町村協議会	市長が理事
	生涯学習推進計画の進行管理	「第2次春日部市生涯学習推進計画」を基に、具体的な実施計画書を作成する	
	生涯学習都市宣言	生涯学習都市宣言の啓発	
	生涯学習研究事業	生涯学習市民推進員が企画し、公民館・地域との連携を図りながら事業を実施する	
	生涯学習交流紙「遊学」の発行	生涯学習市民推進員が企画、取材、編集を行い、生涯学習交流紙を発行する	
	生涯学習人材情報登録制度	市民参加による生涯学習を進めるため、人材情報を収集し、希望に応じて提供するとともに、登録者が企画・実施する学習会「生涯学習市民塾」の支援を行う	登録者一覧を作成 ホームページ掲載 関係機関に配架・活用
	かすかべし出前講座	市職員による「行政編」と生涯学習人材情報登録者が講師となる「市民講師編」により、市民に多様な学習メニューを提供する	出前講座メニュー一覧を作成 ホームページ掲載 関係機関に配架・活用
	遊学1日体験教室	人材情報登録者による講座を実施	
	かすかべ遊学フェスティバル	行政機関、市民団体等が10月～12月に開催する生涯学習事業で、フェスティバルの趣旨に賛同する事業を募集し、参加事業として取りまとめる	実行委員会を設置
	生涯学習パスポート	市民が学習目標や計画を立てて学び、その学習成果等を記録するための生涯学習パスポート「はるがく帳」の普及と活用を図る	1冊修了する毎に単位認定証を、3冊修了する毎に奨励賞を授与
	ミニギャラリーの設置	市民が作成した絵画、書、工芸その他の作品の展示等の場を提供する	学習情報サロンに設置

（4）視聴覚センター

区分	事業名	事業内容	備考
研修・学習センターとしての機能	16㎜映写機技術研修	16㎜映写機簡易技術講習会	
	映像セミナー ＝市民対象＝	ビデオ撮影入門講座	
		ビデオ編集入門講座	
		デジカメ・スマホ写真加工入門講座	
		秋のビデオセミナー　ビデオ作品づくり体験講座	2日連続の講座
	教職員対象研修	校内ICT管理研修会	指導課と共催
		クロームブック入門研修会	
		クロームブック活用研修会	
		情報モラル教育研修会	
		プログラミング教育入門研修会	
		ホームページ（作成・作成支援）研修会	各校での研修を含む
		校内研修等への支援	各校での研修を含む
	パソコンセミナー ＝市民対象＝	基本操作・パソコン入門講座	
		はがき（文面・宛名）作成入門講座	
		インターネット入門講座	
		インターネット活用講座	
		文書作成入門講座	
		表計算入門講座	
		プレゼンテーション作成入門講座	
		プログラミング入門講座	
		聴覚障がい者対象PC入門講座	手話通訳あり
		視覚障がい者対象PC入門講座	福祉的援助者あり
		親子で体験プログラミング入門講座	
		タブレットPC入門講座	
		オンラインミーティング体験講座（主催者）	
		オンラインミーティング体験講座（参加者）	
		スマホ入門講座	
	TV番組制作体験講座	こどもTV番組制作体験講座	小学校3年～中学校3年対象
		小学生TV番組制作体験講座	小学校の5年生対象
	親子で楽しむ映画会	教科書等に掲載されている物語の16㎜映画鑑賞 親子で楽しむ映画会	親子での参加可
	夏休み自由研究応援プログラム	走らせよう！プログラミングミニカー講座	
	ビデオ・パソコン体験	自主研修	インターネット利用可
	無線LAN環境の提供	自主研修	学習情報サロン・ 各施設で利用可

教材センターとしての機能	視聴覚ライブラリーの運営	視聴覚機材や教材の整備・貸出	
		利用支援	
	視聴覚センター専門委員会	教材選定部会／貸出教材の選定	
		教材作成部会／自作教材の制作	
		学習情報部会／コンピュータの教育利用研究	
	教材資料作成支援	ビデオ制作支援	
		資料作成支援	
		データ変換作業支援	
		音声・映像コンテンツ作成支援	
	映像制作	ビデオ特派員と共同制作	
		素材ビデオライブラリーの整備	
		春日部市ビデオフェスティバルの開催 第１部　作品発表会の部 第２部　映像コンテストの部	
		二十歳を祝う会等行事記録ビデオ制作支援	
	教育資料室の整備	教育資料の整備	
情報・研究センターとしての機能	学習情報サロン	閲覧・提供用資料の整備	
		生涯学習情報の提供	
	授業ライブラリーの運営	小学校、中学校及び義務教育学校の教員向け授業映像ライブラリーの運用	
	ICT 活用出前講座	情報通信技術の進展により生じる諸問題について講師（小学校、中学校及び義務教育学校教員）を派遣し、現場の指導力を高める	
	視聴覚センターホームページ運営	ホームページ情報の更新	
	学校ホームページ管理運営支援・ICT 支援事業	小学校、中学校及び義務教育学校の情報発信の活性化・省力化を図る	
	マイギャラリー作品展示	小学校、中学校及び義務教育学校の児童・生徒の作品展示等	
	関係機関との連携・研究	全国公立視聴覚センター連絡協議会等	
	管理システムの機能の充実	ライブラリー貸出管理システムの運用・適正管理	
		施設利用案内表示システムの運用・適正管理	
		公共施設予約システムの運用・適正管理	

視聴覚センター施設の概要

階	施 設 名	主 な 設 備	定 員	面 積
1	学習情報サロン	ミーティングコーナー、パンフレットコーナー、無線LAN、ミニギャラリー		175 ㎡
2	視聴覚ホール	ステージ(65 ㎡)、舞台照明、音響設備、電動スクリーン(3m×6m)、展示パネル、16 ㎜映写機、無線 LAN	机使用時120 名 イスのみ200 名	275 ㎡
	視聴覚ホール控室 (3 階)	応接セット、トイレ付 ※ホール関係者控室	8 名	24 ㎡
	視聴覚研修室	VTR、DVD プレーヤー、16 ㎜映写機、スクリーン 2、電動暗幕、無線 LAN ※視聴覚機器を使用する研修等	50 名	104 ㎡
	会議室	ホワイトボード、無線 LAN	28 名	95 ㎡
	マイギャラリー	※児童・生徒の作品展等		123 ㎡
3	事務室(受付カウンター) ＊視聴覚ライブラリーを含む	※施設・ライブラリーの予約・貸出、利用相談、機器類の簡易講習、ビデオ試写ブース3、パソコン体験ブース3、タブレット体験ブース2		108 ㎡
	メディア研修室	研修用パソコン(20) 、無線 LAN ※市民パソコンセミナー、教職員・市職員研修等	40 名	122 ㎡
	教材作成室１	音声編集システム		71 ㎡
	スタジオ	ビデオカメラ、スタジオ照明設備、アナウンス卓、撮影台、プロンプター等 ※ビデオ撮影、写真撮影等		68 ㎡
	スタジオ調整室	ビデオ編集システム		33 ㎡
	教育資料室	教育図書・資料等		40 ㎡
4	研修室１	レクチャー卓、ＶＴＲ、モニターTV,スクリーン、DVD プレーヤー、無線 LAN	45 名	77 ㎡
	研修室２	教材提示卓(VTR・DVD プレーヤー)、モニターTV(2)、16 ㎜映写機、無線 LAN	110 名 (固定席 80)	138 ㎡
	研修室３	レクチャー卓、VTR、モニターTV,スクリーン、DVD プレーヤー、無線 LAN	45 名	78 ㎡

※3 階事務室では、生涯学習推進担当の事務もあわせて行っています。
(かすかべし出前講座、春日部市生涯学習人材情報登録などの受付・紹介等)

◆ 視聴覚ライブラリーの主な貸出機器・教材

貸出機器	プロジェクター、ビデオカメラ、16 ㎜映写機、スクリーン、録音機、拡声器など
貸出教材	ビデオテープ (VHS)　2,109 本、16 ㎜映画フィルム　376 本、DVD　182 枚

文化財課

1　課の目標

「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」の実現に向けて、市民が本市の歴史や文化遺産に愛着や誇りを持ち、「文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる」ため、地域社会総がかりで本市固有の文化遺産を守り継承し、その価値を共有して地域の魅力を向上させるとともに、市民自らが歴史や文化遺産について学ぶための環境の整備を進める。

2　主な施策

（1）春日部市文化財保存活用地域計画の推進

市内に所在する文化遺産を総合的に保存・活用するため、「春日部市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化遺産を適切に管理、継承するための環境の整備、文化遺産を支える人材の育成等の体制強化を推進する。

（2）文化遺産の保存と活用の推進

地中に眠る埋蔵文化財をはじめ、市内に所在する貴重な文化遺産を守り、市民共有の財産として継承するため、文化遺産を調査し、重要なものについては文化財に指定して保護措置を図る。また、市民が文化遺産を自らの宝や資源として認識し、共有するため、文化遺産の価値づけや情報発信を推進する。

（3）文化遺産の継承活動への支援

所有者や市民などを対象に文化遺産の防災、防犯に関する普及活動を行い、広く防災、防犯意識を醸成するとともに、地域の核となる無形民俗文化財などの文化遺産を地域社会総がかりで継承する活動を支援する。

（4）史跡神明貝塚の保存と活用の推進

日本の歴史を語る上で欠かすことのできない神明貝塚を、国民共有の財産として確実に保存し、未来の世代へ恒久的に伝えるため、「史跡神明貝塚保存活用計画」に基づき、公有地化を行う。また、発掘した資料の調査、研究をとおして、神明貝塚の学術的価値を高めるとともに、大凧文化交流センターでの展示、周辺の地域資源や学校教育、大学等研究機関との連携、ICT 等による効果的な活用事業を推進する。

（5）市史編さんと地域資料の活用の推進

市の発展とともに市の歴史が続くという基本理念のもと、継続性のある市史の編さんと刊行を行い、市の歴史や文化について、市民に広く伝えるための情報発信に取り組む。また、地域資料を調査、収集、整理、保存し、生涯学習やまちづくりなどへ寄与するための活用を進める。

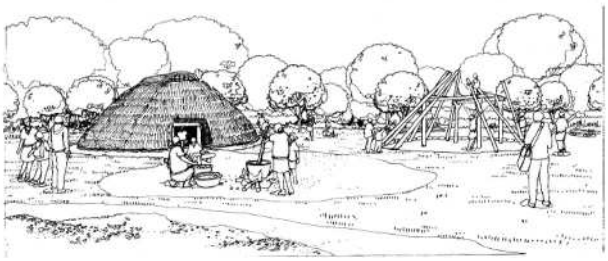
3　主な事業の概要

区分	事　業　名	事　業　内　容	備　考
文化財保護事業	文化財保存活用地域計画協議会	「春日部市文化財保存活用地域計画」を推進するために必要な事項について協議する。	
	「春日部市文化財保存活用地域計画」の推進	市内の文化遺産を総合的に保存・活用するため、「春日部市文化財保存活用地域計画」に基づき、講座やワークショップ等の開催をとおして、地域社会総がかりで文化遺産を適切に管理、継承するため、文化遺産を支える人材の育成等の体制を構築する。	

文化財保護事業	文化財保護審議会	文化財の指定及び解除、埋蔵文化財の発掘、市指定文化財に対する助成、郷土資料館の運営等、文化財の保存と活用に関する重要事項について調査審議、建議する。	
	文化遺産の調査、文化財の指定	市内に所在する文化遺産の把握、詳細調査、価値づけを行う。重要なものについては、文化財に指定して保護措置を図る。	
	埋蔵文化財の調査	市内の埋蔵文化財包蔵地について、開発行為に先立つ所在確認調査、専用住宅建築の際の発掘調査、整理、報告書の刊行を行う。	
	文化遺産の保存管理	次世代に確実に伝えるため、埋蔵文化財等の文化遺産の適切な収蔵、保存、管理を進める。	
	文化遺産の活用	市民等を対象に縄文時代の生活を体験する土器作り教室、文化遺産に関する出前講座などの情報発信を実施する。	
	文化遺産の防災、防犯	1月26日の「文化財防火デー」に伴い、市内の文化財を対象に防災訓練を行い、文化遺産の防災、防犯意識の啓発、高揚を図る。	
	民俗芸能の周知、後継者の養成	県・市指定無形民俗文化財の周知、及び後継者養成を促進するため、民俗芸能公開事業や公開日の情報発信を実施する。	
	文化財保存事業費補助金	地域の核となる県・市指定文化財（建造物・無形民俗文化財・天然記念物）の保存事業に対し、補助金を交付して、地域社会総がかりで文化遺産を継承する活動を支援する。	
史跡神明貝塚保存活用事業	史跡の保存管理	神明貝塚を確実に保存管理するため、史跡指定範囲の公有地化を行う。また、追加指定予定範囲の地権者と史跡指定の同意形成を進める。	
	学術的価値の向上	神明貝塚の学術的価値を高めるため、発掘された資料の整理調査、大学研究機関等と連携した自然科学分析を進め、詳細報告書の刊行を行う。	
	史跡の活用	神明貝塚の魅力を市内外へ発信するため、大凧文化交流センター等での展示、出張授業、ボランティア講座、市民とのワークショップ等の活用事業を実施する。	
埋蔵文化財発掘調査受託事業	公共事業及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の発掘調査	埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に際し、事業者（公共機関、民間開発者）より受託して発掘調査、整理調査、報告書の刊行を行う。	
市史編さん事業	編さん委員会	市史編さん事業に関する基本方針及び基本計画について審議する。	
	編集委員	『春日部市史石造物編』の刊行に向け、調査の体制や方針を定める。	
	地域資料の収集・整理・保存	歴史資料として重要な公文書及び行政刊行物をはじめとする地域資料を調査、収集するとともに、大凧文化交流センターでの整理、保存、管理を進める。	
	市史の情報発信	市史・文化財関係刊行物、及び広報かすかべ等の各種媒体を通じて、市の歴史、文化の情報発信を進める。	

4　指定等文化財件数

種別	国指定	国登録	県指定	市指定	国選択
有形文化財	―	2	8	36	―
無形文化財	1	―	―	―	―
民俗文化財	―	―	2	10	1
記念物	2	―	5	3	―
計	3	2	15	49	1
埋蔵文化財包蔵地（遺跡）				105 か所	



史跡神明貝塚活用イメージ

「史跡神明貝塚保存活用計画」より

郷土資料館

1　郷土資料館の目標

市の歴史の変遷や生活文化に関するあらゆる資料（歴史、民俗、考古、美術、建築、芸能等）を収集・保存・調査・研究し、展示や体験学習・講座の開催等による教育普及を行い、市民の郷土学習に貢献できるような開かれた資料館とする。あわせて、学校教育との連携を密にし、児童生徒の郷土学習に役立つ教材の提供等に努める。

① 大宮台地と下総台地、中川低地を基盤として育まれた地域の風土や歴史を学ぶことのできる郷土資料館とする
② 春日部市の歴史の変遷や生活文化に関するあらゆる資料（歴史、民俗、考古、美術、建築、芸能等）を収集・保存し、調査・研究し、展示や体験学習等による教育普及を図る
③ 地域社会における生涯学習の場とするため、全市民が参加できるような、開かれた資料館とする
④ 学校教育との関わりを重視し、児童生徒の郷土の学習に貢献する
⑤ 近隣地域の関連施設とのネットワーク化を図り、広く郷土の文化遺産に関する情報センターとしての役割を果たす

2　主な施策

(1)「収集・保存」事業

① 計画的な資料収集
② 市ゆかりの人物関係資料の調査・収集
③ 収集資料の整理・保存と管理の徹底

(2)「調査・研究」事業

① 寄贈資料等の調査・研究
② 展示資料に関する調査・研究
③ 博物館活動の研究

(3)「教育・普及」事業

① 常設展示の充実と継続的な改修・改訂
② 展示替えの実施
③ 小学校地域学習展の開催と児童利用の促進
④ 大凧文化交流センターにおける郷土の文化遺産の情報発信
⑤ 歴史・文化関連講座や体験講座等の開催
⑥ 小・中・義務教育学校の社会科及び総合的な学習の時間に対応した教材提供と「でばりぃ資料館」（出張授業）の実施
⑦ 他の博物館や生涯学習施設等との連携
⑧ ICT を活用した収集資料の公開・利用の促進
⑨ 小学校郷土資料室の整備
⑩ 企業や地域の団体との連携・協力
⑪ 埼玉県鉄道高架建設事務所連携展示「駅と街がつづる“かすかべ”の歴史」の実施

3　主な事業の概要

区分	事　業　名	事　業　内　容	備　考
郷土資料館事業	展示	企画展示・春季展示(第69回)・夏季展示（第70回）・小学校地域学習展（第41回）を、企画展示室にて開催。 常設展示の更新に向けて、構成・展示資料を再検討。	観覧自由
	夏季展示記念講演会	夏季展示に合わせ、外部講師を招いた記念講演会を開催。	
	展示解説講座・ミュージアムトーク	企画展示の内容を学芸員が解説。	
	体験講座	ミニぞうり作り・しめ縄・桐の貯金箱・凧作りなど、小学生親子と一般市民を対象に開催。	
	古文書講座・考古学講座	市域の古文書を解読する講座を入門編(4回)、初級編(6回)、中級編（6回)。考古学に関する講座(6回)。	
	歴史・文化講演会	江戸や関東地方・春日部の歴史・文化に関する講演会を開催。	
	体験ワークショップ	展示室内での、紙芝居の上演と簡易な昔のおもちゃ作り。	1日2回実施
	収集・保存	収蔵資料の整理・データ化と適切な管理。収蔵庫等の収蔵環境の整備・維持。	
	調査・研究	常設展示資料及び展示替、収集資料に関わる資料調査。博物館運営・情報発信に関わる調査・研究。	
	博学連携の推進	小学校及び義務教育学校による団体見学の促進。小学校郷土資料室の整備。出張授業、教材用資料貸し出しの促進。	
	市民参加・民間との連携	古文書解読ボランティアをはじめとするボランティア活動の充実。民間団体、企業等との連携を推進。	
	大凧文化交流センターの利活用	関連部署と連携して、主に庄和地区に伝わった郷土資料の展示と収蔵を計画。	

4　施設・設備一覧

施設・設備		活　用　内　容
1階 (約337㎡)	教育センター入口掲示板	ポスターなどの掲示
	常設展示室（約208㎡）	平成2年7月開館以来の展示。縄文時代中期（約4800年前）の住居模型、江戸時代粕壁宿推定模型（1/200）等
	企画展示室（約70㎡）	展示替（年3回)、小学校地域学習展（年1回）を開催
	展示準備室（約37㎡）	展示準備作業に使用
	学芸研究室（約16㎡）	受贈図書、備品図書、保存文書を保管、フィルム保管庫2台（備品）
	燻蒸室（約20㎡）	資料の殺虫・殺卵・殺菌用燻蒸器（SK式減圧滅菌装置）1台（備品）を設置
	事務室（約45㎡）	
地下 (約447㎡)	整理作業室（約67㎡）	主に文化財担当が、発掘出土品の整理や市史編さんのために使用、マイクロフィルムリーダープリンター1台(備品）設置
	資料収蔵庫（約150㎡）	民具・古文書等寄贈・寄託品を収蔵
	特別収蔵庫（約47㎡）	特に貴重な資料、寄託資料、劣化しやすい資料を収蔵
他公共施設	文化財第2収蔵庫他	旧春日部市、旧庄和町収集の民具を保管

総面積　約829㎡　　※教育センター平成2年4月開所、郷土資料館平成2年7月開館

スポーツ推進課

1　課の目標

スポーツ庁が策定した第３期「スポーツ基本計画」、埼玉県が策定した「埼玉県スポーツ推進計画」及び令和６年度「春日部市スポーツ推進計画」に基づき、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう生涯スポーツ社会の実現に努める。

そのために、「する」「みる」「ささえる」スポーツを推進し、多世代に対応したスポーツ教室、各種イベントや大会の充実、さらにトップレベルのスポーツ観戦の機会提供を図るとともにスポーツを通じた地域の活性化などに努める。

なお、参加者の安心安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症等の対策にも配慮しながら各施策を実施していくものとする。

また、総合型地域スポーツクラブへの支援を行うとともに、市民の多様なニーズに対応するため、スポーツ指導者の資質の向上を図り、その活用に努める。

なお、体育施設については、利用者が安全かつ有効な利用ができるよう既存体育施設の維持管理に努めるとともにウイング・ハット春日部周辺の整備を計画的に進める。

2　主な施策

（1）「する」スポーツの推進

① スポーツ教室の充実と創意工夫
② 各種イベントの充実と推進
③ 地域スポーツの充実と普及
④ パラスポーツの普及と啓発
⑤ 総合型地域スポーツクラブとの連携

（2）「みる」スポーツの推進

① トップレベルの大会誘致
② スポーツ大会・イベント時における地域活性化の推進
③ スポーツイベントの情報発信
④ 本市出身・ゆかりの選手の紹介
⑤ トップアスリートとの交流

（3）「ささえる」スポーツの推進

① スポーツ・レクリエーション団体への支援と連携
② 学校活動等への支援
③ 指導者の育成と資質の向上
④ 各種イベントへの協力依頼
⑤ ボランティア活動の意識の高揚

（4）既存体育施設の維持管理と利用促進

① 補修・維持修繕
② 利用状況の把握
③ 利用者との連携
④ 指定管理者への継続監視と指導
⑤ 学校開放の促進

（５）体育施設整備の推進

① 春日部市スポーツ施設マネジメント計画への取組
② 春日部市総合体育施設整備基本計画への取組
③ 総合体育施設事業用地の取得
④ 大沼陸上競技場のリニューアル

３ 主な事業の概要

（１）「する」スポーツの推進

① スポーツ教室の充実と創意工夫

教室名	回数	定員	対象	会場
健康エアロビクス＆いろいろエクササイズ教室	5回	40人	18歳以上の市内在住・在勤・在学者	総合体育館
親子スポーツ教室	5回	25組	市内在住の3歳以上の未就学児とその保護者	市民体育館
楽しく軽スポーツ体験教室	5回	40人	小学生以上の市内在住・在勤・在学者	総合体育館
健康いっぱい球技教室	5回	40人	18歳以上の市内在住・在勤・在学者	庄和体育館
楽しくドッジボール教室	5回	25組	市内在住・在学の小学生とその保護者	市民体育館

※ さらに出前講座の活用や関係機関との連携を図り、各種スポーツ教室を開催する。

② 各種イベントの充実と推進

行事名	期日	対象	会場
第36回春日部大凧マラソン大会	5月4日	申込者	庄和総合公園及び周辺コース
健康スポ・レクフェスタ2024 ～軽スポーツ・ニュースポーツ体験交流会～	8月	一般	総合体育館
春日部市民体育祭地区大会	10月	地区住民	各地区小・中学校校庭等
春日部市民体育祭種目別大会	5月～3月	会員・一般	市内各施設

③ 地域スポーツの充実と普及
ア スポーツ推進委員協議会との連携
イ 世代を超えて参加し、楽しむことができるニュースポーツの発掘と普及
ウ 先進自治体への視察や各種関係団体との情報交換
エ スポーツ教室等での積極的な普及（フラバレーボール等）

行事名	期日	定員	対象	会場
健康づくりのつどい	5月～10月	40人	小学4年生以上の市内在住・在勤・在学者	小学校体育館
地域巡回スポーツ教室	10月～12月	地区により異なる		小学校体育館・公民館
軽スポーツ等の出前講座	6月～12月	自由	一般	

④ パラスポーツの普及と啓発
ア パラスポーツ大会の招聘
イ パラスポーツの普及
ウ 埼玉県障害者スポーツ協会など関係団体との連携

⑤ 総合型地域スポーツクラブとの連携
ア 埼玉県及びクラブとの連携
イ 新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援

（2）「みる」スポーツの推進

① トップレベルの大会誘致

大会名	期日	会場
W リーグ（バスケットボール女子日本リーグ）	未定	総合体育館
B リーグ（男子プロバスケットボールリーグ）	未定	総合体育館
卓球 T リーグ	未定	総合体育館

② スポーツ大会・イベント時における地域活性化の推進
ア 地場産業（食料品等）の紹介
イ かすかべフードセレクションとの連携

③ スポーツイベントの情報発信
ア スポーツ大会やイベントの情報発信
イ 人気スポーツの情報発信

④ 本市出身・ゆかりの選手の紹介
全国、世界で活躍している本市出身、あるいは本市にゆかりのある選手たちの活動などを、積極的に発信し、「スポーツのまち春日部」の魅力を広めていく。

⑤ トップアスリートとの交流
日本を代表する選手や元プロ選手等と交流できるイベントの企画

（3）「ささえる」スポーツの推進

①スポーツ・レクリエーション団体への支援と連携
ア 補助金の交付
イ 各団体の大会開催の支援
ウ 運営の補助

団体名	団体内容
春日部市スポーツ協会	20 団体　会員 約 4,900 人
春日部市レクリエーション協会	19 団体　会員 約 1,700 人
春日部市スポーツ少年団	9 部会 52 団体　会員 約 1,900 人

エ 市主催イベントの協力依頼

② 学校活動等への支援
ア 放課後子ども教室への指導者派遣
イ 出前講座の活用
ウ 軽スポーツ等を取り入れた出張授業の実施

③ 指導者の育成と資質の向上

ア 研修会・講習会

研修会等名	期日	主催団体	会場
フラバレーボール審判講習会	5月～10月	春日部市スポーツ推進委員協議会	総合体育館
社会体育合同研修会	9月	埼葛地区スポーツ推進委員連絡協議会	三郷市
リーダー研修会	11月	春日部市レクリエーション協会	未定
スキルアップ研修会	未定	春日部市スポーツ推進委員協議会	未定
スタートコーチ養成講習会	12月	春日部市スポーツ少年団	総合体育館
合同研修会	2月	春日部市スポーツ協会 春日部市レクリエーション協会	未定

イ 指導者の活用

スポーツ教室、共催事業、委託事業への講師の派遣依頼

行事名	指導者
スポーツ教室	春日部市スポーツ推進委員
健康づくりのつどい	春日部市スポーツ推進委員
健康スポ・レクフェスタ2024 ～軽スポーツ・ニュースポーツ体験交流会～	春日部市スポーツ推進委員

ウ 研修会の参加奨励

研修会等	期日	対象
関東スポーツ推進委員研究大会	6月	春日部市スポーツ推進委員
スポーツ推進委員セミナー	7月	春日部市スポーツ推進委員
埼玉県初級障がい者スポーツ指導者養成講習会	未定	春日部市スポーツ推進委員
埼玉県スポーツ推進委員協議会第1回研修会	9月	春日部市スポーツ推進委員
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月	春日部市スポーツ推進委員
埼玉県スポーツ推進委員協議会第2回研修会	2月	春日部市スポーツ推進委員
埼葛地区社会体育研究大会	3月	春日部市スポーツ推進委員

④ 各種イベントへの協力依頼

ア 各スポーツ・レクリエーション関係団体のイベントへの協力依頼

イ 市内中学生（義務教育学校後期課程の生徒を含む）、高校生、大学生のイベントへの協力依頼

⑤ ボランティア活動の意識の高揚

ア 春日部大凧マラソン大会へのボランティア協力

イ 各スポーツ・レクリエーション関係のイベントや大会へのボランティア協力

（4）既存体育施設の維持管理と利用促進

① 補修・維持修繕

予防保全型の維持管理を図るとともに、老朽化に伴う修繕や必要な工事を実施

② 利用状況の把握

利用者ニーズに即した整備を図り、利用者満足度アップ

③ 利用者との連携

円滑で適切な手続きによる、利用者数の増加

④ 指定管理者への継続監視と指導

指定管理者の主体的な業務の改善に向けた指導

施設		施設内容
総合体育館（ウイング・ハット春日部）	メインアリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球
	サブアリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球
市民体育館		バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球
庄和体育館		バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球
市民武道館		第1道場（柔道場）、第2道場（剣道場）、弓道場
大沼野球場		軟式野球場兼ソフトボール場1面
大沼陸上競技場		400mトラック、サッカー場兼ラグビー場
大沼テニスコート		硬式・軟式兼用全天候型コート（人工芝）5面、軟式用クレーコート2面
立沼テニス場		全天候型舗装硬式コート2面
豊野テニスコート		硬式・軟式用クレーコート各1面
庄和テニスコート		硬式・軟式兼用全天候型コート（人工芝）4面
谷原中西側テニスコート		硬式・軟式兼用クレーコート8面
旧谷原中学校多目的グラウンド		グラウンド大：サッカー、ソフトボール、軟式少年野球 グラウンド小：グラウンドゴルフ
谷原グラウンド		軟式少年野球場兼ソフトボール場1面
南栄町グラウンド		軟式野球場兼ソフトボール場1面
内牧グラウンド		軟式少年野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ
中野グラウンド		軟式少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ
谷原中西側グラウンド		軟式少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ
牛島多目的グラウンド		軟式少年野球、少年ソフトボール、少年サッカー、グラウンドゴルフ
禿地グラウンド		グラウンドゴルフ
金崎グラウンド		少年サッカー・フットサル2面、グラウンドゴルフ
首都圏外郭放水路多目的広場		サッカー、グラウンドゴルフ
牛島野球場		硬式兼軟式野球場1面
庄和球場		硬式兼軟式野球場1面

⑤ 学校開放の促進

円滑な利用者調整会議の開催とスポーツ団体の利用の促進

施設	期間	開放校
校庭	4月～3月	小学校22校
体育館	4月～3月	小学校22校
夜間照明	4月～3月	武里中・東中・緑中・大増中

（５）体育施設整備の推進

① 春日部市スポーツ施設マネジメント計画への取組
春日部市スポーツ施設マネジメント計画に基づき市内既存のスポーツ施設の再整備を見定めて取り組む。

② 春日部市総合体育施設整備基本計画への取組
春日部市総合体育施設整備基本計画に基づき、総合体育施設の事業の実現に向け取り組む。

③ 総合体育施設事業用地の取得
春日部市総合体育施設整備基本計画の具現化に向け、整備に必要な用地取得を行う。

④ 大沼陸上競技場のリニューアル
日常的にスポーツ・レクリエーション活動など、多目的に利活用できる場としてリニューアル整備に取り組む。

４　第２次総合振興計画後期基本計画の成果指標における目標

令和６年度は、第２次春日部市総合振興計画後期基本計画に掲げた施策の目標達成に向け、取り組んでいく。
なお、計画の目標及び経過は、次のとおりである。

施策の成果指標	令和４年度 実績	令和５年度 実績	令和６年度 見込み	後期基本計画 目標値
スポーツ教室やイベントの満足度	79.8%	90.7%	82.8%	88.8%
市の有料体育施設の満足度	93.3%	94.9%	93.4%以上	93.4%以上

中央公民館

１　公民館の目標

公民館は、市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進、情操を養うことを図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

公民館の持つ基本的役割である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」を果たすために、春日部市内各地域の歴史や特徴を踏まえつつ、住民の連携、学習活動の推進を図り、地域文化の創造と、人々のふれあいによる地域社会の醸成、自治意識の向上を目指す。そのため、学習内容の充実を図り、市民の多様な学習要求に応えていくとともに、市民との連携を図る事業を実施する。

また、中央公民館と地区公民館との連携により、効率的かつ効果的な事業を遂行していく。

《中央公民館の役割》

地区公民館の統括と連絡調整を行い、その事業は市全域を対象とした広域的なものとし、細分化された学習要求にも応えるものとする。また、試験的な事業や運営についての研究を行う。さらに地区公民館と協力しながら公民館全体の事業効果の向上を図るものとする。

《地区公民館の役割》

それぞれの地域を主な対象とし、地域住民の身近な学習要求に応え、地域の特色を生かし、地域に根ざした事業を展開することによって、地域文化の向上と地域住民の交流及び学習意欲の醸成を図る。また、中央公民館と各地区公民館との連携・協力を図り、活力ある地域づくりを目指すこととする。

２　主 な 施 策

（１）中央公民館体制の整備

市民の多様化・高度化する学習要求に応えるため、中央公民館を中心に、公民館同士が協力・連携し、さまざまな課題に対して迅速に対応できる体制の整備を図る。

市民の主体的な学習活動を支援するため、学習情報を受信・発信する拠点としての機能を充実する。

各地域においては、それぞれの地域文化を尊重し、地域の状況に即した公民館の運営を図る。

（２）市民の学習活動の支援・促進

①市民の自主的な学習活動を支援・促進するため、フリースペースの活用、学習情報の収集・提供、学習相談などを強化・推進する。その他、市民センターの開設により、新たに小・中学生および高校生などを対象とした学習スペースを設置し、支援を図る。

②クラブ・サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る。

③現代的課題に即した学習活動を支援・促進するため、関係各機関との情報交換や連携体制の充実を図る。

④インターネットを活用した情報化の充実を図り、公民館からの情報発信を魅力あるものとする。

⑤地域の特色を生かしながら、デジタルデバイドの解消その他、実際生活に即した教育などの各種事業の展開を図るとともに、関係団体、クラブ・サークル、自治会などの交流・連携を支援し、地域づくり、地域コミュニティの活性化につながる学習活動・コミュニティ活動をサポートする。

（3）学習機会の充実

①市民の学習要求、また生涯各期の学習課題に応じた多種多様な学級・講座・イベントなどを実施し、学習機会の充実を図る。

②市民の学習要求を反映した事業を実施するため、事業の企画段階からの市民参加を促進する。また、指導者やボランティアを発掘・育成し、さまざまな事業に地域の人材を活用した学習機会を創造する。

③家庭教育に関する学習や交流の機会を拡充するとともに、各種団体との協力のもと、家庭・地域の教育力の向上、世代間の交流が図れる事業を展開する。

④学習活動で得た知識、成果を地域で生かすとともに、適切に評価される仕組みづくりを調査研究する。

⑤災害時には、地域で助け合う共助の活動が非常に重要であることから、地域の防災力を高める防災講座や、防災マップづくりといった様々な防災啓発活動を行う。

（4）公民館施設の整備充実

公民館は災害時における防災拠点であることから、公民館事業の円滑な遂行並びに市民が安全に学習・交流活動を行えるよう、施設・設備の計画的な整備及び維持管理に努める。

（5）地区センターとの連携

市内8地区に設置された地区センターと連携を図ることにより、より一層の公民館機能の充実を図る。

中央公民館事業計画

所在地　　春日部市粕壁6918番地１
TEL 048-752-3080・FAX 048-754-0158

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

1　各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
2　学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の整備充実、有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
3　市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
4　地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇主な事業計画（学級・講座・大会等）

No.	事　業　名	内　　容	対　　象	会　　場
1	講堂機器操作研修	講堂利用者に対して機器の操作を説明	公民館利用者	中央公民館
2	サークル体験月間	サークル活動の促進と利用の活発化を目指す	一般	中央公民館
3	春日部市民県展入選作品展	優れた美術作品を紹介	一般	中央公民館
4	音楽鑑賞会	市内にゆかりのある演奏家の優れた演奏を鑑賞	一般	中央公民館
5	企画展（3回）	科学展・障がい者作品展 災害写真展　等	一般	中央公民館
6	年少リーダー研修会	体験活動等を通して社会性、生きる力を育み、青少年リーダー育成を図る	小学校5・6年生 過去の事業参加者	中央公民館・市内公民館・那須甲子青少年自然の家
7	音響操作セミナー	音響操作技術の講習	一般	中央公民館
8	かすかべライブフェスタ2024	市内公民館等で活動するバンドの交流	一般	中央公民館
9	キッズフェスティバル	レクリエーション・工作等	こども	中央公民館
10	教養講座	時節に合わせた学習	一般	中央公民館
11	公民館利用者協議会(2回)	利用者同士の交流	中央公民館利用者	中央公民館

◇主な事業計画（会議・研修・調査等）

No.	事　業　名	内　　容	対　　象
1	公民館学習情報ネットワーク	ホームページ、公民館だより、その他公民館運営に必要な情報のネットワーク運営	一般
2	公民館関係団体への援助	団体活動に関する相談・支援事業	団体
3	公民館関係資料調査及び収集	学習情報提供に資する	—
4	各種公民館関係資料の作成・発行	春日部市の公民館、利用団体一覧、公民館ガイドなど	—
5	公民館長会議	月に1回開催	公民館長
6	公民館職員会議	月に1回開催、公民館業務についての研修会を兼ねる	関係職員
7	公民館新任職員研修会	新任職員に公民館の基礎を学ぶ機会の提供	新任職員
8	担当者専門研修会派遣	職員の資質向上のため、専門研修会に派遣	関係職員

【前年度事業の様子（令和5年度）】

共に生きよう！フェスティバル・障がい者作品展

キッズフェスティバル

年少リーダー研修会

【所轄地区】 粕壁地区

粕壁地区公民館・粕壁南公民館

【粕壁地区の概要】

春日部市の中心部に位置し、地区内には東武スカイツリーラインと東武アーバンパークラインが通っている。

令和 6 年 5 月 1 日現在、23,267 世帯、人口 45,559 人、面積は 492.4ha である。

粕壁地区は、日光街道沿いにあり江戸時代には、「粕壁宿」として栄えた。

地区内には市役所、市立医療センター、市民文化会館などの公共施設がある。学校は粕壁小学校、八木崎小学校、緑小学校、春日部中学校、緑中学校、大沼中学校、春日部高校、春日部女子高校等がある。

【粕壁地区の公民館】

粕壁地区公民館　所在地　春日部市粕壁 6918 番地 1　　TEL 048-752-3080・FAX 048-754-0158

粕壁南公民館　　所在地　春日部市南一丁目 12 番 23 号　TEL・FAX 048-738-0088

【運営の基本方針】

生涯学習の視点から、地域における学習意欲を醸成するため、各世代を対象とした学習機会の提供を行い、豊かな人間性を養い、もってより良い地域づくりを進める。

【重点施策】

1　各層、各期の学習ニーズを取り上げ、それに対応する事業を実施するとともに参加者の自主的な活動を推進する。

2　人々の集うスポーツ大会を実施し、地域の連帯感と親睦を深める。

3　幼児期において、家庭の教育力の活性化を促す事業を推進する。

4　青少年の健全育成のための事業を推進する。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　　象	会　　場
1	「かすかべ茶屋」	講師による講義及び参加者相互の意見交換	一般	中央公民館 粕壁南公民館
2	粕壁地区体育祭	地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典	地区住民	春日部中学校 校庭
3	こども体験教室	体験学習を通して文化・芸術・科学等への関心を深める	小学生	中央公民館 粕壁南公民館
4	幼児家庭教育学級	親子リトミック、親子クッキング他	幼児と保護者	粕壁南公民館
5	粕壁地区文化祭	中央公民館、粕壁南公民館利用者による成果発表会を開催	一般	中央公民館

【その他の事業】

ジュニア囲碁スクール
粕壁地区壮年ソフトボール大会
粕南すくすくひろば
健康をかんがえる
他

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

粕壁地区体育祭

かすかべカフェ(健康体操の基礎)

内牧地区公民館・内牧南公民館

【内牧地区の概要】

春日部市の北部に位置し、西はさいたま市岩槻区、北は白岡市、宮代町と隣接している。

令和 6 年 5 月 1 日現在、6,900 世帯、人口 13,880 人、面積は 529.2ha である。

地区内には内牧フィールドアスレチック、内牧サイクリングロードなど自然豊かな地形を生かした施設があり、また、塚内古墳群など文化財を有するかたわら地区南側には工業団地も有している。

地区内の学校は、内牧小学校をはじめ春日部工業高等学校、共栄大学があり文教的にも豊かな地区と言える。産直の里内牧であることから特産品も多く、中でも梨、お茶、ぶどうなどが有名である。

【内牧地区の公民館】

内牧地区公民館　所在地　春日部市内牧 4398 番地　TEL・FAX 048-752-3255

内牧南公民館　　所在地　春日部市内牧 1498 番地　TEL・FAX 048-761-0065

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。また、地域団体・組織と連携して地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

【重点施策】

1　住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。

2　地域住民の連携と活性を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。

3　自然に恵まれた特色を活かし、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　　象	会　　場
1	スマホ講座	生活に活かすスマホ基本・応用講座	高齢者	内牧南公民館
2	職業体験講座	職業体験	青少年	内牧地区公民館
3	キッズフェスタうちまき	地区の子供への体験活動の提供	青少年	内牧地区公民館
4	内牧地区文化祭	芸術文化の振興	一般	内牧地区公民館

【その他の事業】

うちまき緑のコンサート
子育てサロン
趣味の講座
教養講座　　等

趣味の講座

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

教養講座（内牧歴史探訪）

キッズフェスうちまき

豊春地区公民館・豊春第二公民館

【豊春地区の概要】

春日部市の南西部に位置し、さいたま市岩槻区と隣接している。

令和 6 年 5 月 1 日現在、19,881 世帯、人口 41,515 人、面積は 775.5ha である。

豊春地区は学史上有名な縄文時代の花積貝塚がある。また地域の北部を東西に古隅田川が流れ、業平や梅若など、古代の隅田川にまつわる伝説を伝えている。

学校は、豊春小学校、立野小学校、宮川小学校、豊春中学校、大増中学校、春日部共栄中学校、春日部共栄高等学校、松栄学園高等学校がある。

【豊春地区の公民館】

豊春地区公民館　所在地　春日部市上蛭田 101 番地 2　 TEL・FAX 048-754-0942

豊春第二公民館　所在地　春日部市豊町五丁目 14 番地 1　 TEL・FAX 048-754-2100

【運営の基本方針】

生涯学習の理念に基づき、地域住民の課題や学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域の連帯意識を高め、明るい地域社会づくりを推進する。

【重点施策】

1　地域住民の課題や学習ニーズに応じた講座を開設し、学習機会の充実を図る。

2　家庭における教育力の向上を図るとともに子育て支援を推進する。

3　地域内の団体と連携し、地域住民の交流機会の充実・連帯感の向上を図る。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　象	会　　場
1	えん JOY トレーニング	継続的な介護予防トレーニング	一般	豊春第二公民館
2	とよはる音楽祭	音楽鑑賞会	一般	豊春地区公民館
3	いきいき学級	健康をテーマにした学習会	一般	豊春地区公民館 豊春第二公民館
4	豊春公民館文化祭	公民館活動の成果発表	一般	豊春地区公民館 豊春第二公民館
5	小・中学生期家庭教育学級	家庭教育に関する講演会	一般	豊春地区公民館

【その他の事業】

豊春演芸のつどい
高齢者向けスマホ教室
おもしろ科学教室
小学生料理教室
親子の広場
えほんの広場
PA セミナー
豊春地区体育祭
お楽しみウォーキング　他

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

いきいき学級

夏休み小・中学生体験シリーズ

【所轄地区】 武里地区

武里地区公民館・武里東公民館

【武里地区の概要】

春日部市の南部に位置し、さいたま市岩槻区、越谷市と隣接している。

令和 6 年 5 月 1 日現在、21,762 世帯、人口 44,392 人、面積は 761.7ha である。都心のベッドタウンとして住宅地が広がっている。

地区内には、鎌倉時代に創建された関東三社稲荷の一つ、備後須賀稲荷神社がある。毎年 3 月第 1 日曜日に例大祭が行われる。また、県指定無形民俗文化財「やったり踊り」があり、毎年 7 月 15 日近くの土曜日に大畑香取神社にて盛大に行われる。

地区内の学校は、武里小学校、備後小学校、正善小学校、上沖小学校、武里西小学校、武里中学校、春日部南中学校がある。

【武里地区の公民館】

武里地区公民館 所在地 春日部市備後西一丁目 13 番 2 号　TEL 048-735-3004･FAX 048-737-3033
武里東公民館　所在地 春日部市備後東七丁目 38 番 16 号　TEL・FAX 048-735-2527

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう、まなぶ、むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

【重点施策】

1　地域と連携した防災対策事業を推進する。
2　公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
3　地域をあげたスポーツの祭典を通して、住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
4　小学生までを対象に、ものづくりやあそびを通して情緒と感性を養う場を提供する。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　　象	会　　場
1	防災対策事業	地域防災の意識向上	一般	武里地区公民館
2	武里市民センターまつり	利用団体の成果発表	一般	武里地区公民館
3	武里地区体育祭	地域住民の相互交流	一般	武里小学校
4	ふれあい教室	情緒と感性を養う場の提供	小学生まで	武里地区公民館

【その他の事業】

えん JOY トレーニング
目指せ！星博士
公民館利用者会議
たけさとカフェ
パソコンの操作を学ぼう！
オレンジカフェ
人権教育研修会
公民館だより「武里」発行
他

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

武里地区体育祭

ふれあい教室
（キッズフェスタ）

幸松地区公民館・幸松第二公民館

【幸松地区の概要】

春日部市の中央部に位置し、杉戸町と隣接している。

令和 6 年 5 月 1 日現在、10,319 世帯、人口 21,851 人、面積は 718.3ha である。

地区内には、牛島野球場、春日部第 1 児童センター（エンゼル・ドーム）などの公共施設があるほか、牛島には国の特別天然記念物に指定されている「牛島のフジ」（藤花園）、不動院野には市指定無形民俗文化財「不動院野の神楽」がある。

地区内の学校は、幸松小学校、牛島小学校、小渕小学校、東中学校、春日部東高等学校、春日部特別支援学校がある。

【幸松地区の公民館】

幸松地区公民館　所在地　春日部市牛島 667 番地 1　TEL・FAX 048-752-6065

幸松第二公民館　所在地　春日部市小渕 73 番地 1　TEL・FAX 048-761-5510

【運営の基本方針】

生涯学習拠点施設として、地域住民の身近な学習・交流活動の場として親しみをもって来館できる公民館を目指す。

【重点施策】

1　地域住民の健康増進と住民相互の理解と交流を深め、学習機会の充実と公民館利用の促進を図る。

2　家庭教育の充実と青少年の健全育成を図る。

3　各種関係組織・団体との連携を図りながら、事業展開を図る。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　　象	会　　場
1	こうまつ寺子屋	地域住民の教養を高める	一般	幸松地区公民館・幸松第二公民館
2	家庭教育学級	家庭教育のあり方を学ぶ	一般	幸松地区公民館
3	こうまつ音楽祭	芸術に親しむ機会を提供する	一般	幸松地区公民館 幸松第二公民館
4	幸松地区体育祭	地区住民の体育の祭典	一般	東中学校
5	幸松ふれあい文化祭	学習活動の発表の場	一般	幸松地区公民館

【その他の事業】

子育てサロン
折り紙で作る干支飾り「辰」
幸松第二公民館利用者作品展示
利用団体共催オープン講座
防災のつどい
幸松地区グラウンドゴルフ大会
幸松地区スマイルボウリング大会
公民館まつり　　他

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

幸松地区体育祭

こうまつ音楽祭

【所轄地区】 豊野地区

豊野地区公民館・藤塚公民館

【豊野地区の概要】

春日部市の南東部に位置し、越谷市、松伏町と隣接している。
令和 6 年 5 月 1 日現在、8,688 世帯、人口 18,727 人、面積は 505.8ha である。
地区内には、伝統行事として市の無形文化財である獅子舞が赤沼・銚子口の両地区で受け継がれている。
両地区とも 7 月、10 月に舞われ、銚子口では 1 月にも舞われている。
また、地区内豊野町には豊野工業団地がある。
地区内の学校は、豊野小学校、藤塚小学校、豊野中学校がある。

【豊野地区の公民館】

豊野地区公民館　所在地　春日部市銚子口 999 番地　　TEL・FAX 048-735-0009
藤 塚 公 民 館　所在地　春日部市藤塚 1670 番地 1　　TEL・FAX 048-735-2528

【運営の基本方針】

利用する人それぞれの心が潤い、かつ魅力あふれる事業を展開するとともに、地域文化の向上を図ることができる生涯学習拠点施設としての公民館を目指す。

【重点施策】

1　地域住民の学習ニーズを把握し、各層を対象とした学習機会の充実と学習情報の提供を行う。
2　青少年の健全育成を図るため、学校週 5 日制に対応した各種事業を行うとともに、地域のボランティアや青少年の育成などの人材を活用したさまざまな学習を展開する。
3　地域・学校・家庭との連携、協力関係を深めるとともに、事業の企画段階からの市民参加を促進する。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　象	会　場
1	チャレンジ教室	新しいことに挑戦する機会を作る。	こども～一般	豊野地区公民館
2	子育てふれあいサロン	保護者の交流・情報交換の場を提供する。	乳幼児と保護者	豊野地区公民館 藤塚公民館
3	豊野地区体育祭	健康増進及び親睦を図る。	一般	藤塚小学校
4	豊野地区文化祭	芸能・芸術団体の活動成果を発表する。	一般	豊野地区公民館
5	必ず役立つ入門講座	日々の生活に活用できる学習の機会を作る。	一般	豊野地区公民館

【その他の事業】

公民館利用者のつどい
みんなでピンポン
ふれあい教室
健康を考えるつどい
公民館だより発行　　他

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

子育てふれあいサロン

豊野地区文化祭

【所轄地区】 武里南地区

武里南地区公民館・武里大枝公民館

【武里南地区の概要】

武里南地区は、武里団地のエリアと同一である。春日部市の南部に位置し、越谷市と隣接している。

令和 6 年 5 月 1 日現在、世帯数は 5,301 世帯、人口 7,977 人、面積は 59.6ha である。

武里団地は、現在の独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）により竣工、昭和 41 年から入居が開始され、9 街区、約 6,000 世帯を擁して当時は「東洋一のマンモス団地」と呼ばれていた。

現在は、当時のこどもが大人になって団地を出たり、持ち家志向が高まったりしたことなどにより入居者が減少し、また、高齢化という課題に直面している。そのため、市では、平成 23 年度から官学連携団地活性化推進事業として、世代間交流の取り組みを促進しながら、武里団地の活性化を図っている。

地区内の学校は、武里南小学校がある。

【武里南地区の公民館】

武里南地区公民館　所在地 春日部市大枝 89 番地 武里団地 7 街区 5 棟　TEL・FAX 048-736-8104

武里大枝公民館　　所在地 春日部市大枝 89 番地 武里団地 2 街区 1 棟　TEL・FAX 048-737-8022

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民の学習要求に応える事業及び情報の提供を行う。

【重点事業】

1　きめ細やかな学習の場と情報を提供する。
2　青少年の健全育成の場を設ける。
3　地域住民の健康増進と住民相互の交流を図る。

【事業計画】

No.	事　業　名	内　容	対　象	会　場
1	子育てふれあいサロン	子育て中の保護者に、交流と情報交換の場を提供するとともに、読み聞かせなどを企画し、地域の子育て支援機能の拡充を図る	未就学児と保護者	武里南地区公民館
2	武里団地体育祭	スポーツ・レクリエーションへの関心と理解を深め、健康の増進を図るとともに、良好な地域コミュニティの醸成を図る	一般	武里南小学校
3	青少年健全育成事業	科学教室等の体験を通し、同年代とのさらなる交流を図り、好奇心や感性を養う	小学生	武里大枝公民館
4	音楽鑑賞会	身近な場所で良質な音楽に触れる機会を提供し、教養、文化の向上を図る	一般	武里南地区公民館 武里大枝公民館
5	サークル発表会	公民館利用者の学習成果の発表を通し、地域住民の公民館活動への理解を深める	一般	武里大枝公民館

【その他の事業】

クラブ・サークル連絡会
人権教育研修会
教養講座
体験講座
レクリエーション・スポーツ
公民館だよりの発行　他

【前年度事業の様子（令和 5 年度）】

子育てふれあいサロン

音楽鑑賞会

【所轄地区】 庄和地区

庄和地区公民館・庄和南公民館

【庄和地区の概要】

春日部市の東部に位置し、杉戸町、松伏町、江戸川を挟んで千葉県野田市と隣接している。

令和 6 年 5 月 1 日現在、16,293 世帯、人口 36,400 人、面積は 2,815ha である。

毎年 5 月 3 日と 5 日には伝統文化行事の大凧あげ祭りが行われ 10 万人以上の見物客が集う。

地区内の学校は、小学校 4 校(南桜井、川辺、桜川、中野)、中学校 2 校(葛飾、飯沼)、義務教育学校 1 校（江戸川)、庄和高等学校がある。

【庄和地区の公民館】

庄和地区公民館　所在地 春日部市大衾 307 番地 1　TEL 048-746-6666・FAX 048-746-6669

庄和南公民館　　所在地 春日部市米崎 357 番地　　TEL 048-745-3000・FAX 048-745-3002

【運営の基本方針】

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

【重点施策】

1　世代間交流と地域の連帯感を育む。

2　地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。

3　各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

【重点事業】

No.	事　業　名	内　　容	対　象	会　　場
1	庄和地区市民大学	地域住民の教養を高める	一般	庄和地区公民館、他
2	公民館まつり	文化・芸術団体の成果発表	一般	庄和地区公民館
3	庄和地区体育祭	地区住民の体育の祭典	一般	庄和総合公園・多目的広場
4	正風館音楽祭	合奏・合唱団体の成果発表	一般	庄和地区公民館

【その他の事業】

しょうわ塾
子育てサロン
井戸端サロン
学校開放講座
Showa キッズぴあ
公民館だより発行　　他

【前年度事業の様子（令和 5 年度)】

公民館まつり

庄和地区体育祭

公民館施設一覧

No.	公民館名	設立 下段：改築年	延べ床面積（㎡）	部屋数	階数	施設等の名称	面積 ㎡	面積 畳	定員（人）	駐車場
1	中央公民館	平成6年 (1994) ―	5,559	20	1	体育館	418		410	地下駐車場 38台 第2駐車場 66台 合計104台
						更衣室(男性)	9		2	
						更衣室(女性)	9		2	
						ステージ	95		50	
						講堂	513		351	
						メディアホール	230		30	
						ブックサロン	73		23	
						印刷室	25		10	
					2	多機能学習室	53		33	
						大会議室	107		66	
						サークルボックス	22		10	
						オペレーションルーム	42		10	
						ギャラリー	293		200	
					3	和室ふじ	39	18	36	
						実習室	52		30	
						音楽スタジオ	43		10	
	(粕壁地区公民館) 平成17年10月1日から 中央公民館に併設	昭和46年 (1971) ―	―			小会議室	20		12	
						中会議室	42		16	
						アトリエ	65		36	
						アトリエ準備室	―		―	
2	粕壁南公民館	昭和56年 (1981) ―	332	7	1	コミュニティホール	176		150	29台
						ボランティアビューロー	47		15	
						学習室	35		20	
					2	音楽室	43		20	
						会議室	84		50	
						和室	47	20	30	
						調理室	46		25	
3	内牧地区公民館	昭和46年 (1971) 平成元年 (1989)	1,886	13	1	講堂	229		180	21台
						会議室兼リハーサル室	40		18	
						和室	52	31.5	67	
						研修室Ⅰ	68		39	
						談話室コーナー	20		12	
						展示コーナー	40		―	
						印刷室	―		―	
					2	研修室Ⅱ	68		39	
						実習室	60		22	
						体育室	394		400	
						更衣室(男性)	8		2	
						更衣室(女性)	8		2	
						調整室	24		―	
4	内牧南公民館	昭和58年 (1983) ―	620	6	1	大会議室	198		200	20台
						図書室	16		―	
					2	講習室	70		60	
						料理実習室	49		25	
						和室	49	21	30	
						託児室	17		10	
5	豊春地区公民館	昭和46年 (1971) 昭和63年 (1988)	2,006	12	1	講堂	388		250	21台
						和室いちょう	30	15	20	
						和室うめ	23	12	16	
						プレイルーム	63		20	
						談話室	43		16	
						ふれあい図書コーナー	―		32	
						浴室(休止)	83		―	
					2	研修室(1)	78		50	
						研修室(2)	79		50	
						アトリエ	93		16	
						クッキングサロン	51		20	
						会議室兼音楽室	56		12	
6	豊春第二公民館	昭和57年 (1982) ―	1,213	8	1	大集会室	281		250	26台
						調理室	42		25	
						図書談話コーナー	―		―	
					2	第一会議室	115		80	
						第二会議室	58		20	
						第三会議室	73		40	
						和室1	42	18	27	
						和室2	42	18	27	

No.	公民館名	設立 下段：改築年	延べ床面積（㎡）	部屋数	階数	施設等の名称	面積		定員（人）	駐車場
							㎡	畳		
7	武里地区公民館	昭和46年 (1971) 昭和61年 (1986)	1,625	14	2	講堂	275		200	29台
						音楽室	50		20	
						会議室(1)	88		69	
						会議室(2)	51		25	
						会議室(3)	51		16	
						和室	50	24	27	
						実習室	88		30	
						図書コーナー	－		－	
						印刷室	8		－	
					3	研修室(1)	96		96	
						研修室(2)	60		24	
						研修室(3)	52		25	
						教養室(1)	38	15	12	
						教養室(2)	52	21	24	
8	武里東公民館	昭和56年 (1981) －	600	7	1	大会議室	209		150	37台
						研修室	27		15	
					2	図書室	19		－	
						料理実習室	44		25	
						和室	44	20	30	
						講習室	47		30	
						託児室	13		－	
9	幸松地区公民館	昭和46年 (1971) 昭和63年 (1988)	2,008	17	1	講堂	263		200	30台
						体育室	360		400	
						シャワー室(男性用)	11		－	
						シャワー室(女性用)	11		－	
						和室	76	25	35	
						プレイルーム	63		35	
						談話コーナー	66		－	
						図書コーナー	－		－	
						展示ロビー	－		－	
						印刷室	－		－	
					2	会議室A	70		42	
						会議室B	38		12	
						実習室	76		20	
						準備室	19		－	
						調光室	12		－	
						研修室A	43		24	
						研修室B	55		42	
10	幸松第二公民館	昭和57年 (1982) －	631	6	1	大会議室	209		150	8台
						図書室	17		－	
					2	講習室	47		30	
						調理室	50		25	
						和室	47	20	30	
						託児室	12		7	
11	豊野地区公民館	昭和46年 (1971) 昭和61年 (1986)	1,114	11	1	講堂Ⅰ	95		100	第1：9台 第2：8台 合計17台
						講堂Ⅱ	95		100	
						和室Ⅰ	42	25	40	
						談話コーナー	－		－	
						図書コーナー	－		－	
						印刷室	－		－	
					2	和室Ⅱ	65	40	65	
						研修室Ⅰ	79		80	
						研修室Ⅱ	73		70	
						会議室	42		12	
						実習室	52		25	
12	藤塚公民館	昭和56年 (1981) －	600	7	1	大会議室	209		150	12台
						小和室	35		15	
					2	講習室	40		30	
						調理室	45		25	
						和室	44		40	
						図書室	15		8	
						小会議室	18		12	

No.	公民館名	設立 下段：改築年	延べ床面積（㎡）	部屋数	階数	施設等の名称	面積		定員（人）	駐車場
							㎡	畳		
13	武里南地区公民館	昭和50年 (1975) 昭和53年 (1978)	532	6	1	和室(大)	54	27	50	なし
						和室(小)	29	9	10	
					2	大会議室	81		60	
						小会議室	30		20	
						和室	44	20	30	
						調理室	44		25	
14	武里大枝公民館	昭和62年 (1987) －	1,457	8	1	講堂	344		250	なし
						実習室	70		25	
						和室	77	24	40	
						会議室	48		20	
						印刷室	15		－	
						展示談話コーナー	72		－	
					2	研修室	103		70	
						映写室	12		－	
15	庄和地区公民館	昭和60年 (1985) －	2,757	25	1	大ホール	377		502	第1：40台 第2：32台 第3：32台 合計104台
						舞台	240		－	
						楽屋(1)	15		－	
						楽屋(2)	15		－	
						音楽室	86		30	
						集会室	45		24	
					2	試食室	39		20	
						調理実習室	88		37	
						多目的室(1)	75		24	
						多目的室(2)	78		24	
						和室(1)	72	35	50	
						和室(2)	35	21	30	
						和室(3)	35	14	20	
						和室(4)	19	10	14	
						パソコン研修室	39		20	
						会議室(1)	42		24	
						会議室(2)	42		24	
						会議室(3)	42		24	
						子供室	27		－	
						視聴覚室	95		45	
						ボランティアビューロー	42		12	
					3	研修室	84		49	
						小会議室	38		12	
						講義室(1)	132		75	
						講義室(2)	96		50	
16	庄和南公民館	昭和49年 (1974) 平成9年 (1997)	1,306	13	1	多目的ホール	256		230	44台
						楽屋	20		3	
						音楽室	73		20	
						図書室	－		－	
						印刷室	－		－	
					2	学習室1	39		30	
						学習室2	45		30	
						集会室	40		24	
						調理室	78		30	
						和室1	23	15	14	
						和室2	16	10	14	
					別棟	創作室1	28		8	
						創作室2	26		8	
	合計		24,246	180			13,099	529	8,487	505台

Ⅵ　特　別　職　名　簿

春日部市立小学校、中学校及び義務教育学校学区審議会委員

任期：令和６年７月１日～令和８年６月30日

No.	氏　名	委員の区分
1	並木素生	区・自治会を代表する者
2	飯塚悦子	
3	新井紀子	
4	小笠原麻理	
5	鈴木敏仁	
6	中島邦彦	
7	細谷　悟	
8	鈴木美江	小学校、中学校及び義務教育学校の校長の代表者
9	金丸　敦	
10	髙橋邦洋	小学校、中学校及び義務教育学校のPTAの代表者
11	齋藤芳尚	知識及び経験を有する者
12	島内啓介	
13	毛利直美	公募に応じた市民

春日部市学校給食ｾﾝﾀｰ運営委員会委員

任期：令和５年７月１日～令和７年６月30日

No.	氏　名	委員の区分
1	梶村麗子	小学校の校長
2	菊野　大	中学校又は義務教育学校の校長
3	堀　匡恵	PTAの代表者
4	松本玲子	
5	齋藤貴子	
6	駒木真理子	
7	林　純子	
8	井上律子	
9	渡邉麻依子	
10	渡邊よしみ	学識経験者
11	島村克己	

※　No.3、4、5、8任期：令和６年６月20日～令和７年６月30日

春日部市社会教育委員

任期：令和６年６月１日～令和８年５月31日

No.	氏　名	委員の区分
1	逸見育子	学校教育関係者
2	大井　晋	
3	角坂清博	
4	金重光江	社会教育関係者
5	髙山まさ子	
6	松田洋子	
7	杉山充男	
8	田中良司	
9	樺田正俊	
10	井上久美子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
11	比嘉里奈	
12	小野奈生子	学識経験者
13	中島信一	
14	山田農久	社会教育・家庭教育関係者
15	有馬廣實	

春日部市立図書館運営審議会委員

任期：令和４年８月１日～令和６年７月31日

No.	氏　名	委員の区分
1	木田真貴子	学校教育関係者
2	柴田　泉	
3	沖田隆一	社会教育関係者
4	飯塚綾子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
5	土屋幸代	
6	飯田邦明	学識経験者
7	永田京子	公募に応じた市民

春日部市文化財保護審議会委員

任期：令和６年４月１日～令和８年３月31日

No.	氏　名	委員の区分
1	池田伸子	学識経験者
2	大塚和彦	
3	小林桂子	
4	白井哲哉	
5	杉崎茂樹	
6	先崎　薫	
7	田中裕子	
8	二階堂由紀	
9	浜島一成	
10	平社定夫	

春日部市市史編さん委員会委員

任期：令和４年８月１日～令和６年７月31日

No.	氏　名	委員の区分
1	中島信一	社会教育委員
2	浜島一成	文化財保護審議会委員
3	榊田武夫	学識経験者
4	高橋尚夫	
5	田中裕子	
6	長堀　榮	
7	平社定夫	
8	町田輝夫	
9	大川明弘	公募に応じた市民

春日部市文化財保存活用地域計画協議会委員

任期：令和5年7月1日～令和7年6月30日

No.	氏　　名	委員の区分
1	河　野　健　介	市職員
2	ナワビ　矢　麻	関係行政機関の職員
3	多　田　圭　子	文化財の所有者
4	清　水　洋　子	
5	田　中　裕　子	学識経験者
6	稲　本　恵　子	
7	佐々木　　誠	
8	筒　野　広　康	市内各種団体を代表する者
9	金　子　康　二	
10	榎　本　茅　菜	公募に応じた市民

春日部市スポーツ推進委員

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

No.	氏　　名	委員の区分
1	福　島　広　光	粕壁地区
2	飯　岡　麻　世	
3	久　保　聡　子	
4	武　田　かおり	
5	沼　田　江梨子	
6	遠　藤　久　美	
7	西　川　友　子	
8	唐　沢　治　郎	豊春地区
9	尾　村　正　明	
10	宇南山　瞬　子	
11	小　暮　正　好	
12	荒　井　秀　雄	武里地区
13	齋　藤　忠　明	
14	国　井　秋　男	
15	山　田　農　久	
16	小笠原　麻　理	
17	篠　本　寿美子	
18	青　木　　大	
19	樺　田　正　俊	幸松地区
20	野　口　卓　造	
21	成　田　裕　子	
22	木　内　尚　幸	
23	北　見　めぐ美	
24	川　鍋　　守	豊野地区
25	逸　見　映　子	
26	星　野　孝　子	
27	浄　閑　広　裕	

No.	氏　　名	委員の区分
28	小守谷　利　幸	豊野地区
29	吉　川　明　男	
30	早　川　真　一	
31	北　村　大　地	
32	手　島　育　子	庄和地区
33	小　林　利　行	
34	白　坂　和　也	

（順不同）

春日部市スポーツ推進審議会委員

任期：令和6年5月22日～令和8年5月21日

No.	氏　　名	推薦団体等
1	細　谷　　悟	春日部市自治会連合会
2	荒　井　秀　雄	春日部市スポーツ推進委員協議会
3	鶴　見　和　弘	春日部市立小・中学校長会
4	佐久間　　清	春日部市スポーツ協会
5	北　条　ケイ子	春日部市レクリエーション協会
6	大久保　正　己	春日部市スポーツ少年団
7	濱　口　達三郎	春日部商工会議所
8	小　磯　典　子	公　　募

（順不同）

春日部市公民館運営審議会委員

任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日

No.	氏　　名	委員の区分
1	木　田　真貴子	学校教育関係者
2	柳　田　敏　夫	
3	藤　原　久　美	社会教育関係者
4	田　中　良　司	
5	本　田　幸　子	
6	金　子　芳　代	
7	小　林　久美恵	家庭教育関係者
8	白　石　昌　三	学識経験者
9	森　　義　久	
10	鈴　木　郁　夫	
11	金　重　一　夫	
12	髙　﨑　光　英	
13	中　村　勝　見	
14	谷　口　正　憲	
15	渡　邉　正　弘	

※　No.3、13任期：令和6年7月1日～令和7年5月31日

春日部市民憲章

わたしたちのまち春日部は　古利根川と江戸川が流れ
豊かな自然のなかで　伝統　文化　産業を育んできた歴史のあるまちです

わたしたちは　この先の時代に想いを馳せ
だれもが住み良い　魅力あるまちを目指して
ここに　市民憲章を定めます

一　環境にやさしく　かけがえのない自然を守りましょう
一　心と体を健やかに　良識ある行動を心がけましょう
一　お互いを尊重し　ともに助け合い　心かよう信頼を築きましょう
一　伝統と文化を大切にし　次の世代に引き継ぎましょう
一　広い視野で世界に学び　平和で夢のある未来をつくりましょう

そして
このまちで
ともに生きましょう

（令和３年１月１日制定）

令 和 ６ 年 度

春 日 部 市 の 教 育

発行日　令 和 ６ 年 ７ 月 １ 日

編　集
発　行　春 日 部 市 教 育 委 員 会

春日部市中央七丁目２番地１
電話　048-739-6800（直通）